

工事費執行(変更)概要書		教育長	教育部長	次長	課長	課長補佐	課員	審査員	設計者										
執行年度	工事名	H29 八郷中学校 階段手摺改修工事																	
29 年度	工事場所	石岡市柿岡3513番地2																	
設計(変更)概要		施工方法	請負・ 委託																
H29 八郷中学校 階段手摺改修工事		原契約年月日	平成 年 月 日																
1 改修工事		工期	平成 29 年 月 日から																
階段(N,S)手摺改修 31.8m			平成 年 月 日まで 90日間																
		請負人																	
		費目	起工	第 回変更	第 回変更	増減(△)													
		起工額	円	円	円	円													
		請負に付する額	円	円	円	円													
		工事価格	円	円	円	円													
		消費税相当額	円	円	円	円													
		請負決定額	円	円	円	円													
変更理由		<p>変更工事価格算定基準: 変更工事価格 = 変更積算工事価格 × $\frac{\text{起工時の請負決定額}}{\text{起工時の委託に付する額}}$ <small>(少数第7位切り捨て6位止め)</small></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">変更積算工事価格</td> <td style="padding: 0 10px;">×</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">請負比率</td> <td style="padding: 0 10px;">=</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">変更積算工事価格</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: right;">円</td> <td></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">円</td> <td></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: right;">円</td> </tr> </table>								変更積算工事価格	×	請負比率	=	変更積算工事価格	円		円		円
変更積算工事価格	×	請負比率	=	変更積算工事価格															
円		円		円															

特 記 仕 様 書 (建築工事)

I 工 事 概 要

1. 工事名 H29 八郷中学校 階段手摺改修工事
2. 工事場所 石岡市柿岡3513番地2
3. 敷地面積 39,021 m²
4. 建設工事その他概要 (建物名称, 構造, 階数, 建築面積, 延べ面積, 各階床面積, 等)
 - (1) 工事範囲 ※「(2)建物概要」すべて ◎「(2)建物概要」のうち教室棟の一部
 - (2) 建物概要

(全体)

建物名称	管理・教室棟			
構 造	RC造 一部	造	造 一部	造
階 数	地上3階	地下階	地上階	地下階
建築面積			m ²	
延べ面積	6,740 m ²		m ²	

(建物毎の各階床面積 m²)

建物名称	地下1階	1階	2階	3階	4階	5階	計

(H12. 04. 01 作成)	(H17. 05. 15 改訂)	(H25. 05. 15 改訂)
(H13. 10. 01 改訂)	(H17. 10. 01 改訂)	(H26. 05. 15 改訂)
(H14. 05. 30 改訂)	(H18. 05. 15 改訂)	
(H15. 06. 01 改訂)	(H19. 07. 01 改訂)	
(H15. 09. 01 改訂)	(H23. 06. 01 改訂)	
(H16. 05. 15 改訂)	(H24. 06. 01 改訂)	

工事条件

- ・本件は中学校の登校期間中の工事であり工程については学校と密に打合せを行うこと
- ・工事は学校の都合により平日に施工できない場合があります

Ⅱ 建築工事仕様

- (1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下部仕様書等のうち、を付けたものを適用する。
 - 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成28年版）（以下、「標準仕様書」という。）
 - ・ 建築工事標準詳細図（平成22年版）
 - ・ 建築物解体工事共通仕様書（平成24年版）
- (2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事は、それぞれの工事特記仕様書を適用する。
- (3) 本特記仕様書の表記
 - 1) 項目は、番号にのついたものを適用する。
 - 2) 特記事項で※印、◎印、・印のある場合の適用は、下記による。◎印は◎印とみなす◎印の付いたものを適用する。◎印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。◎印と☒印の付いた場合は、共に適用する。
 - ・ 印のついたものは適用しない。
 - 3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図及び当該表を示す。

章	項 目	特 記 事 項
1 一般共通事項	① 適用区分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・ 風圧力 <ul style="list-style-type: none"> 風速 (V0) ・ 30 ・ 32 ・ 34 ・ 36 地表面粗度区分 ・ I ・ II ・ III ・ IV ・ 積雪荷重 <ul style="list-style-type: none"> 建設省告示第 1455 号における区域 別表 ()
	② 環境への配慮	<p style="text-align: right;">(1.4.1)</p> <p>(1) 建物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。</p> <p>①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセドアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。</p> <p>②接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。</p> <p>③接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含む難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。</p> <p>④①の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。</p> <p>(2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。</p> <p>①建築基準法施行令第 20 条の 7 第 1 項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発生建築材料以外の材料</p> <p>②建築基準法施行令第 20 条の 7 第 4 項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料</p> <p>③建築基準法施行令第 20 条の 7 第 1 項に定める第三種ホルムアルデヒド発生建築材料</p> <p>④建築基準法施行令第 20 条の 7 第 4 項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料</p>
	③ 材料の品質等	<p style="text-align: right;">(1.4.2)</p> <p>(1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。</p> <p>(2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。</p> <p>(3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。</p> <p>(4) 本工事に使用する材料のうち、(5) に指定する材料の製造業者等は次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督員の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。</p> <p>①品質及び性能に関する試験データを整備していること。</p> <p>②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。</p> <p>③安定的な供給が可能であること。</p> <p>④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。</p> <p>⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。</p> <p>⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。</p>

章	項 目	特 記 事 項																									
1 一般共通事項		<p>(5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料 無収縮グラウト材, 乾式保護材, 既製調合モルタル, 既製調合目地材, 錠前類, クローザ類, 自動扉機構, 自閉式上吊り引き戸機構, 防水剤, 現場発泡断熱材, フリーアクセスフロア, 移動間仕切, トイレブース, 煙突用成形ライニング材, 天井点検口, 床点検口, グレーチング, 屋上緑化システム, エポキシ樹脂, ポリマーセメントモルタル</p> <p>(6) 「茨城県リサイクル建設資材評価認定制度」で認定されたりサイクル建設資材については, 茨城県リサイクル建設資材率先利用指針により率先利用に努めるものとする。 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律 (グリーン購入法) により, 県が定める「特定調達品目」について環境負荷を低減できる材料を選定するよう努めるものとする。 上記の条件を満たすものが市産材で確保できる場合には, その優先使用に努めるものとする。なお, 市産材とは, 「石岡市内で生産されたもの, 又は加工し製品化されたもの」とする。</p>																									
	4 室内空気中の化学物質の濃度測定	<p>室内空気中のホルムアルデヒド, トルエン, キシレン, エチルベンゼン, スチレン (学校施設については, パラジクロロベンゼンについても対象とする。) の濃度を測定し, 報告すること。 測定は, 厚生労働省が室内空気中化学物質の濃度を測定するための標準的方法として示した, ホルムアルデヒドについては, ジニトロフェニルヒドラジン (DNPH) 誘導体化固相吸着/溶媒抽出-高速液体クロマトグラフ法により, その他については, 固相吸着/溶媒抽出-ガスクロマトグラフ/質量分析法により行い, パッシブサンプラー型採取方法にて採取すること。 測定対象箇所は, 平成 15 年 4 月 1 日通知「官庁営繕部における平成 15 年度からのホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」に準じ, 下表の数を標準とする。(指針値は, 付記事項の 6 を参照)</p> <table border="1" data-bbox="531 1070 1476 1146"> <thead> <tr> <th>室の床面積 A (㎡)</th> <th>A ≤ 50</th> <th>50 < A ≤ 200</th> <th>200 < A ≤ 500</th> <th>500 < A</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定箇所数</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>室内空気中の化学物質の濃度測定室箇所表</p> <table border="1" data-bbox="531 1176 1332 1361"> <thead> <tr> <th>室名 (測定対象室)</th> <th>床面積</th> <th>測定箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	室の床面積 A (㎡)	A ≤ 50	50 < A ≤ 200	200 < A ≤ 500	500 < A	測定箇所数	1	2	3	4	室名 (測定対象室)	床面積	測定箇所数												
室の床面積 A (㎡)	A ≤ 50	50 < A ≤ 200	200 < A ≤ 500	500 < A																							
測定箇所数	1	2	3	4																							
室名 (測定対象室)	床面積	測定箇所数																									
⑤	リサイクルの優先順位	(1) 発生抑制の徹底 (2) 再使用の徹底 (3) 再資源化の徹底 (4) 適正処分の徹底 (再資源化に係る作成書類は, 付記事項の 5 を参照)																									
⑥	発生材の処理等	<ul style="list-style-type: none"> ・発注者に引渡しを要するもの ※なし ・あり 処理方法 () ・特別管理産業廃棄物 ※なし ・あり 処理方法 () ・現場での再利用を図るもの ※なし ・あり 品 目 () 																									
⑦	下請人通知	建設工事請負契約書及び下請人通知書を, 市 と請負契約を締結した日から原則として 30 日以内, その後の下請け契約に係るものは, 契約締結の日から 10 日以内に提出するものとする。																									

章	項目	特記事項																																								
1 一般共通事項	⑧ 技能士	<p style="text-align: right;">(1.5.2)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">工事種別</th> <th>技能検定作業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設工事</td> <td>・とび作業</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>・鉄筋組立作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>・型枠工事作業 ・コンクリート圧送工事作業</td> </tr> <tr> <td>鉄骨工事</td> <td>・構造物鉄工作業 ・とび作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリートブロック ・ALCパネ工事</td> <td>・コンクリートブロック工事作業 ・エーエルパネ工事作業</td> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td>・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング 防水工事作業 ・改質アスファルトシート工法防水工事作業 ・FRP 防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>・石張り作業</td> </tr> <tr> <td>タイル工事</td> <td>・タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>木工事</td> <td>・大工工事作業</td> </tr> <tr> <td>屋根及びとい工事</td> <td>・内外装板金作業 ・スレート工事作業</td> </tr> <tr> <td>金属工事</td> <td>・鋼製下地工事作業 ・内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>左官工事</td> <td>・左官作業</td> </tr> <tr> <td>建具工事</td> <td>・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業</td> </tr> <tr> <td>カーテンウォール工事</td> <td>・金属製カーテンウォール工事作業 ・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業</td> </tr> <tr> <td>塗装工事</td> <td>・建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>内装工事</td> <td>・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・壁装作業</td> </tr> <tr> <td>排水工事</td> <td>・建築配管作業</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>・溶融ヒートパッドマーカ工事作業 ・加熱ヒートマシンカー工事作業</td> </tr> <tr> <td>植栽工事</td> <td>・造園工事作業</td> </tr> </tbody> </table>	工事種別	技能検定作業	仮設工事	・とび作業	鉄筋工事	・鉄筋組立作業	コンクリート工事	・型枠工事作業 ・コンクリート圧送工事作業	鉄骨工事	・構造物鉄工作業 ・とび作業	コンクリートブロック ・ALCパネ工事	・コンクリートブロック工事作業 ・エーエルパネ工事作業	防水工事	・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング 防水工事作業 ・改質アスファルトシート工法防水工事作業 ・FRP 防水工事作業	石工事	・石張り作業	タイル工事	・タイル張り作業	木工事	・大工工事作業	屋根及びとい工事	・内外装板金作業 ・スレート工事作業	金属工事	・鋼製下地工事作業 ・内外装板金作業	左官工事	・左官作業	建具工事	・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業	カーテンウォール工事	・金属製カーテンウォール工事作業 ・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業	塗装工事	・建築塗装作業	内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・壁装作業	排水工事	・建築配管作業	舗装工事	・溶融ヒートパッドマーカ工事作業 ・加熱ヒートマシンカー工事作業	植栽工事	・造園工事作業
	工事種別	技能検定作業																																								
	仮設工事	・とび作業																																								
	鉄筋工事	・鉄筋組立作業																																								
	コンクリート工事	・型枠工事作業 ・コンクリート圧送工事作業																																								
	鉄骨工事	・構造物鉄工作業 ・とび作業																																								
	コンクリートブロック ・ALCパネ工事	・コンクリートブロック工事作業 ・エーエルパネ工事作業																																								
	防水工事	・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング 防水工事作業 ・改質アスファルトシート工法防水工事作業 ・FRP 防水工事作業																																								
	石工事	・石張り作業																																								
	タイル工事	・タイル張り作業																																								
	木工事	・大工工事作業																																								
	屋根及びとい工事	・内外装板金作業 ・スレート工事作業																																								
	金属工事	・鋼製下地工事作業 ・内外装板金作業																																								
	左官工事	・左官作業																																								
	建具工事	・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業																																								
カーテンウォール工事	・金属製カーテンウォール工事作業 ・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業																																									
塗装工事	・建築塗装作業																																									
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・壁装作業																																									
排水工事	・建築配管作業																																									
舗装工事	・溶融ヒートパッドマーカ工事作業 ・加熱ヒートマシンカー工事作業																																									
植栽工事	・造園工事作業																																									
	⑨ 施工図等の取扱	<p>施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。 すべての施工図は 月 日までに監督員の承諾を受ける事</p>																																								
	10 設備工事との取合	<p>設備機器の位置取り合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。</p>																																								
	⑩ 完成図等	<p style="text-align: right;">(1.7.1~3) (表1.7.1)</p> <p>※完成図 ※作成する ・作成しない 提出するもの ・原図 ◎青焼製本 2部 ◎CAD データ サイズ ・A1 ◎A2 ・A3 ※CD-R 完成図, 金抜内訳書, 完成写真, 申請書類, 保証書を収録したもの (詳細は営繕課完成図書 CD 化仕様書による) ・維持保全に関する資料 (部数 ※1部)</p>																																								
	⑪ 引渡物	<p>※鍵は1カ所につき、3個を1組とし、プラスチック札に室名を記入して提出する。 ・マスター鍵は、1組3個とし、木製及び金属製建具共通とする。 ・スチール製キーボックス</p>																																								
	⑫ 設計図書の優先順序	<p>(1) 質問回答書 (2) 現場説明書 (3) 特記仕様書 (4) 図面 (5) 標準仕様書及び改修標準仕様書</p>																																								

章	項目	特記事項																				
1 一般共通事項	①3 提出書類	<p>※写真</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>内容</th> <th>枚数</th> <th>部数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※</td> <td>工事写真</td> <td>適宜</td> <td>1</td> <td>電子納品</td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>完成写真（支払用：内外観）</td> <td>各2枚以上</td> <td>1</td> <td>A4台紙(サビズ)</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>完成写真（・データ共）</td> <td>適宜</td> <td>2</td> <td>アルバム(キャビネ)</td> </tr> </tbody> </table> <p>工事写真の電子納品 完成写真（アルバム）の撮影業者 ※監督員の承諾する撮影業者(ただし、建築完成写真撮影実績のある業者とする)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格品証明書（原品証明書，同等品試験証明書，試験成績書等） ・ガス圧接作業員技量資格証明書（写し） ・ガス圧接試験報告書 ・コンクリート強度試験報告書 ・杭打結果報告書 ・溶接工技量証明書（表・裏とも写し） ・防水保証書（9-1. 2. 3. 4は10年） ・コンクリート配合計画書 ・工事实績情報の登録内容確認書の写し <p>※火災保険等に加入したことを証明できる書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設業退職金共済組合証紙購入状況報告書の写し ・施工体制台帳の写し ・施工体系図の写し ・産業廃棄物処理関係書類（産業廃棄物運搬委託契約書及び許可書の写し，産業廃棄物処理委託契約書及び許可書の写し，マニフェストの写し等） ・内装材（下地を含む）にVOC材料を使用した場合は，製品安全データシート（MSDS）及びホルムアルデヒド，トルエン，キシレン，エチルベンゼン，スチレン，有機リン系の含有率のデータシート ・室内空気中に含まれる化学物質の濃度測定報告書 <p>※建設副産物実態調査に関するデータ保存FD及び出力調査票</p> <p>※その他 監督員が必要と認め，指示した書類及び部数</p>	適用	内容	枚数	部数	備考	※	工事写真	適宜	1	電子納品	※	完成写真（支払用：内外観）	各2枚以上	1	A4台紙(サビズ)	・	完成写真（・データ共）	適宜	2	アルバム(キャビネ)
	適用	内容	枚数	部数	備考																	
※	工事写真	適宜	1	電子納品																		
※	完成写真（支払用：内外観）	各2枚以上	1	A4台紙(サビズ)																		
・	完成写真（・データ共）	適宜	2	アルバム(キャビネ)																		
14 埋蔵文化財	<p>※文化財保護法に基づく周知の埋蔵文化財包蔵地内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掘削作業に際しては，工事立会，試掘確認調査等を要する。施工にあたっては，あらかじめ，工事日程，掘削範囲図及び掘削断面図等を作成の上，監督員，施設管理担当，教育庁文化課担当と協議を行うこと。 ・掘削作業に際しては，慎重に施工のこと。施工にあたり，文化財その他の埋蔵物を発見した場合は，直ちにその状況を監督員に報告すること。 																					

章	項目	特記事項
仮設工事	1 足場	(2.2.4) ・「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における1の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
	2 監督員事務所	(2.3.1) ※設ける 規模： m ² 程度 仕上げの程度： 程度 備え付ける備品： ・机 脚 ・椅子 脚 ・ロッカー 台 ・書棚 台 ・ホワイトボード ・製図板 ・掛時計 ・寒暖計 ・ゴム長靴 ・雨合羽 ・保護帽 ・懐中電灯 ・安全带 ・受託者加入電話の子機 ・暖冷房機 ・消火器 ・湯沸器 ・掃除具 ・その他 () ・設けない
	③ 工事用水	構内既存の施設 ・なし ※あり (○利用できる (無償) ※利用できない)
	④ 工事用電力	構内既存の施設 ・なし ※あり (○利用できる (無償) ※利用できない)
	⑤ 工事看板	(2.3.1) ※設置する 設置の場所 (◎校門付近) 記載事項 (※工事番号 ※工事名称 ※発注者 ※設計者 ※監理者 ※工期 ※施工者) 大きさ (※900mm×450mm 程度 ・) ・設置しない

章	項 目	特 記 事 項											
3 土 工 事	1 埋戻し及び盛土	<p style="text-align: right;">(3.2.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A種 適用場所 () ※B種 適用場所 () ・ C種 適用場所 () 土質 () 受渡場所 () ・ D種 (細粒分 (75μm 以下) の含有率 (重量百分率) の上限を 50%未満とする。) 適用場所 () 											
	2 建設発生土の処理	<p>※構外搬出適切処理 ・ 構内指示の場所にたい積 ・ 構内指示の場所に敷き均し 構外搬出の場合は原則として 50km 範囲内の他の建設工事へ搬出するものとする。 ただし、茨城県建設副産物リサイクル推進協議会等で調整済みの場合は、上記に係わらずその調整結果を最優先する。 なお、他の工事との受け入れ時期及び土質等の調整が困難である場合は、別の処分場 (ストックヤードを含む) に搬出することを妨げない。 ※建設発生土の再利用</p> <table border="1" data-bbox="531 622 1489 1012"> <thead> <tr> <th data-bbox="531 622 726 660">処理方法</th> <th data-bbox="726 622 1489 660">搬出先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="531 660 726 734">・ 現場内利用</td> <td data-bbox="726 660 1489 734">仮置き場所住所 () 借地 ・ 有り ・ 無し</td> </tr> <tr> <td data-bbox="531 734 726 801">・ 工事間利用</td> <td data-bbox="726 734 1489 801">相手工事名称 () 住所 ()</td> </tr> <tr> <td data-bbox="531 801 726 875">・ 捨土 (公共用地)</td> <td data-bbox="726 801 1489 875">管理者名 () 住所 ()</td> </tr> <tr> <td data-bbox="531 875 726 943">・ スtockヤード</td> <td data-bbox="726 875 1489 943">Stockヤードの名称 () 住所 ()</td> </tr> <tr> <td data-bbox="531 943 726 1012">・ 未確定</td> <td data-bbox="726 943 1489 1012">相手工事の名称 () (予定) 住所 ()</td> </tr> </tbody> </table> <p>土質 ・ ローム ・ シルト ・ 砂質土 ・ レキ質土 ・ 土量 m³ (地山換算数量) 片道運搬距離 km 条件 (昼夜間の別, 大型車規制, 伝票の使用等)</p> <p>現場内利用を行場合, 現場外に仮置き場を設けて時期調整を行い, 周辺環境に配慮し必要な措置を講じる 工事間利用を行う場合, 相手工事の受注者と綿密に協議する 工事間利用, 捨土の場合, 搬出手続き等は監督員の指示による</p>	処理方法	搬出先	・ 現場内利用	仮置き場所住所 () 借地 ・ 有り ・ 無し	・ 工事間利用	相手工事名称 () 住所 ()	・ 捨土 (公共用地)	管理者名 () 住所 ()	・ スtockヤード	Stockヤードの名称 () 住所 ()	・ 未確定
処理方法	搬出先												
・ 現場内利用	仮置き場所住所 () 借地 ・ 有り ・ 無し												
・ 工事間利用	相手工事名称 () 住所 ()												
・ 捨土 (公共用地)	管理者名 () 住所 ()												
・ スtockヤード	Stockヤードの名称 () 住所 ()												
・ 未確定	相手工事の名称 () (予定) 住所 ()												

章	項目	特記事項						
3 土工事	3 建設汚泥	<p>※工事現場から 40km 範囲内に再資源化施設があるときは、原則として再資源化施設に搬出するものとする。 なお、工事現場から 40km 以内に再資源化施設がない場合においては、焼却施設、脱水施設や乾燥施設に搬出し減量化を行うものとする。</p> <table border="1" data-bbox="529 309 1481 766"> <thead> <tr> <th data-bbox="529 309 746 342">処理方法</th> <th data-bbox="746 309 1481 342">搬出先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="529 342 746 421">・再資源化施設</td> <td data-bbox="746 342 1481 421"> 施設名称 () 施設住所 () </td> </tr> <tr> <td data-bbox="529 421 746 766">・他工事に搬出 (個別指定制度)</td> <td data-bbox="746 421 1481 766"> 利用方法 () 相手工事 名称 () 住所 () 相手工事受注者 名称 () 住所 () TEL () 処理施設の設置箇所 () 処理施設の処理能力等 () </td> </tr> </tbody> </table> <p>搬出量 m³ (地山換算数量) 片道運搬距離 km 搬出条件 (昼夜間の別, 改良の度合等)</p> <p>他工事に搬出する場合、処理施設の設置、個別指定制度の指定を受ける手続きが必要となるため、事前に監督員と十分に協議し、環境部局等に関係法令の手続きを行う</p>	処理方法	搬出先	・再資源化施設	施設名称 () 施設住所 ()	・他工事に搬出 (個別指定制度)	利用方法 () 相手工事 名称 () 住所 () 相手工事受注者 名称 () 住所 () TEL () 処理施設の設置箇所 () 処理施設の処理能力等 ()
	処理方法	搬出先						
・再資源化施設	施設名称 () 施設住所 ()							
・他工事に搬出 (個別指定制度)	利用方法 () 相手工事 名称 () 住所 () 相手工事受注者 名称 () 住所 () TEL () 処理施設の設置箇所 () 処理施設の処理能力等 ()							
4	整地	跡地はブルドーザー等による整地を行う						

章	項目	特記事項																																															
4 地業工事	1 支持力又は支持地盤の確認	支持地盤の位置及び種類 (4.3.4) (4.3.5) (4.5.4) <ul style="list-style-type: none"> 杭基礎（基礎杭の先端の位置含む） ・ 図示 直接基礎（基礎底部の位置含む） ・ 図示 長期設計支持力度 <ul style="list-style-type: none"> ・ () kN/m² 試験 (4.2.1) (4.2.3) (4.2.5) <ul style="list-style-type: none"> 試験掘り ※行う ・ 図示 地盤の載荷試験（平板載荷試験） (4.2.4) (4.2.5) <ul style="list-style-type: none"> ・ 行わない ・ 行う 試験位置及び載荷荷重 <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示 																																															
	2 液状化対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行う（工法，施工範囲，仕様及び計測，試験等は図示による。） ・ 行わない 																																															
	3 既製コンクリート杭地業	種類等 (4.3.2) <ul style="list-style-type: none"> ・ 遠心力高強度プレストレスコンクリート杭（PHC杭） ・ 外殻鋼管付きコンクリート杭（SG杭） SC杭の鋼管材料 <ul style="list-style-type: none"> ・ SKK400 ・ SKK490 材料 (4.3.2) 寸法，継手，性能等 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">杭径 (mm)</th> <th colspan="3">杭長(m)及び種類等</th> <th rowspan="2">セット 数</th> <th rowspan="2">コンクリート 強度 (N/mm²)</th> <th rowspan="2">長期設計 支持力(kN/本)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類 の 記号</th> <th>板厚 (mm)</th> <th>杭長 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>試験 杭</td> <td></td> <td>上杭 中杭 下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本 杭</td> <td></td> <td>上杭 中杭 下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 試験杭 (4.2.2) (4.3.4) <ul style="list-style-type: none"> 試験杭の位置，本数及び寸法 ・ 構造図による 杭先端部形状 (4.3.2) <ul style="list-style-type: none"> ・ 開放形 ・ 半開放形 ・ 閉そく形 		杭径 (mm)	杭長(m)及び種類等			セット 数	コンクリート 強度 (N/mm ²)	長期設計 支持力(kN/本)	備考	種類 の 記号	板厚 (mm)	杭長 (m)	試験 杭		上杭 中杭 下杭							本 杭		上杭 中杭 下杭																							
	杭径 (mm)	杭長(m)及び種類等			セット 数	コンクリート 強度 (N/mm ²)	長期設計 支持力(kN/本)					備考																																					
		種類 の 記号	板厚 (mm)	杭長 (m)																																													
試験 杭		上杭 中杭 下杭																																															
本 杭		上杭 中杭 下杭																																															

章	項 目	特 記 事 項
4 地業 工事		<p>施工方法 (4.3.3~4.3.5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セメントミルク工法 (4.3.4) <ul style="list-style-type: none"> アースオーガーの支持地盤への掘削深さ <ul style="list-style-type: none"> ・1.5m 程度 杭の支持地盤への根入れ深さ <ul style="list-style-type: none"> ・1.0m 以上 杭の精度 <ul style="list-style-type: none"> ・水平方向への位置ずれ <ul style="list-style-type: none"> ・杭径の 1/4 かつ 100mm 以下 ・杭の傾斜 <ul style="list-style-type: none"> ・1/100 以内 ・特定埋込杭工法 (4.3.5) <ul style="list-style-type: none"> ・H13 国土交通省告示第 1113 号第 6 による地盤の許容支持力式で $\alpha=250$ を採用できる工法 ・H13 国土交通省告示第 1113 号第 6 による地盤の許容支持力式の内 α, β, γ が下記の値を採用できる工法 <ul style="list-style-type: none"> $\alpha=(\quad)$, $\beta=(\quad)$, $\gamma=(\quad)$ <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレボーリング拡大根固め工法 ・中掘り拡大根固め工法 <p>杭周固定液</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用する ・使用しない <p>杭の精度 (4.3.5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水平方向の位置ずれ <ul style="list-style-type: none"> ・杭径の 1/4 かつ 100mm 以下 ・杭の傾斜 <ul style="list-style-type: none"> ・1/100 以内 ・評定条件又は認定条件による <p>杭継手工法 (4.3.6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アーク溶接継手 ・無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ※審査(評定又は大臣認定)を受けた工法 <p>検査</p> <ul style="list-style-type: none"> ※審査(評定又は大臣認定)により定められた項目 <p>施工</p> <ul style="list-style-type: none"> ※審査(評定又は大臣認定)された施工管理基準による <p>杭頭の処理(切断方法) (4.3.7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※処理しない ・処理する <p>切断方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示 <p>杭頭の中詰め材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ※基礎のコンクリートと同調合のもの

章	項目	特記事項																																											
4 地業工事	4 鋼杭地業	<p>材料 寸法、継手、性能等 (4.4.2) (表 4.4.1)</p> <table border="1" data-bbox="529 241 1465 689"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">杭径 (mm)</th> <th colspan="3">杭長 (m) 及び種類等</th> <th rowspan="2">セット数</th> <th rowspan="2">長期設計支持力 (kN/本)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類 の 記号</th> <th>板厚 (mm)</th> <th>杭長 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>試験杭</td> <td></td> <td>上杭 中杭 下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本杭</td> <td></td> <td>上杭 中杭 下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>試験杭 (4.2.2) (4.3.4) 試験杭の位置、本数及び寸法 ・ 構造図による 杭先端部形状 (4.4.2) ・ 開放型</p> <p>施工方法 (4.4.4) ・ 特定埋込杭工法 ・ H13 国土交通省告示第 1113 号第 6 による地盤の許容支持力式で $\alpha=250$ を採用できる工法 ・ H13 国土交通省告示第 1113 号第 6 による地盤の許容支持力式の内 α, β, γ が下記の値を採用できる工法 $\alpha=(\quad)$, $\beta=(\quad)$, $\gamma=(\quad)$ 工法 ・ 中掘り拡大根固め工法 杭の精度 (4.3.5) ・ 水平方向の位置ずれ ・ 杭径の 1/4 かつ 100mm 以下 ・ 杭の傾斜 ・ 1/100 以内 ・ 評定条件又は認定条件による</p> <p>杭の現場継手 (4.4.5) ・ アーク溶接継手 ・ 無溶接継手 (継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 ※審査 (評定又は大臣認定) を受けた工法 検査 ※審査 (評定又は大臣認定) により定められた項目 施工 ※審査 (評定又は大臣認定) された施工管理基準による</p> <p>杭頭の処理 (切断方法) (4.4.6) ※切断しない ・ 切断する 切断方法 ・ 構造図による 杭頭の中詰め材料 ※基礎のコンクリートと同調合のもの</p>		杭径 (mm)	杭長 (m) 及び種類等			セット数	長期設計支持力 (kN/本)	備考	種類 の 記号	板厚 (mm)	杭長 (m)	試験杭		上杭 中杭 下杭						本杭		上杭 中杭 下杭																					
		杭径 (mm)			杭長 (m) 及び種類等						セット数	長期設計支持力 (kN/本)	備考																																
種類 の 記号			板厚 (mm)	杭長 (m)																																									
試験杭		上杭 中杭 下杭																																											
本杭		上杭 中杭 下杭																																											

章	項目	特記事項																																			
4 地業工事	5 場所打ち コンクリート杭地業	セメントの種類 (4.5.3) <ul style="list-style-type: none"> ※高炉セメントB種 																																			
		コンクリートの種類 (4.5.3) (表4.5.1) <ul style="list-style-type: none"> ・A種 ・B種 																																			
		コンクリートの設計基準強度()N/mm ² (4.5.3) (4.5.4) (4.5.5)																																			
		構造体強度補正 (4.5.3) <ul style="list-style-type: none"> ・3N/mm² ・評価条件又は認定条件による 																																			
		杭断面・長期許容支持力等																																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>軸径 (mm)</th> <th>拡底径 (mm)</th> <th>杭長 (m)</th> <th>セ ット 数</th> <th>長期設計支持力 (kN/本)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>試験杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		軸径 (mm)	拡底径 (mm)	杭長 (m)	セ ット 数	長期設計支持力 (kN/本)	備考	試験杭							本杭																				
			軸径 (mm)	拡底径 (mm)	杭長 (m)	セ ット 数	長期設計支持力 (kN/本)	備考																													
		試験杭																																			
		本杭																																			
試験杭 (4.2.2) (4.5.4) (4.5.5) 試験杭の位置, 本数及び寸法 <ul style="list-style-type: none"> ・図示 																																					
掘削工法 (4.5.1) (4.5.4) (4.5.5) <ul style="list-style-type: none"> ・アースドリル工法 (安定液 使用する 使用しない) ・リバース工法 ・オールケーシング工法 (揺動式 全周回転式) (孔内の水張り 行う 行わない) 																																					
併用する工法 (4.5.1) (4.5.5) <ul style="list-style-type: none"> ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 鋼管巻き材料 <ul style="list-style-type: none"> ・SKK400 ・SKK490 鋼管径, 板厚, 長さ等 <ul style="list-style-type: none"> ・図示 ・拡底杭工法 (安定液 使用する 使用しない) 																																					
帯筋 (4.5.3) <ul style="list-style-type: none"> ・構造関係共通図(配筋標準図)6.2 帯筋(a)④丸形(口)による ・図示 																																					
鉄筋かごの補強 (4.5.3) <ul style="list-style-type: none"> ・杭径 1.5m 以下の場合には鋼板 6×50 (mm), 1.5m を超える場合は鋼板 9×50~75 (mm) の補強リングを 3m 以下の間隔で, かつ, 1 節につき 3 箇所以上入れ, リングと組立用の鉄筋との接合部を溶接する。 																																					
鉄筋の最小かぶり厚さ (4.5.3) <ul style="list-style-type: none"> ・100mm 																																					
鉄筋の重ね継手長さ, 主筋の基礎底盤への定着長さ (4.5.3) <ul style="list-style-type: none"> ・図示 																																					
孔壁測定 (4.5.4) (4.5.5) <ul style="list-style-type: none"> ・行わない ・行う 測定方法 <ul style="list-style-type: none"> ・超音波測定器 測定箇所数及び測定位置 <ul style="list-style-type: none"> ・試験杭()箇所及び本杭()箇所とし, 位置は構造図による 																																					
杭の精度 (4.5.4) (4.5.5) 水平方向の位置ずれ <ul style="list-style-type: none"> ・100mm 以下 杭の傾斜 <ul style="list-style-type: none"> ・1/100 以内 ・評価条件又は認定条件による 																																					

章	項目	特記事項						
4 地業工事	6 砂利地業	材料（茨城県の指定工場であること） (4.6.3) ※再生クラッシュラン ・切込み砂利及び切込み砕石 厚さ及び適用範囲 <table border="1"> <thead> <tr> <th>厚さ</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・60</td> <td>・基礎スラブ下 ・基礎梁下 ・土間コンクリート下 ・土に接するスラブ下</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	厚さ	適用箇所	・60	・基礎スラブ下 ・基礎梁下 ・土間コンクリート下 ・土に接するスラブ下	・	
	厚さ	適用箇所						
	・60	・基礎スラブ下 ・基礎梁下 ・土間コンクリート下 ・土に接するスラブ下						
	・							
	7 捨コンクリート地業	厚さ及び適用範囲 (6.14.3) <table border="1"> <thead> <tr> <th>厚さ</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・50</td> <td>・基礎スラブ下 ・基礎梁下 ・土に接するスラブ下</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	厚さ	適用箇所	・50	・基礎スラブ下 ・基礎梁下 ・土に接するスラブ下	・	
厚さ	適用箇所							
・50	・基礎スラブ下 ・基礎梁下 ・土に接するスラブ下							
・								
8 床下防湿層	施工範囲 (4.6.5) ・建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く） ・ 防湿工法 (4.6.5) ・ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 ・ 防湿層の位置 (4.6.5) ・図示 ・							
9 地盤改良 (セメント系固化材を用いた工法による改良)	工法 ・浅層混合処理工法 改良範囲, 仕様 (計測, 試験等含む。) は図示による ・深層混合処理工法 改良範囲, 仕様 (計測, 試験等含む。) は図示による							
10 置換コンクリート地業 (ラップコンクリート地業)	形状等 ・図示 ・ 支持地盤の長期設計支持力 () kN/m ² 支持地盤 ・図示 ・ 型枠使用の有無 ・無し ・有り 型枠の使用箇所等は図示による							

章	項目	特記事項																						
5 鉄筋工事	1 鉄筋の種類	(5.2.1) (表5.2.1) <table border="1"> <thead> <tr> <th>規格の名称</th> <th>種類の記号</th> <th>呼び径(mm)</th> <th>適用箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">鉄筋コンクリート用棒鋼 (異形鉄筋)</td> <td>・SD295A</td> <td>※D16 以下</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・SD345</td> <td>※D19 以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	規格の名称	種類の記号	呼び径(mm)	適用箇所	備考	鉄筋コンクリート用棒鋼 (異形鉄筋)	・SD295A	※D16 以下			・SD345	※D19 以上			・				・			
	規格の名称	種類の記号	呼び径(mm)	適用箇所	備考																			
	鉄筋コンクリート用棒鋼 (異形鉄筋)	・SD295A	※D16 以下																					
		・SD345	※D19 以上																					
		・																						
		・																						
2 溶接金網	形状等 (5.2.2) <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>網目の形状, 寸法, 鉄線の径(mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・溶接金網</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	種類の記号	網目の形状, 寸法, 鉄線の径(mm)	適用箇所	・溶接金網				・鉄筋格子														
種類	種類の記号	網目の形状, 寸法, 鉄線の径(mm)	適用箇所																					
・溶接金網																								
・鉄筋格子																								
3 圧接完了後の試験	外観試験 (5.4.9) ※行う (全数) 抜取試験 (5.4.9) ※超音波探傷試験 試験の箇所数等 試験の箇所数は, 1ロットに対して 30箇所とする 試験ロット: 1組の作業班が1日に行った圧接箇所とし, 無作為に抜き取る。 ・引張試験 試験片の採取数は, 1ロットに対して(※3本 ・5本)とする 試験ロット: 1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお, 200箇所を超えるときは 200箇所ごととする 試験片を採取した箇所の処置: 標準仕様書 5.4.9による																							
4 鉄筋の継手	継手方法 (5.3.4) (5.5.2) <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用箇所</th> <th>継手方法と適用径の範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・柱主筋</td> <td>・ガス圧接継手 (D19 以上)</td> </tr> <tr> <td>・梁主筋</td> <td>・ガス圧接継手 (D19 以上)</td> </tr> <tr> <td>・耐力壁</td> <td>・重ね継手</td> </tr> <tr> <td>・基礎スラブ, 耐圧スラブ, 土圧壁など</td> <td>・ガス圧接継手 () ・重ね継手 ()</td> </tr> <tr> <td>・杭主筋</td> <td>・重ね継手</td> </tr> </tbody> </table>	適用箇所	継手方法と適用径の範囲	・柱主筋	・ガス圧接継手 (D19 以上)	・梁主筋	・ガス圧接継手 (D19 以上)	・耐力壁	・重ね継手	・基礎スラブ, 耐圧スラブ, 土圧壁など	・ガス圧接継手 () ・重ね継手 ()	・杭主筋	・重ね継手											
適用箇所	継手方法と適用径の範囲																							
・柱主筋	・ガス圧接継手 (D19 以上)																							
・梁主筋	・ガス圧接継手 (D19 以上)																							
・耐力壁	・重ね継手																							
・基礎スラブ, 耐圧スラブ, 土圧壁など	・ガス圧接継手 () ・重ね継手 ()																							
・杭主筋	・重ね継手																							
5 主筋の継手位置等	カットオフ鉄筋の長さ (5.3.4) ・構造関係共通図 (配筋標準図) 5.1, 6.1, 7.1, 7.3による (・全て ・下記以外全て) ・上記以外の位置 ・図示 基礎梁主筋の継手 ・構造関係共通図 (配筋標準図) 図5.2による (・全て ・図示) ・構造関係共通図 (配筋標準図) 図5.3による (・全て ・図示) ・構造関係共通図 (配筋標準図) 図5.4による (・全て ・図示) ・図示																							
6 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む)	最小かぶり厚さ (目地底から算定を行う) (5.3.5) ・構造関係共通図 (配筋標準図) 表 4.1による ・図示 柱及び梁の主筋に D29 以上の使用の有無 ・無し ・有り 適用箇所 () 主筋のかぶり厚さ ・最小かぶり厚さ () mm 特殊な要求性能におけるコンクリートの部分 (耐久性上不利な部分) ・無し ・有り 適用箇所 () ・構造関係共通図 (配筋標準図) 表 4.1に加える厚さ () mm																							

章	項目	特記事項
5 鉄筋工事	7 機械式継手	適用箇所 (5.5.2) ・図示 性能(H12 告示第 1463 号に適合するもの) (5.5.2) ・A 級 種類 () (5.5.2) カブラー等の接合部分の相互のあき, 最小かぶり厚さ (5.3.5) ・図示 品質の確認方法, 不良となった継手の修正方法等 (5.5.2) ・図示
	8 各部配筋	・構造関係共通図 (配筋標準図) による。 (5.3.7) ・図示
	9 帯筋	組立の形の種別 ・構造関係共通図 (配筋標準図) 6.2 () 形) による ・図示
	10 壁開口部の補強	一般壁 ・構造関係共通図 (配筋標準図) 8.4 () 形) による ・図示 ・ 耐震壁 ・図示 ・
	11 梁貫通孔の補強	補強形式 ・構造関係共通図 (配筋標準図) 11.2 () 形) による ・図示 梁貫通孔径 (部材記号含む) 及び配筋種別リスト ・図示

章	項目	特記事項																				
6 コンクリート工事	1 コンクリートの種類及び品質	※普通コンクリート (6.2.1~4) <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計基準強度 Fc (N/mm²)</th> <th>気乾単位 容積質量 (t/m³)</th> <th>スランプ (cm)</th> <th colspan="2">適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※24</td> <td>2.3程度</td> <td>15 又は 18</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・18</td> <td>2.3程度</td> <td>15 又は 18</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>				設計基準強度 Fc (N/mm ²)	気乾単位 容積質量 (t/m ³)	スランプ (cm)	適用箇所		※24	2.3程度	15 又は 18			・18	2.3程度	15 又は 18				
	設計基準強度 Fc (N/mm ²)	気乾単位 容積質量 (t/m ³)	スランプ (cm)	適用箇所																		
	※24	2.3程度	15 又は 18																			
	・18	2.3程度	15 又は 18																			
	2 コンクリート	種別 (6.2.1) (表6.2.1) ※Ⅰ類(茨城県の指定工場であること) ・Ⅱ類																				
	3 セメントの種類	(6.3.1) (表6.3.1) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">セメントの種類</th> <th colspan="2">適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種</td> <td colspan="2">下記以外全て</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 </td> <td colspan="2"> ・1FLより下部(立ち上がり部含む) ・ </td> </tr> </tbody> </table> <p>普通ポルトランドセメントの品質はJIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">水和熱</th> <th>7日</th> <th>352J/g以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>28日</th> <th>402J/g以下</th> </tr> </tbody> </table>				セメントの種類		適用箇所		※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種		下記以外全て		・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種		・1FLより下部(立ち上がり部含む) ・		水和熱	7日	352J/g以下	28日	402J/g以下
	セメントの種類		適用箇所																			
※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種		下記以外全て																				
・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種		・1FLより下部(立ち上がり部含む) ・																				
水和熱	7日	352J/g以下																				
	28日	402J/g以下																				
4 骨材の種類	使用骨材のアルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1) ※A ・B(コンクリート中のアルカリ総量 Rt=3.0kg/m ³ 以下)																					
5 混和材料	(6.3.1) ・混和剤の種類 (JIS A 6204に適合するAE材, AE減水剤又は高性能AE減水剤とし、化学混和剤の塩化物イオン量による区分はⅠ種とする。また、防錆材を併用する場合はJIS A 6205による防錆材とする。) ・混和材の種類 (JIS A 6201に適合するフライアッシュのⅠ種, Ⅱ種もしくはⅣ種, JIS A 6206に適合する高炉スラグ微粉末, JIS A 6202によるシリカフェーム又はJIS A 6202に適合する膨張材とする)																					
6 無筋コンクリート	コンクリートの種類 ※普通コンクリート (6.14.1)~(6.14.3) <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計基準強度 Fc (N/mm²)</th> <th>スランプ (cm)</th> <th>セメントの種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※18 ・</td> <td>※15又は18 ・</td> <td> ※普通ポルトランドセメント 又は混合セメントのA種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 </td> <td> ※捨コンクリート ・防水層保護コンクリート </td> </tr> </tbody> </table>				設計基準強度 Fc (N/mm ²)	スランプ (cm)	セメントの種類	適用箇所	※18 ・	※15又は18 ・	※普通ポルトランドセメント 又は混合セメントのA種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種	※捨コンクリート ・防水層保護コンクリート										
設計基準強度 Fc (N/mm ²)	スランプ (cm)	セメントの種類	適用箇所																			
※18 ・	※15又は18 ・	※普通ポルトランドセメント 又は混合セメントのA種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種	※捨コンクリート ・防水層保護コンクリート																			
7 打ち継ぎ目地の寸法, 位置及び形状	目地寸法 (6.6.3) (6.8.2) (9.7.3) ・標準仕様書9.7.3による 位置及び間隔 (6.8.2) ・図示 ※ひび割れ誘発目地, 打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打ち増し厚さ部で処理する																					

章	項目	特記事項								
6 コンクリート工事	8 コンクリートの仕上がり	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5) (6.6.6) (6.8.3) (表6.2.4) <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別	適用箇所	・A種		・B種		・C種	
	種別	適用箇所								
	・A種									
	・B種									
	・C種									
	9 打増し厚さ	打増し厚さ (6.8.2) <ul style="list-style-type: none"> ・打放し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る) <ul style="list-style-type: none"> ・20mm ・打放し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る) <ul style="list-style-type: none"> ・10mm ・20mm ・外壁タイル後張り面の打増し処理 <ul style="list-style-type: none"> ・20mm ・床型枠用鋼製デッキプレートの梁側面部の打増し処理 プレートが支持される梁の側面について下記の打増しを行なう <ul style="list-style-type: none"> ・10mm ・20mm 打増し範囲 <ul style="list-style-type: none"> ・図示 								
	10 型枠	せき板の材料 (6.8.3) <ul style="list-style-type: none"> ・合板 コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議すること。 ・床型枠用鋼製デッキプレート 使用箇所等 ※図示 スリーブの材料 (6.8.3) (表6.8.1) <ul style="list-style-type: none"> ・標準仕様書 6.8.3(i)(2) 及び標準仕様書表 6.8.1 による 								
11 型枠の存置期間及び取外し	標準仕様書 6.8.5 による (6.8.5)									
12 コンクリートの養生方法	標準仕様書第6章第7節による (6.7.1~3)									
13 圧縮強度及び試験方法	標準仕様書 6.5.5, 6.9.2, 6.9.3, 6.9.4 による (6.5.5) (6.9.2~4) 試験の実施機関 ※構造体コンクリートの圧縮強度試験はすべて「茨城県建設技術センター」等の公共機関において行う。									

章	項 目	特 記 事 項
<p>6 コンクリート工事</p>	<p>14 コンクリートの 単位水量測定</p>	<p>・行わない ・行う</p> <p>実施要領</p> <p>(1) 単位水量の測定は、150m³に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。</p> <p>(2) 単位水量の上限値は、標準仕様書 6.2.4(1)による。</p> <p>(3) 単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。</p> <p>1) 測定した単位水量が、計画調合書の設計値（以下、「設計値」という。）±15kg/m³の範囲にある場合はそのまま施工する。</p> <p>2) 測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m³の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m³以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。</p> <p>3) 設計値±20kg/m³を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m³以内であることを確認する。更に、設計値±15kg/m³以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。</p> <p>4) 3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。</p> <p>(4) 単位水量管理についての記録を書面（計画調合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等）と写真により提出する。</p> <p>(5) 単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法（電子レンジ法）、エアメータ法又は静電容量測定法による。また、試験期間は該当コンクリート製造所以外の機関とする。</p>

章	項目	特記事項																					
7 鉄骨工事	1 鉄骨の製作工場	製作工場の加工能力 (7.1.3) ・建築基準法 77 条の 45 第 1 項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構 (旧(社)全国鉄骨工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「()グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・監督員の承諾する製作工場																					
	2 施工管理技術者	※適用する (7.1.3) (7.1.4) (7.6.2) (7.12.2) ・適用しない																					
	3 製作精度	※(一社)日本建築学会「JASS 6 鉄骨工事」付則 6〔鉄骨精度検査基準〕 (7.3.3)による。 ※通しダイアフラムの許容誤差 ・全てのダイアフラムは H12 建告第 1464 号第二号イ(1)(2)に規定する仕様を満足すること ・ダイアフラムを H12 建告第 1464 号第二号イ(1)(2)に規定するただし書きの計算確認あり 補強方法 ・「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・																					
	4 建方精度	※(一社)日本建築学会「JASS 6 鉄骨工事」付則 6〔鉄骨精度検査基準〕 (7.10.2)付則 5〔工事現場〕による。																					
	⑤ 鋼材	鋼材の材質 (7.2.1) (表 7.2.1)																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>適用箇所</th> <th>規格等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SSC400</td> <td>外壁下地</td> <td>※JIS 規格による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※JIS 規格による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※JIS 規格による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※JIS 規格による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類の記号	適用箇所	規格等	SSC400	外壁下地	※JIS 規格による			※JIS 規格による			※JIS 規格による			※JIS 規格による						
	種類の記号	適用箇所	規格等																				
	SSC400	外壁下地	※JIS 規格による																				
		※JIS 規格による																					
		※JIS 規格による																					
		※JIS 規格による																					
6 高力ボルト	区分 (7.2.2) (7.3.2) ※トルシア形高力ボルト 2種(S10T) ・JIS 形高力ボルト 2種(F10T) 高力ボルトの径 ※図示 すべり係数試験 (7.4.2) ※行わない																						
7 縁端距離, ボルト間隔, ゲージ等	高力ボルト, 普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離, ボルト間隔, (7.2.2) (7.3.2)ボルト径, ゲージ等 ・構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1 縁端距離及びボルト間隔による																						
8 溶融亜鉛めっき高力ボルト	セットの種類 (7.2.2) ・1種(F8T 相当) 摩擦面の処理 (7.12.4) ※ブラスト処理 (表面粗度 50 μ mRz 以上) 摩擦面の確認方法 ・図示 ・試験片によるすべり耐力試験																						

章	項目	特記事項											
7 鉄骨工事	9 アンカーボルト	<p>適用 (7.2.4) (表7.2.3) (7.10.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構造用アンカーボルト <ul style="list-style-type: none"> ・ JSS B 1220 又は JSS II 13-2004 ABR400 ・ JSS B 1220 又は JSS II 13-2004 ABR490 ・建方用アンカーボルト <p>材質</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SS400 <p>アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級の規格及び仕上げの程度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 標準仕様書 表 7.2.3 による <p>保持及び埋込み工法 (7.10.3) (表7.10.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 構造用 <ul style="list-style-type: none"> ※図示 ・ 建方用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 標準仕様書 7.10.1 (・A種 ※B種 ・C種) による 											
	10 柱底均しモルタル	<p>モルタルの種類 (7.2.9)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※無収縮モルタル <p>無収縮モルタルの材料及び調合材料、調合等</p> <ul style="list-style-type: none"> ※標準仕様書 7.2.9 による <p>品質及び試験方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ※標準仕様書表 7.2.6 による <p>工法の種別</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 標準仕様書 表 7.10.2 <ul style="list-style-type: none"> ※A種 [モルタル厚さ 50] ・ B種 [モルタル厚さ 30] 											
	11 ターンバックル	<p>種類 (7.2.6)</p> <p>建築用ターンバックル胴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 割枠式 <p>建築用ターンバックルボルト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 羽子板ボルト <p>ねじの呼び (7.2.6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示 											
	12 デッキプレート	<p>工法の種別 (7.2.7) (6.8.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 合成スラブ ・ 床型枠用 <p>材質、形状及び寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示 <p>鉄骨部材への溶接方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示 <p>耐火認定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あり ・ なし 											
	13 スタッドボルト	<p>(7.2.5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>径(呼び名)</th> <th>長さ(呼び長さ) mm</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16φ</td> <td>・ 80 ・ 100 ・ 120</td> <td></td> </tr> <tr> <td>19φ</td> <td>・ 80 ・ 100 ・ 130 ・ 150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>22φ</td> <td>・ 80 ・ 100 ・ 130 ・ 150</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	径(呼び名)	長さ(呼び長さ) mm	適用箇所	16φ	・ 80 ・ 100 ・ 120		19φ	・ 80 ・ 100 ・ 130 ・ 150		22φ	・ 80 ・ 100 ・ 130 ・ 150
径(呼び名)	長さ(呼び長さ) mm	適用箇所											
16φ	・ 80 ・ 100 ・ 120												
19φ	・ 80 ・ 100 ・ 130 ・ 150												
22φ	・ 80 ・ 100 ・ 130 ・ 150												

章	項目	特記事項																			
7 鉄骨工事	14 入熱、パス間温度の溶接条件	鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件 <ul style="list-style-type: none"> ・図示 ・構造関係共通図（鉄骨標準図）(5(7)鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件)による 適用箇所 <ul style="list-style-type: none"> ・図示 ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 																			
	15 溶接接合	スカラップの形状 (7.6.7) <ul style="list-style-type: none"> ・改良型 エンドタブの切除 <ul style="list-style-type: none"> ・行う 適用箇所 <ul style="list-style-type: none"> ・全て ・図示 ・行わない 																			
	16 溶接部の試験	完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 (7.6.11) <ul style="list-style-type: none"> ・行わない ※行う ・工場溶接の場合 AOQL (%) <ul style="list-style-type: none"> ・4.0 ・2.5 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>節</td> <td>・全て</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>検査水準</td> <td>・第6水準</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> ・工事現場溶接の場合 AOQL (%) <ul style="list-style-type: none"> ・4.0 ・2.5 	節	・全て	・	・	・	検査水準	・第6水準	・	・	・									
	節	・全て	・	・	・																
検査水準	・第6水準	・	・	・																	
17 錆止め塗装	塗料の種別 (7.8.3) (18.3.2) 鉄鋼面 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・標準仕様書 表 18.3.1 A種</td> <td>・屋外（・標準仕様書 7.8.2 の範囲以外）</td> </tr> <tr> <td>○標準仕様書 表 18.3.1 B種</td> <td>○屋内（・標準仕様書 7.8.2 の範囲以外）</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> 亜鉛めっき面 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・標準仕様書 表 18.3.2 A種</td> <td>・屋外、屋内</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> 鋼製スリーブの内側（鉄骨に溶接されたもの） <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・標準仕様書 表 18.3.1 B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	種別	適用箇所	・標準仕様書 表 18.3.1 A種	・屋外（・標準仕様書 7.8.2 の範囲以外）	○標準仕様書 表 18.3.1 B種	○屋内（・標準仕様書 7.8.2 の範囲以外）	・	・	種別	適用箇所	・標準仕様書 表 18.3.2 A種	・屋外、屋内	・	・	種別	適用箇所	・標準仕様書 表 18.3.1 B種	・	・	・
種別	適用箇所																				
・標準仕様書 表 18.3.1 A種	・屋外（・標準仕様書 7.8.2 の範囲以外）																				
○標準仕様書 表 18.3.1 B種	○屋内（・標準仕様書 7.8.2 の範囲以外）																				
・	・																				
種別	適用箇所																				
・標準仕様書 表 18.3.2 A種	・屋外、屋内																				
・	・																				
種別	適用箇所																				
・標準仕様書 表 18.3.1 B種	・																				
・	・																				

章	項目	特記事項		
7 鉄骨工事	18 耐火被覆	種類等 (7.9.2~7)		
	種別		材料・工法	適用箇所(部位・部分)
	・耐火材吹付け		・乾式吹付けロックール	
			・半乾式吹付けロックール	
			・湿式ロックール	
			・	
			・	
	・耐火板張り		・繊維混入けい酸カルシウム板	
			・	
	・耐火材巻付け		・高耐熱ロックール	
・ス張りモルタル塗り				
材料及び工法は、建築基準法に基づき定められたもの又は認定を受けたものとする。				
性能				
性能		適用箇所(部位・部分)		
・30分耐火				
・1時間耐火				
・2時間耐火				
・3時間耐火				
①9 溶融亜鉛めっき	種類等 (7.12.3) (表 14.2.2)			
溶融亜鉛めっきの種類		材料	適用箇所	
A種(HDZ55)		最小板厚 6.0mm 以上の形鋼, 鋼板	※図示 ・	
B種(HDZ45)		最小板厚 3.2mm 以上, 6.0mm 未満の形鋼, 鋼板		
C種(HDZ35)		普通ボルト・ナット類, アンカーボルト類 最小板厚 1.6mm 以上, 3.2mm 未満の形鋼, 鋼板		
外観検査 ・行う ・行わない				
メッキ付着量の検査 ・行う ・行わない				
20 梁貫通孔の補強	補強方法			
※図示				
・				
・				
適用箇所				
※図示				

章	項目	特記事項																																					
8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	1 補強コンクリートブロック造	ブロックの種類 (8.2.2, 5)																																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">断面形状及び 圧縮強さ による区分</th> <th rowspan="2">正味 厚さ (mm)</th> <th colspan="2">モジュール呼び寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">化粧の 有無</th> <th rowspan="2">適用箇所</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>長さ</th> <th>高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※空洞ブロック-16</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・無 ・有</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・型枠状ブロック-20</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・無 ・有</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・無 ・有</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	断面形状及び 圧縮強さ による区分	正味 厚さ (mm)	モジュール呼び寸法 (mm)		化粧の 有無	適用箇所	備考	長さ	高さ	※空洞ブロック-16				・無 ・有			・型枠状ブロック-20				・無 ・有			・				・無 ・有									
		断面形状及び 圧縮強さ による区分			正味 厚さ (mm)	モジュール呼び寸法 (mm)				化粧の 有無	適用箇所	備考																											
			長さ	高さ																																			
		※空洞ブロック-16				・無 ・有																																	
	・型枠状ブロック-20				・無 ・有																																		
	・				・無 ・有																																		
	各部の配筋 ※図示																																						
	2 コンクリートブロック 塀及び壁	ブロックの種類 (8.3.2, 3)																																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">断面形状及び 圧縮強さ による区分</th> <th rowspan="2">正味 厚さ (mm)</th> <th colspan="2">モジュール呼び寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">化粧の 有無</th> <th rowspan="2">(表 8.3.1) 以外の 適用箇所</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>長さ</th> <th>高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・空洞ブロック-08</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・無 ・有</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・空洞ブロック-16</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・無 ・有</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・無 ・有</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・無 ・有</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	断面形状及び 圧縮強さ による区分	正味 厚さ (mm)	モジュール呼び寸法 (mm)		化粧の 有無	(表 8.3.1) 以外の 適用箇所	備考	長さ	高さ	・空洞ブロック-08				・無 ・有			・空洞ブロック-16				・無 ・有			・				・無 ・有			・				・無 ・有		
		断面形状及び 圧縮強さ による区分			正味 厚さ (mm)	モジュール呼び寸法 (mm)				化粧の 有無	(表 8.3.1) 以外の 適用箇所	備考																											
			長さ	高さ																																			
・空洞ブロック-08					・無 ・有																																		
・空洞ブロック-16				・無 ・有																																			
・				・無 ・有																																			
・				・無 ・有																																			
各部の配筋 ※図示																																							
3 ALCパネル	パネルの種類 (8.4.2~5)																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>パネルの種類</th> <th>単位荷重 (N/m²)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>長さ (mm)</th> <th>耐火性能</th> <th>表面加工</th> <th>工法の種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・外壁パネル</td> <td></td> <td>・100 ・</td> <td></td> <td>有(1)時間</td> <td>・平 ・意匠</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>・間仕切壁 パネル</td> <td></td> <td>・100 ・</td> <td></td> <td>・有(1)時間 ・無</td> <td>・平 ・意匠</td> <td>・C種 ・D種 ・E種</td> </tr> <tr> <td>・屋根パネル</td> <td></td> <td>・100 ・</td> <td></td> <td>有(0.5)時間</td> <td>平</td> <td>F種</td> </tr> <tr> <td>・床パネル</td> <td></td> <td>・100 ・</td> <td></td> <td>・有()時間</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	パネルの種類	単位荷重 (N/m ²)	厚さ (mm)	長さ (mm)	耐火性能	表面加工	工法の種別	・外壁パネル		・100 ・		有(1)時間	・平 ・意匠	・A種 ・B種	・間仕切壁 パネル		・100 ・		・有(1)時間 ・無	・平 ・意匠	・C種 ・D種 ・E種	・屋根パネル		・100 ・		有(0.5)時間	平	F種	・床パネル		・100 ・		・有()時間					
	パネルの種類	単位荷重 (N/m ²)	厚さ (mm)	長さ (mm)	耐火性能	表面加工	工法の種別																																
	・外壁パネル		・100 ・		有(1)時間	・平 ・意匠	・A種 ・B種																																
	・間仕切壁 パネル		・100 ・		・有(1)時間 ・無	・平 ・意匠	・C種 ・D種 ・E種																																
	・屋根パネル		・100 ・		有(0.5)時間	平	F種																																
・床パネル		・100 ・		・有()時間																																			
外壁パネルの工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍 の風圧力に対応した工法) ・適用しない 外壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部、並びにパネルと他部材との取り合い部の 目地幅(mm) ※20 伸縮目地への耐火目地材の充てん ・適用する ・適用しない																																							

章	項目	特記事項					
8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	4 押出成形セメント板	(8.5.2~5)					
		ハ° 祢の種類	表面形状	厚さ (mm)	幅 (mm)	工法の種別	備考
		・ 外壁ハ° 祢	・ F (フラットハ° 祢)	・ 50 ・ 60	600	・ A種 ・ B種	
			・ D (デザインハ° 祢)	・ 50 ・ 60			
			・ T (タイルベースハ° 祢)	60			
		・ 間仕切壁ハ° 祢	・ F (フラットハ° 祢)	・ 50 ・ 60		・ B種 ・ C種	
			・ D (デザインハ° 祢)	・ 50 ・ 60			
			・ T (タイルベースハ° 祢)	60			
		外壁パネルの工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法) ・適用しない パネル相互の目地幅 (mm) ・ 図示 出隅及び入隅のパネル接合部の目地幅 (mm) ※15 ・ やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認のうえ、施工計画書を提出する。					
				開口の大きさ		切断後のパネルの残り部分の幅	
パネルに開口を設ける場合	短辺	・	・ 図示	・	・ 図示		
	長辺	・	・ 図示	・	・ 図示		
パネルを切り欠く場合	短辺	・	・ 図示	・	・ 図示		
	長辺	・	・ 図示	・	・ 図示		

章	項目	特記事項																																			
9 防水工事	1 アスファルト防水	(9.2.2~5) (表9.2.3~9)																																			
		屋根保護防水 防水層の種類																																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>絶縁用シート</th> <th>立上り部の保護</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A-1</td> <td></td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">/</td> <td rowspan="6">※ホ[®] リスチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 ・</td> <td rowspan="6">・ 乾式保護材 ・ コンクリート押え</td> </tr> <tr><td>・A-2</td><td></td></tr> <tr><td>・A-3</td><td></td></tr> <tr><td>・B-1</td><td></td></tr> <tr><td>・B-2</td><td></td></tr> <tr><td>・B-3</td><td></td></tr> <tr> <td>・AI-1</td> <td></td> <td rowspan="6">(材質)※JIS A 9511 による A 種ホ[®] リスチレンフォーム保温材の保温板 3 種 b(スキあり) ・ (厚さ) ・ 25mm ・ 50mm ・</td> <td rowspan="6">※フラットヤンクロス 70g/m² 程度 ・</td> <td rowspan="6"></td> </tr> <tr><td>・AI-2</td><td></td></tr> <tr><td>・AI-3</td><td></td></tr> <tr><td>・BI-1</td><td></td></tr> <tr><td>・BI-2</td><td></td></tr> <tr><td>・BI-3</td><td></td></tr> </tbody> </table>	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護	・A-1		/	※ホ [®] リスチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 ・	・ 乾式保護材 ・ コンクリート押え	・A-2		・A-3		・B-1		・B-2		・B-3		・AI-1		(材質)※JIS A 9511 による A 種ホ [®] リスチレンフォーム保温材の保温板 3 種 b(スキあり) ・ (厚さ) ・ 25mm ・ 50mm ・	※フラットヤンクロス 70g/m ² 程度 ・		・AI-2		・AI-3		・BI-1		・BI-2		・BI-3	
		種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護																															
		・A-1		/	※ホ [®] リスチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 ・	・ 乾式保護材 ・ コンクリート押え																															
		・A-2																																			
		・A-3																																			
		・B-1																																			
		・B-2																																			
		・B-3																																			
・AI-1		(材質)※JIS A 9511 による A 種ホ [®] リスチレンフォーム保温材の保温板 3 種 b(スキあり) ・ (厚さ) ・ 25mm ・ 50mm ・	※フラットヤンクロス 70g/m ² 程度 ・																																		
・AI-2																																					
・AI-3																																					
・BI-1																																					
・BI-2																																					
・BI-3																																					
改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表 9.2.3 から標準仕様書表 9.2.8 による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表 9.2.3 から標準仕様書表 9.2.8 による																																					
平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm 以上 床タイル貼り ※水下 60mm 以上																																					
・ 乾式保護材 窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成型しオートクレーブ養生したもの。 金属複合板：金属板と樹脂を一体化したもの。																																					
屋根露出防水 防水層の種類																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射反射率 防水の適用</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・D-1</td> <td></td> <td rowspan="6">(材質)※JIS A 9511 による A 種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板 2 種 1 号又は 2 号で透湿係数を除く規定に適合するもの ・ (厚さ) ・ 25mm ・</td> <td rowspan="6">・ 製造所の指定による</td> <td rowspan="6">・ 製造所の指定による</td> <td>・</td> </tr> <tr><td>・D-2</td><td></td><td>・</td></tr> <tr><td>・D-3</td><td></td><td>・</td></tr> <tr><td>・D-4</td><td></td><td>・</td></tr> <tr><td>・DI-1</td><td></td><td>・</td></tr> <tr><td>・DI-2</td><td></td><td>・</td></tr> </tbody> </table>	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率 防水の適用	種類	使用量	・D-1		(材質)※JIS A 9511 による A 種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板 2 種 1 号又は 2 号で透湿係数を除く規定に適合するもの ・ (厚さ) ・ 25mm ・	・ 製造所の指定による	・ 製造所の指定による	・	・D-2		・	・D-3		・	・D-4		・	・DI-1		・	・DI-2		・								
種別				施工箇所	断熱材		仕上塗料		高日射反射率 防水の適用																												
	種類	使用量																																			
・D-1		(材質)※JIS A 9511 による A 種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板 2 種 1 号又は 2 号で透湿係数を除く規定に適合するもの ・ (厚さ) ・ 25mm ・	・ 製造所の指定による	・ 製造所の指定による	・																																
・D-2					・																																
・D-3					・																																
・D-4					・																																
・DI-1					・																																
・DI-2					・																																
屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示																																					
防水層の種類																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・E-1</td> <td></td> <td>・E-2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別	施工箇所	種別	施工箇所	・E-1		・E-2																														
種別	施工箇所	種別	施工箇所																																		
・E-1		・E-2																																			
保護層	・ 設ける (※図示)	・ 設けない																																			

章	項 目	特 記 事 項																																			
9 防水工事	1 アスファルト防水	防水層の下地、立上りコンクリート打放し仕上げ ※標準仕様書表表 6. 2. 4[打放し仕上げ種別]の B 種 押え金物の材質及び形状 ※アルミニウム製 L-30×15×2. 0mm 程度 防水層の下地のモルタル塗り ・適用する（施工範囲 ・図示 ・ ） ・適用しない 屋根排水溝 ※図示 ・																																			
	2 改質アスファルトシート防水	防水層の種別 (9. 3. 2, 3) (表 9. 3. 1～3) <table border="1" data-bbox="529 454 1473 981"> <thead> <tr> <th data-bbox="529 454 651 521">種別</th> <th data-bbox="651 454 783 521">施工箇所</th> <th data-bbox="783 454 1086 521">断熱材</th> <th data-bbox="1086 454 1289 521">防湿層</th> <th data-bbox="1289 454 1473 521">高日射反射率 防水の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="529 521 651 560">・ AS-T1</td> <td data-bbox="651 521 783 560"></td> <td data-bbox="783 521 1086 734" rowspan="6" style="text-align: center;">/</td> <td data-bbox="1086 521 1289 734" rowspan="6" style="text-align: center;">/</td> <td data-bbox="1289 521 1473 560">・</td> </tr> <tr> <td data-bbox="529 560 651 598">・ AS-T2</td> <td data-bbox="651 560 783 598"></td> <td data-bbox="1289 560 1473 598">・</td> </tr> <tr> <td data-bbox="529 598 651 636">・ AS-J3</td> <td data-bbox="651 598 783 636"></td> <td data-bbox="1289 598 1473 636">・</td> </tr> <tr> <td data-bbox="529 636 651 674">・ AS-T3</td> <td data-bbox="651 636 783 674"></td> <td data-bbox="1289 636 1473 674">・</td> </tr> <tr> <td data-bbox="529 674 651 712">・ AS-T4</td> <td data-bbox="651 674 783 712"></td> <td data-bbox="1289 674 1473 712">・</td> </tr> <tr> <td data-bbox="529 712 651 750">・ AS-J2</td> <td data-bbox="651 712 783 750"></td> <td data-bbox="1289 712 1473 750">・</td> </tr> <tr> <td data-bbox="529 750 651 862">・ ASI-T1</td> <td data-bbox="651 750 783 862"></td> <td data-bbox="783 750 1086 981" rowspan="2"> (材質)※JIS A 9511 による A 種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板 2 種 1 号又は 2 号で透湿係数を除く規定に適合するもの ・ (厚さ) ・ 25mm ・ </td> <td data-bbox="1086 750 1289 862" rowspan="2"> ・ 設ける (改質アスファルト製造所の仕様による) ・ 設けない </td> <td data-bbox="1289 750 1473 862">・</td> </tr> <tr> <td data-bbox="529 862 651 981">・ ASI-J1</td> <td data-bbox="651 862 783 981"></td> <td data-bbox="1289 862 1473 981">・</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="529 1019 1473 1292"> 改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表 9. 3. 1 から表 9. 3. 3 による ・ 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表 9. 3. 1 から表 9. 3. 3 による ・ 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表 9. 3. 1 から表 9. 3. 3 による ・ 押え金物 ※改質アスファルト製造所の仕様による ・ </p>				種別	施工箇所	断熱材	防湿層	高日射反射率 防水の適用	・ AS-T1		/	/	・	・ AS-T2		・	・ AS-J3		・	・ AS-T3		・	・ AS-T4		・	・ AS-J2		・	・ ASI-T1		(材質)※JIS A 9511 による A 種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板 2 種 1 号又は 2 号で透湿係数を除く規定に適合するもの ・ (厚さ) ・ 25mm ・	・ 設ける (改質アスファルト製造所の仕様による) ・ 設けない	・	・ ASI-J1	
種別	施工箇所	断熱材	防湿層	高日射反射率 防水の適用																																	
・ AS-T1		/	/	・																																	
・ AS-T2				・																																	
・ AS-J3				・																																	
・ AS-T3				・																																	
・ AS-T4				・																																	
・ AS-J2				・																																	
・ ASI-T1		(材質)※JIS A 9511 による A 種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板 2 種 1 号又は 2 号で透湿係数を除く規定に適合するもの ・ (厚さ) ・ 25mm ・	・ 設ける (改質アスファルト製造所の仕様による) ・ 設けない	・																																	
・ ASI-J1				・																																	

章	項目	特記事項					
9 防水工事	3 合成高分子系ルーフィングシート防水	(9.4.2~4) (表9.4.1, 2)					
		種別	施工箇所	絶縁シートの材質	断熱材	仕上塗料	高日射反射率防水の適用
		・S-F1		/		・カー・シルバー	・
		・S-F2				・	
		・S-M1				・カー・シルバー	・
		・S-M2				・	
		・S-M3				・	
		・SI-F1		/	(材質)※A 種ポリイソシアネートフォーム保温材の密度及び熱伝導率の規格に適合するもの ・ (厚さ)・25mm ・	・カー・シルバー	・
		・SI-F2				・	
		・SI-M1		/	(材質)※A 種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規定に適合するもの又はA種押出法ポリイソシアネートフォーム保温材の保温板 ・ (厚さ)・25mm ・	・カー・シルバー	・
・SI-M2		・					
		※発泡ポリイソシアネートシート ・			・		
<p>ルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.4.1から表9.4.2による ・</p> <p>防水下地がPCコンクリート部材下地の場合の処理 目地処理 ※図示 ・</p> <p>入隅部の増張り (S-F1, SI-F1の場合) ※図示 ・</p> <p>機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法) ・適用しない</p>							
4 塗膜防水		(表9.5.3) (表9.5.1, 2)					
		防水層の種類別					
		種別	施工箇所	仕上塗料	保護層	高日射反射率防水の適用	
		・X-1		・カー・シルバー	/	・	
		・X-2		・カー・シルバー		・	
		・Y-1	※地下外壁防水		/	・	
・Y-2	※屋内防水		・適用する ・適用しない				
5 ケイ酸質系塗布防水		(表9.6.1, 3) (表9.6.1, 2)					
		防水層の種類別					
		種別	施工箇所	種別	施工箇所		
※C-UI		・C-UP					

章	項目	特記事項										
9 防水工事	6 脱気装置	(9.2.3) (9.3.3) (9.5.3)										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>種類</th> <th>設置数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>D-1 D-2 D-3 D-4 DI-1 DI-2 AS-T3 AS-T4 AS-J2 ASI-T1 ASI-J1</td> <td>※アスファルトフイグ類製造所の仕様による ・</td> <td>※アスファルトフイグ類製造所の仕様による ・</td> </tr> <tr> <td>X-1</td> <td>※防水層の主材料の製造所の仕様による ・</td> <td>※防水層の主材料の製造所の仕様による ・</td> </tr> </tbody> </table>	種別	種類	設置数量	D-1 D-2 D-3 D-4 DI-1 DI-2 AS-T3 AS-T4 AS-J2 ASI-T1 ASI-J1	※アスファルトフイグ類製造所の仕様による ・	※アスファルトフイグ類製造所の仕様による ・	X-1	※防水層の主材料の製造所の仕様による ・	※防水層の主材料の製造所の仕様による ・	
種別	種類	設置数量										
D-1 D-2 D-3 D-4 DI-1 DI-2 AS-T3 AS-T4 AS-J2 ASI-T1 ASI-J1	※アスファルトフイグ類製造所の仕様による ・	※アスファルトフイグ類製造所の仕様による ・										
X-1	※防水層の主材料の製造所の仕様による ・	※防水層の主材料の製造所の仕様による ・										
	⑦ シーリング	(9.6.2) (表9.6.1)										
		<p>下記以外は、標準仕様書表9.7.1による ただし、外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは11章に、カーテンウォールの場合のシーリングは17章による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類（記号）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p>シーリング材の目地寸法 ※標準仕様書9.7.3(a) (1)～(3)による ・</p>			施工箇所	シーリング材の種類（記号）						
施工箇所	シーリング材の種類（記号）											

章	項目	特記事項																																																																	
10 石 工 事	1 施工	(10.1.3, 5) 石材の割付け ※標準仕様書 10.1.3(a) (1), (2)による ・図示 粗面仕上げの場合のみ込み部分の仕上げ ・図示 ・ 屋内の床を本磨きとする場合のワックスがけ ・行う(適用場所 ・すべて ・) ・行わない																																																																	
	2 石材等	天然石 (10.2.1, 3) (表 10.2.1, 2)																																																																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品質</th> <th>石材の種類</th> <th>形状</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面仕上げ</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・1等品 ・2等品</td> <td></td> <td>※正方形に近い矩形 ・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・1等品 ・2等品</td> <td></td> <td>※正方形に近い矩形 ・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>テラゾブロック</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種石の種類</th> <th>種石の大きさ (mm)</th> <th>形状</th> <th>仕上げ面</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>表面仕上げ</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※大理石 ・花こう岩</td> <td>※1.5~12 ・</td> <td>・平もの ・役もの</td> <td>・片面 ・両面</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>※大理石 ・花こう岩</td> <td>※1.5~12 ・</td> <td>・平もの ・役もの</td> <td>・片面 ・両面</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>テラゾタイル</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種石の種類</th> <th>種石の大きさ (mm)</th> <th>寸法による区分</th> <th>表面仕上げ</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※大理石 ・花こう岩</td> <td>※1.5~12 ・</td> <td>・300型 ・400型</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>※大理石 ・花こう岩</td> <td>※1.5~12 ・</td> <td>・300型 ・400型</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>取り付用モルタル、既調合の目地モルタル、石裏面処理材、裏打ち処理材 ※石材施工業者の指定する製品 ・</p>	施工箇所	品質	石材の種類	形状	寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面仕上げ	備考		・1等品 ・2等品		※正方形に近い矩形 ・						・1等品 ・2等品		※正方形に近い矩形 ・					施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	形状	仕上げ面	寸法 (mm)	表面仕上げ	備考		※大理石 ・花こう岩	※1.5~12 ・	・平もの ・役もの	・片面 ・両面					※大理石 ・花こう岩	※1.5~12 ・	・平もの ・役もの	・片面 ・両面				施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	寸法による区分	表面仕上げ	備考		※大理石 ・花こう岩	※1.5~12 ・	・300型 ・400型				※大理石 ・花こう岩	※1.5~12 ・	・300型 ・400型	
施工箇所	品質	石材の種類	形状	寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面仕上げ	備考																																																												
	・1等品 ・2等品		※正方形に近い矩形 ・																																																																
	・1等品 ・2等品		※正方形に近い矩形 ・																																																																
施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	形状	仕上げ面	寸法 (mm)	表面仕上げ	備考																																																												
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12 ・	・平もの ・役もの	・片面 ・両面																																																															
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12 ・	・平もの ・役もの	・片面 ・両面																																																															
施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	寸法による区分	表面仕上げ	備考																																																														
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12 ・	・300型 ・400型																																																																
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12 ・	・300型 ・400型																																																																
3 外壁湿式工法		(10.2.2, 3) (10.3.2, 3) 石裏面処理 ・適用する ・適用しない 裏打ち処理 ・適用する ・適用しない 下地ごしらえ ※流し筋工法 ・あと施工アンカー工法 ・あと施工アンカー、横筋横流し工法 受金物 材質 ※SS400 ・ 形状及び寸法 ・L-75×75×6 (mm) の加工 L=100mm ・L-75×75×6 (mm) の加工 L=150mm ・ ドレインパイプの材質 ・樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25~35φ ・ アンカーの材質及び径 ※SS400 M12 ・ あと施工アンカーの材質及び寸法 () 目地 一般目地 目地幅 (mm) ※6以上 ・ シーリング材 ・適用する ・適用しない 伸縮調整目地 位置 ※6m ごと ・図示 シーリング材の目地寸法 ※標準仕様書 9.7.3(a) (3)による ・図示																																																																	

章	項目	特記事項
10 石 工 事	4 内壁空積工法	(10.2.2, 3) (10.3.2, 3) 受金物 材質 ※SS400 形状及び寸法 ・L-75×75×6(mm)の加工 L=100mm ・L-75×75×6(mm)の加工 L=150mm 石裏面処理 ・適用する ・適用しない 裏打ち処理 ・適用する ・適用しない 下地ごしらえ ※あと施工アンカー, 横筋横流し工法 ・あと施工アンカー工法 アンカーの材質及び径 ※SS400 M12 あと施工アンカーの材質及び寸法 () 目地 一般目地 目地幅(mm) ※6以上 シーリング材 ・適用する ・適用しない 伸縮調整目地 位置 ※6mごと ・図示 シーリング材の目地寸法 ※標準仕様書9.7.3(a)(3)による ・図示
	5 乾式工法	(10.2.2) (10.5.2, 3) (表10.2.4) 取付け方式 ・スライド方式 ・ロッキング方式 石裏面処理 ・適用する ・適用しない 裏打ち処理 ・適用する ・適用しない だぼ用の穴の位置 ※標準仕様書10.5.2(b)(1)による ・図示 外壁の工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍 の風圧力に対応した工法) ・適用しない アンカーの材質及び形状 ※ステンレス(SUS304) M10 あと施工アンカーの材質及び寸法 () 目地 目地幅(mm) ※8以上 シーリング材 ・適用する(※標準仕様書9章7節による ・図示) ・適用しない
	6 床及び階段の石張り	(10.6.2, 3) 床石張りの石裏面処理 ・適用する ・適用しない 階段張りの石裏面処理 ・適用する ・適用しない 目地 一般目地 目地幅(mm) ・図示 シーリング材 ・適用する ・適用しない 伸縮調整目地 位置 ※床面積30m ² 程度ごと, 細長い通路の場合6m程度 ごと及び他部材との取り合い部 ・図示
	7 アーチ, 上げ裏等の石張り	(10.2.2) (10.7.1, 2) 取付け工法 ・外壁湿式工法 ・内壁空積工法 ・乾式工法 取付け金物 ・※標準仕様書10.2.2(c)による 引金物, だぼ, かすがい及び受金物 標準仕様書10.2.2(a)による 吊金物及び化粧吊りボルト ・設ける 吊金物 ※ステンレス(SUS304)径6mm長さ80mm(加工物) 吊りボルト ※ステンレス(SUS304)M10化粧ナット付き ・設けない 石裏面処理 ・適用する ・適用しない 裏打ち処理 ・適用する ・適用しない アンカーの材質及び径 ・SS400 M12 ・ステンレス(SUS304) M10 あと施工アンカーの材質及び寸法 () 目地 一般目地 目地幅(mm) ※6以上 伸縮調整目地 位置 ※他部材との取り合い部 ・図示

章	項 目	特 記 事 項
10 石 工 事	8 笠木, 甲板等の石張り	<p style="text-align: right;">(10.2.2) (10.7.1, 3)</p> <p>取付け工法 ・外壁湿式工法 ・乾式工法 取付け金物 ・※標準仕様書 10.2.2(c)による ・ 引金物, だぼ, かすがい及び受金物 標準仕様書 10.2.2(a)による ・ 石裏面処理 ・適用する ・適用しない 乾式工法の場合の取付け代 ※標準仕様書 10.5.3(b)による 石裏の補強用モルタル ・適用する ・適用しない アンカーの材質及び径 ・ステンレス(SUS304) M10 ・ あと施工アンカーの材質及び寸法 ()</p>

章	項目	特記事項																																																																									
11 タイル工事	1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地	(11.1.3) (表 11.1.1) 位置 ※標準仕様書表 11.1.1による ・図示																																																																									
	2 セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り	(11.2.2, 3, 7) タイルの形状・寸法等 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">主な用途による区分 (JIS)</th> <th rowspan="2">形状/寸法 (mm)</th> <th colspan="3">吸水率による区分</th> <th colspan="2">うわぐすり</th> <th colspan="2">役物</th> <th colspan="2">色</th> <th rowspan="2">再生材の適用</th> <th colspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>I類</th> <th>II類</th> <th>III類</th> <th>施ゆう</th> <th>無ゆう</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>標準</th> <th>特注</th> <th>有</th> <th>無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・行う ・行わない 見本焼き ・行う ※行わない モルタル塗りのコンクリート素地面の処理 ・MCR 工法 ・目荒し工法(高圧洗浄) ・壁タイル張りの工法 外装タイル ・密着張り ・改良積上げ張り ・改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り</p> <p>・既製調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">保水率 (%)</th> <th rowspan="2">単位容積質量 (kg/l)</th> <th colspan="2">接着強さ (N/mm²)</th> <th rowspan="2">長さ変化率 (%)</th> <th rowspan="2">曲げ強さ (N/mm²)</th> </tr> <tr> <th>標準時</th> <th>温冷繰返し後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>70.0 以上</td> <td>1.80 程度</td> <td>0.60 以上</td> <td>0.40 以上</td> <td>0.20 以下</td> <td>4.0 以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>・既製調合目地材</p>	施工箇所	主な用途による区分 (JIS)	形状/寸法 (mm)	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色		再生材の適用	耐凍害性		備考	I類	II類	III類	施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特注	有	無				・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・					・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・		保水率 (%)	単位容積質量 (kg/l)	接着強さ (N/mm ²)		長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/mm ²)	標準時	温冷繰返し後	70.0 以上	1.80 程度	0.60 以上	0.40 以上	0.20 以下	4.0 以上
	施工箇所	主な用途による区分 (JIS)				形状/寸法 (mm)	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色		再生材の適用	耐凍害性		備考																																																								
I類			II類	III類	施ゆう		無ゆう	有	無	標準	特注	有	無																																																														
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																													
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																													
保水率 (%)	単位容積質量 (kg/l)	接着強さ (N/mm ²)		長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/mm ²)																																																																						
		標準時	温冷繰返し後																																																																								
70.0 以上	1.80 程度	0.60 以上	0.40 以上	0.20 以下	4.0 以上																																																																						
3 接着剤による陶磁器質タイル張り	(11.3.2~4, 7) タイルの形状・寸法等 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">主な用途による区分 (JIS)</th> <th rowspan="2">形状/寸法 (mm)</th> <th colspan="3">吸水率による区分</th> <th colspan="2">うわぐすり</th> <th colspan="2">役物</th> <th colspan="2">色</th> <th rowspan="2">再生材の適用</th> <th colspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>I類</th> <th>II類</th> <th>III類</th> <th>施ゆう</th> <th>無ゆう</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>標準</th> <th>特注</th> <th>有</th> <th>無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・行う ・行わない 見本焼き ・行う ※行わない 外装タイル接着剤張りにおける目地のシーリング材 打継ぎ目地 ※ポリウレタン系シーリング材 ・ ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系シーリング材 ・ 伸縮調整目地 ※変成シリコーン系シーリング材 ・ その他の目地 ※変成シリコーン系シーリング材 ・ モルタル塗りのコンクリート素地面の処理 ・MCR 工法 ・目荒し工法(高圧洗浄) ・</p>	施工箇所	主な用途による区分 (JIS)	形状/寸法 (mm)	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色		再生材の適用	耐凍害性		備考	I類	II類	III類	施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特注	有	無				・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・					・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																
施工箇所	主な用途による区分 (JIS)				形状/寸法 (mm)	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色		再生材の適用	耐凍害性		備考																																																									
		I類	II類	III類		施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特注	有	無																																																														
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																													
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																													

章	項目	特記事項															
11 タイル工事	4 陶磁器質タイル型枠先付け	(11.4.2, 3) (表 11.4.1)															
		タイルの形状・寸法等															
		施工箇所	主な用途による区分 (JIS)	形状/寸法 (mm)	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色		再生材の適用	耐凍害性		備考
					I類	II類	III類	施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特注		有	無	
			
			
標準的な曲がりの役物は一体成形とする																	
試験張り ・ 行う ・ 行わない																	
見本焼き ・ 行う ・ 行わない																	
タイル型枠先付けの種類																	
種類				適用タイル				タイル型枠先付け面のせき板の種別									
※タイルシート法				・ 小口タイル				※標準仕様書 6.8.3(b) (2)									
・ 目地榿法				・ 二丁掛タイル				・ 金属製タイル先付け用パネル									
・ 棧木法				大型タイル				・									

章	項目	特記事項																																																																																						
12 木工事	1 表面仕上げ ⁶	(12.1.4) <table border="1"> <thead> <tr> <th>表面仕上げの種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	表面仕上げの種別	適用箇所	・A種		※B種		・C種		・D種																																																																													
	表面仕上げの種別	適用箇所																																																																																						
	・A種																																																																																							
	※B種																																																																																							
	・C種																																																																																							
	・D種																																																																																							
	2 製材	(12.1.4) ・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※2級・</td> <td></td> <td>※A種・B種・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※2級・</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※2級・</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> ・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※A種・B種 ・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> ・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等・</td> <td></td> <td>※A種・B種・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等・</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等・</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> ・「製材の日本農林規格」以外の製材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>造作用材の材面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>難燃処理</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>() 造作用材の場合 (※A種・B種)</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>※A種 ・B種 ・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> ・代用樹種を適用しない箇所 ()	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用				※2級・		※A種・B種・	・				※2級・			・				※2級・			・	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用						※A種・B種 ・	・	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用				※1等・		※A種・B種・	・				※1等・			・				※1等・			・	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	造作用材の材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率	間伐材等の適用				() 造作用材の場合 (※A種・B種)	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・	・
	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用																																																																																	
				※2級・		※A種・B種・	・																																																																																	
				※2級・			・																																																																																	
				※2級・			・																																																																																	
	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用																																																																																	
					※A種・B種 ・	・																																																																																		
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用																																																																																		
			※1等・		※A種・B種・	・																																																																																		
			※1等・			・																																																																																		
			※1等・			・																																																																																		
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	造作用材の材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率	間伐材等の適用																																																																																	
			() 造作用材の場合 (※A種・B種)	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・	・																																																																																	
3 造作用集成材	(12.2.1) ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面の等級</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> ・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>化粧薄板の樹種</th> <th>芯材の樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の等級</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> ・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>化粧薄板の樹種</th> <th>芯材の樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の等級	間伐材等の適用				※1等 ・2等	・				※1等 ・2等	・				※1等 ・2等	・	施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の等級	間伐材等の適用						※1等 ・2等	・						※1等 ・2等	・						※1等 ・2等	・	施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	間伐材等の適用						・						・						・															
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の等級	間伐材等の適用																																																																																				
			※1等 ・2等	・																																																																																				
			※1等 ・2等	・																																																																																				
			※1等 ・2等	・																																																																																				
施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の等級	間伐材等の適用																																																																																		
					※1等 ・2等	・																																																																																		
					※1等 ・2等	・																																																																																		
					※1等 ・2等	・																																																																																		
施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	間伐材等の適用																																																																																			
					・																																																																																			
					・																																																																																			
					・																																																																																			

章	項目	特記事項																								
12 木工事	3 造作用集成材	・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※A種・B種・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※A種・B種・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※A種・B種・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用					※A種・B種・	・					※A種・B種・	・					※A種・B種・	・
		施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用																			
						※A種・B種・	・																			
						※A種・B種・	・																			
						※A種・B種・	・																			
		・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>化粧薄板の樹種</th> <th>芯材の樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※A種・B種 ・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用							※A種・B種 ・	・								
		施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用																	
							※A種・B種 ・	・																		
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成材																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>化粧薄板の樹種</th> <th>芯材の樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※A種・B種 ・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用							※A種・B種 ・	・									
施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用																			
						※A種・B種 ・	・																			
4 造作用単板積層材	(12.2.1)																									
	ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・ 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面の化粧加工</th> <th>防虫処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・有り(加工 ・天然木加工・塗装加工) ・無し(等級:)</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	間伐材等の適用			・有り(加工 ・天然木加工・塗装加工) ・無し(等級:)	・適用する ・適用しない	・															
	施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	間伐材等の適用																					
			・有り(加工 ・天然木加工・塗装加工) ・無し(等級:)	・適用する ・適用しない	・																					
「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面の化粧加工</th> <th>防虫処理</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・有り (加工 ・天然木加工・塗装加工) ・無し(等級:)</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>※14%以下</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	含水率	間伐材等の適用			・有り (加工 ・天然木加工・塗装加工) ・無し(等級:)	・適用する ・適用しない	※14%以下	・														
施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	含水率	間伐材等の適用																					
		・有り (加工 ・天然木加工・塗装加工) ・無し(等級:)	・適用する ・適用しない	※14%以下	・																					
5 床張り用合板等	(12.2.1)																									
	ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・																									
	・普通合板																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>難燃処理</th> <th>防火処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※5.5 ・</td> <td></td> <td>※1類 ・2類</td> <td>広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ・C-D以上 ・</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	厚さ (mm)	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防火処理	間伐材等の適用		※5.5 ・		※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ・C-D以上 ・	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・							
	施工箇所	厚さ (mm)	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防火処理	間伐材等の適用																	
	※5.5 ・		※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ・C-D以上 ・	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・																		
・構造用合板																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>等級</th> <th>表板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>有効断面係数比</th> <th>難燃処理</th> <th>強度等級</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※12 ・</td> <td>※2級 以上 ・</td> <td></td> <td>※1類 ・特類</td> <td>・C-D 以上 ・</td> <td></td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・適用する () ・適用しない</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	厚さ (mm)	等級	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	有効断面係数比	難燃処理	強度等級	間伐材等の適用		※12 ・	※2級 以上 ・		※1類 ・特類	・C-D 以上 ・		・適用する ・適用しない	・適用する () ・適用しない	・						
施工箇所	厚さ (mm)	等級	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	有効断面係数比	難燃処理	強度等級	間伐材等の適用																	
	※12 ・	※2級 以上 ・		※1類 ・特類	・C-D 以上 ・		・適用する ・適用しない	・適用する () ・適用しない	・																	

章	項目	特記事項																								
12 木工事	5 床張り用合板等	<p>・パーティクルボード</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面の状態による区分</th> <th>曲げ強さ による区分</th> <th>接着剤 による区分</th> <th>間伐材等 の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※15 ・</td> <td></td> <td>※13タイプ ・</td> <td>※P 又は M</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>・構造用パネル</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th colspan="4">等級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・1級</td> <td>・2級</td> <td>・3級</td> <td>・4級</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	厚さ (mm)	表面の状態による区分	曲げ強さ による区分	接着剤 による区分	間伐材等 の適用		※15 ・		※13タイプ ・	※P 又は M	・	施工箇所	厚さ (mm)	等級						・1級	・2級	・3級	・4級
	施工箇所	厚さ (mm)	表面の状態による区分	曲げ強さ による区分	接着剤 による区分	間伐材等 の適用																				
		※15 ・		※13タイプ ・	※P 又は M	・																				
施工箇所	厚さ (mm)	等級																								
		・1級	・2級	・3級	・4級																					
6 接着材	(12. 2. 1)	<p>接着材に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・</p>																								
7 防腐・防蟻	(12. 2. 2, 3)	<p>・防腐, 防蟻処理が不要な樹種による製材及び集成材 適用部位：()</p> <p>・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用部位</th> <th colspan="3">保存処理性能区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・K2</td> <td>・K3</td> <td>・K4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・K2</td> <td>・K3</td> <td>・K4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・K2</td> <td>・K3</td> <td>・K4</td> </tr> </tbody> </table> <p>・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用部位</th> <th>処理の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※標準仕様書 12. 3. 1 (3) (ii) ①～④による ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※標準仕様書 12. 3. 1 (3) (ii) ①～④による ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※標準仕様書 12. 3. 1 (3) (ii) ①～④による ・</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ボード原料接着剤への薬剤混入による防腐・防蟻処理 適用部位：()</p>	適用部位	保存処理性能区分				・K2	・K3	・K4		・K2	・K3	・K4		・K2	・K3	・K4	適用部位	処理の方法		※標準仕様書 12. 3. 1 (3) (ii) ①～④による ・		※標準仕様書 12. 3. 1 (3) (ii) ①～④による ・		※標準仕様書 12. 3. 1 (3) (ii) ①～④による ・
適用部位	保存処理性能区分																									
	・K2	・K3	・K4																							
	・K2	・K3	・K4																							
	・K2	・K3	・K4																							
適用部位	処理の方法																									
	※標準仕様書 12. 3. 1 (3) (ii) ①～④による ・																									
	※標準仕様書 12. 3. 1 (3) (ii) ①～④による ・																									
	※標準仕様書 12. 3. 1 (3) (ii) ①～④による ・																									

章	項目	特記事項							
13 屋根及び とい工事	1 長尺金属板葺	(13.2.2, 3)							
		施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺形式	備考		
			※JIS G 3322の屋根用コイル			・心木なし瓦棒葺 ・立平葺・蟻掛葺 ・横葺			
		下葺材料 ・アスファルトルーフィング 940 ・改質アスファルトルーフィング下葺材 (・一般タイプ ・複層材タイプ ・粘着層付タイプ) 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・適用しない 雪止め ・設置する(図示)							
	2 折板葺	(13.2.2) (13.3.2, 3) (表13.2.1)							
		施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能
			・重ね形 ・はせ締め形 ・かん合形	山高	山ピッチ	()種	※鋼板製 ・アルミ 合金板製	・有り ・無し	・30分 ・無し
		材料 板及びコイルの種類 () 塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号 () 断熱材 ・有り(種別: 厚さ(mm): 防火性能: 時間) ・無し 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・適用しない							
	3 粘土瓦葺	(13.4.2, 3)							
		施工箇所	種類			大きさ	産地	役物瓦の種類	雪止め瓦
			製法による区分	形状による区分	寸法による区分				・適用する ・適用しない
									・適用する ・適用しない
		瓦棧木	材質	※杉又はひのき					
			寸法	※幅21×高さ15(mm)					
		棟補強用心材	材質	※杉又はひのき					
			寸法	※幅40×高さ30(mm)					
		工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・適用しない 瓦棧木の留付け工法 ※図示 棟の工法 ※標準仕様書13.4.3(d)(1)~(4)による							

章	項 目	特 記 事 項								
13 屋根及び とい工事	④ とい	<p style="text-align: right;">(13.5.2, 3) (表 13.5.5)</p> <p>といの材種 ※配管用鋼管 ○硬質ポリ塩化ビニル管 (VPφ100) ・ ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ 鋼管製のといの防露巻き ・適用する (工法: ※標準仕様書表 13.5.5 による ・) ・適用しない</p> <table border="1" data-bbox="529 383 1473 524"> <thead> <tr> <th data-bbox="529 383 1062 421">種別</th> <th data-bbox="1062 383 1473 421">施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="529 421 1062 459">○ろく屋根用 (○縦型 ・横型)</td> <td data-bbox="1062 421 1473 459">天井内、外部</td> </tr> <tr> <td data-bbox="529 459 1062 497">・バルコニー用</td> <td data-bbox="1062 459 1473 497"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="529 497 1062 524">・バルコニー中継用</td> <td data-bbox="1062 497 1473 524"></td> </tr> </tbody> </table>	種別	施工箇所	○ろく屋根用 (○縦型 ・横型)	天井内、外部	・バルコニー用		・バルコニー中継用	
種別	施工箇所									
○ろく屋根用 (○縦型 ・横型)	天井内、外部									
・バルコニー用										
・バルコニー中継用										

章	項目	特記事項																										
14 金属工事	1 ステンレスの表面仕上げ	(14.2.1) <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所(手すり, タラップ, 建具以外)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※HL程度</td> <td>ワゴン当り</td> </tr> <tr> <td>・鏡面仕上程度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・No.2B程度</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	施工箇所(手すり, タラップ, 建具以外)	※HL程度	ワゴン当り	・鏡面仕上程度		・No.2B程度																			
	種類	施工箇所(手すり, タラップ, 建具以外)																										
	※HL程度	ワゴン当り																										
	・鏡面仕上程度																											
	・No.2B程度																											
2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	(14.2.2)(表14.2.1) <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>皮膜又は複合皮膜の種類</th> <th>施工箇所(成形板, 笠木, 建具以外)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A-1種</td> <td>※AA15・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・A-2種(・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー)</td> <td>※AA15・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B-1種</td> <td>※B・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B-2種(・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー)</td> <td>※B・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C-1種</td> <td>※AA6・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C-2種(・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー)</td> <td>※AA6・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 陽極酸化皮膜の着色方法 ※二次電解着色 ・三次電解着色	種類	皮膜又は複合皮膜の種類	施工箇所(成形板, 笠木, 建具以外)	・A-1種	※AA15・		・A-2種(・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー)	※AA15・		・B-1種	※B・		・B-2種(・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー)	※B・		・C-1種	※AA6・		・C-2種(・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー)	※AA6・		・D種			・		
種類	皮膜又は複合皮膜の種類	施工箇所(成形板, 笠木, 建具以外)																										
・A-1種	※AA15・																											
・A-2種(・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー)	※AA15・																											
・B-1種	※B・																											
・B-2種(・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー)	※B・																											
・C-1種	※AA6・																											
・C-2種(・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー)	※AA6・																											
・D種																												
・																												
3 鉄鋼の亜鉛めっき	(14.2.3) <table border="1"> <thead> <tr> <th>表面処理方法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所(手すり, タラップ以外)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">溶融亜鉛めっき</td> <td>・A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電気亜鉛めっき</td> <td>・D種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・E種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・F種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	表面処理方法	種別	施工箇所(手すり, タラップ以外)	溶融亜鉛めっき	・A種		・B種		◎C種		電気亜鉛めっき	・D種		・E種		・F種											
表面処理方法	種別	施工箇所(手すり, タラップ以外)																										
溶融亜鉛めっき	・A種																											
	・B種																											
	◎C種																											
電気亜鉛めっき	・D種																											
	・E種																											
	・F種																											
4 軽量鉄骨天井下地	(14.4.2~4)(表14.4.1) 野縁等の種類 屋外(※25形 ・19形) 屋内(※19形 ・25形) ・屋外の軒天井, ピロティ天井等 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・適用しない 野縁受, 吊りボルト及びインサートの間隔 ・図示 ・ 周辺部の端からの間隔 ・図示 ・ 野縁の間隔 ・図示 ・ ・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 ・図示 ・ ・天井のふところ1.5m以上3.0m以下の場合 補強方法 ※標準仕様書14.4.4(h)(1)~(2)による ・図示 ・天井のふところ3.0mを超える場合 補強方法 ※図示 ・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ・図示 ・ 補強方法 ※図示 ・																											
5 軽量鉄骨壁下地	(14.5.3)(表14.5.1) スタッド, ランナーの種類 ※標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・図示 スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※図示 ・																											

章	項目	特記事項							
14 金属工事	6 金属成形板張り	(14. 6. 2, 3) (表 14. 2. 1)							
		種別	製法	形状	板幅 (mm)	寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面処理	
								種別	皮膜等の種類
		・カミゴム	・押し ・ロール	パンドル形				・B-1種	※B
			※プレス	パル形				・B-2種 (・アンバー・ブロンズ ・ブラック系・ステンカラー)	※B
								・C-1種	※AA6
								・C-2種 (・アンバー・ブロンズ ・ブラック系・ステンカラー)	※AA6
								・D種	
		◎ガル バニウ ム板	プレス		4000	0.4			
		取付け用下地 ※標準仕様書 14. 4 による ◎図示 伸縮調整継手 ・設ける (施工 ・図示 ・) ◎設けない							
	7 アルミニウム製笠木	(14. 7. 2, 3) (表 14. 2. 1) (表 14. 7. 1)							
		種類 ・250形 ◎300形 ・350形 ・100形 表面処理 種別 () 種 皮膜等の種類 (※標準仕様書表 14. 2. 1 による ・) 着色 (・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー) 笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍 の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・適用しない							
	⑧ 手すり及びタラップ	(14. 8. 2, 3)							
		手すり	・ステンレス製 SUS304 (表面処理 ※HL 程度 ・No. 2B 程度 ・) ◎鋼製 (表面処理 ・溶融亜鉛めっきC種 ・)						
		タラップ	・ステンレス製 SUS304 (表面処理 ※HL 程度 ・No. 2B 程度 ・) ・鋼製 (表面処理 ・溶融亜鉛めっきC種 ・)						

章	項目	特記事項																																																																					
15 左官工事	① モルタル塗り	(15. 2. 2, 5) 既製目地材 ・設ける 施工箇所 () 形状 (※図示) ・設けない 床目地 ・設ける (工法※押し目地) ◎設けない 外壁タイル張り下地の均しモルタルの接着力試験 ・適用する ・適用しない 防水剤(防水モルタル塗りの混入剤) 防水剤の種類 建築用のモルタルに用いるセメント防水剤(JIS A 1404による試験)																																																																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>混合割合</th> <th>凝結時間</th> <th>曲げ及び 圧縮強度比</th> <th>吸水比</th> <th>透水比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セメント重量の 5%以内</td> <td>JIS R 5201 の試験 8 において 始発 1 時間以上 終結 10 時間以内</td> <td>70%以上</td> <td>95%以下</td> <td>80%以下 294. 0kPa/h</td> </tr> </tbody> </table>	混合割合	凝結時間	曲げ及び 圧縮強度比	吸水比	透水比	セメント重量の 5%以内	JIS R 5201 の試験 8 において 始発 1 時間以上 終結 10 時間以内	70%以上	95%以下	80%以下 294. 0kPa/h																																																											
	混合割合	凝結時間	曲げ及び 圧縮強度比	吸水比	透水比																																																																		
	セメント重量の 5%以内	JIS R 5201 の試験 8 において 始発 1 時間以上 終結 10 時間以内	70%以上	95%以下	80%以下 294. 0kPa/h																																																																		
2 床コンクリートの 直均し仕上げ	下表以外は標準仕様書表 15. 3. 2 による(表 6. 2. 5) (15. 3. 2)																																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>平たんさ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フリーアースフロア(パネル構造)範囲</td> <td>1mにつき10以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>フリーアースフロア(溝構造)範囲</td> <td>3mにつき7以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>.</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	平たんさ(mm)	備考	フリーアースフロア(パネル構造)範囲	1mにつき10以下		フリーアースフロア(溝構造)範囲	3mにつき7以下		.																																																												
施工箇所	平たんさ(mm)	備考																																																																					
フリーアースフロア(パネル構造)範囲	1mにつき10以下																																																																						
フリーアースフロア(溝構造)範囲	3mにつき7以下																																																																						
.																																																																							
3 セルフレベリング材 塗り	(15. 4. 2) (表 15. 4. 1) ・石こう系 ・セメント系																																																																						
4 仕上塗材仕上げ	(15. 5. 2) 建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 仕上塗材の種類																																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>防火 材料</th> <th>仕上げの形状等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">・薄付け 仕上塗材</td> <td>・外装薄塗材 Si</td> <td>・</td> <td rowspan="10">・砂壁状 ・ゆず肌状 (・吹付け・ロー塗り) ・さざ波状 ・平たん状 ・凹凸状 (・吹付け・こて塗り) ・着色骨材砂壁状 (・吹付け・こて塗り) ・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく 吸放湿性 ・適用する・適用しない 耐湿性 ・適用する・適用しない</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材 Si</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材 E</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材 E</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・防水形外装薄塗材 E</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材 S</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材 C</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材 L</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材 Si</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材 E</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">・厚付け 仕上塗材</td> <td>・外装薄塗材 C</td> <td>・</td> <td rowspan="8">・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし 吸放湿性 ・適用する・適用しない 上塗材 ・適用する・適用しない</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材 Si</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材 E</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材 C</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材 L</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材 G</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材 Si</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材 E</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">・複層仕上 塗材</td> <td>・複層塗材 CE</td> <td>・</td> <td rowspan="8">・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸模様 上塗材 耐候性 ※耐候形 3 種 ・ 溶媒 ※水系 ・溶剤系 樹脂 ※アクリル系 ・ 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック 増塗材 ・適用する ・適用しない</td> </tr> <tr> <td>・可とう形複層塗材 CE</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 Si</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 E</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 RE</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 CE</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 E</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 RE</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 RS</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・軽量骨材 仕上塗材</td> <td>・吹付用軽量塗材</td> <td>・</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・こて塗用軽量塗材</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	種類	呼び名	防火 材料	仕上げの形状等	・薄付け 仕上塗材	・外装薄塗材 Si	・	・砂壁状 ・ゆず肌状 (・吹付け・ロー塗り) ・さざ波状 ・平たん状 ・凹凸状 (・吹付け・こて塗り) ・着色骨材砂壁状 (・吹付け・こて塗り) ・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく 吸放湿性 ・適用する・適用しない 耐湿性 ・適用する・適用しない	・可とう形外装薄塗材 Si	・	・外装薄塗材 E	・	・可とう形外装薄塗材 E	・	・防水形外装薄塗材 E	・	・外装薄塗材 S	・	・内装薄塗材 C	・	・内装薄塗材 L	・	・内装薄塗材 Si	・	・内装薄塗材 E	・	・厚付け 仕上塗材	・外装薄塗材 C	・	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし 吸放湿性 ・適用する・適用しない 上塗材 ・適用する・適用しない	・外装薄塗材 Si	・	・外装薄塗材 E	・	・内装薄塗材 C	・	・内装薄塗材 L	・	・内装薄塗材 G	・	・内装薄塗材 Si	・	・内装薄塗材 E	・	・複層仕上 塗材	・複層塗材 CE	・	・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸模様 上塗材 耐候性 ※耐候形 3 種 ・ 溶媒 ※水系 ・溶剤系 樹脂 ※アクリル系 ・ 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック 増塗材 ・適用する ・適用しない	・可とう形複層塗材 CE	・	・複層塗材 Si	・	・複層塗材 E	・	・複層塗材 RE	・	・防水形複層塗材 CE	・	・防水形複層塗材 E	・	・防水形複層塗材 RE	・	・防水形複層塗材 RS	・	・軽量骨材 仕上塗材	・吹付用軽量塗材	・		・こて塗用軽量塗材	・
種類	呼び名	防火 材料	仕上げの形状等																																																																				
・薄付け 仕上塗材	・外装薄塗材 Si	・	・砂壁状 ・ゆず肌状 (・吹付け・ロー塗り) ・さざ波状 ・平たん状 ・凹凸状 (・吹付け・こて塗り) ・着色骨材砂壁状 (・吹付け・こて塗り) ・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく 吸放湿性 ・適用する・適用しない 耐湿性 ・適用する・適用しない																																																																				
	・可とう形外装薄塗材 Si	・																																																																					
	・外装薄塗材 E	・																																																																					
	・可とう形外装薄塗材 E	・																																																																					
	・防水形外装薄塗材 E	・																																																																					
	・外装薄塗材 S	・																																																																					
	・内装薄塗材 C	・																																																																					
	・内装薄塗材 L	・																																																																					
	・内装薄塗材 Si	・																																																																					
	・内装薄塗材 E	・																																																																					
・厚付け 仕上塗材	・外装薄塗材 C	・	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし 吸放湿性 ・適用する・適用しない 上塗材 ・適用する・適用しない																																																																				
	・外装薄塗材 Si	・																																																																					
	・外装薄塗材 E	・																																																																					
	・内装薄塗材 C	・																																																																					
	・内装薄塗材 L	・																																																																					
	・内装薄塗材 G	・																																																																					
	・内装薄塗材 Si	・																																																																					
	・内装薄塗材 E	・																																																																					
・複層仕上 塗材	・複層塗材 CE	・	・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸模様 上塗材 耐候性 ※耐候形 3 種 ・ 溶媒 ※水系 ・溶剤系 樹脂 ※アクリル系 ・ 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック 増塗材 ・適用する ・適用しない																																																																				
	・可とう形複層塗材 CE	・																																																																					
	・複層塗材 Si	・																																																																					
	・複層塗材 E	・																																																																					
	・複層塗材 RE	・																																																																					
	・防水形複層塗材 CE	・																																																																					
	・防水形複層塗材 E	・																																																																					
	・防水形複層塗材 RE	・																																																																					
・防水形複層塗材 RS	・																																																																						
・軽量骨材 仕上塗材	・吹付用軽量塗材	・																																																																					
	・こて塗用軽量塗材	・																																																																					

章	項目	特記事項
15 左官工事	5 ALCパネルの場合の下地処理	内壁目地部の形状 ※V形目地付き (15.5.2)
	6 マスチック塗料塗り	種別 ・A種 ・B種 (仕上材塗り: EP-G ※B種 ・A種) (15.6.2)
	7 ロックウール吹付け	ロックウールのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ 吹付け厚さ(mm) ・図示 ・25 (15.8.2)

章	項目	特記事項												
16 建具工事	1 防火戸	※建具表による												
	2 見本の製作等	(16.1.4) 建具見本の製作 ・ 行う (建具符号:) ・ 行わない 建具見本の制度 ・ 工事に使用するものとして, あらかじめ製作する ・ 納まり等が分かる程度のもの 特殊な建具の仮組 ・ 行う (建具符号:) ・ 行わない												
	3 防犯建物部品	(16.1.6) ・ 適用する (※建具表による) ・ 適用しない												
	4 アルミニウム製建具	(16.2.2, 4, 5) (表 14.2.1) 性能等級 外部に面する建具 ・ A種 (建具符号: ※建具表による) ・ B種 (建具符号: ※建具表による) ・ C種 (建具符号: ※建具表による) 防音ドアセット, 防音サッシ ・ 適用する 遮音性の等級 () (建具符号: ・ 建具表による) ・ 適用しない 断熱ドアセット, 断熱サッシ ・ 適用する 断熱性の等級 () (建具符号: ・ 建具表による) ・ 適用しない 耐震ドアセット ・ 適用する 面内変形追随性の等級 () (建具符号: ・ 建具表による) ・ 適用しない 枠の見込み寸法 ・ 建具表による 表面処理 外部に面する建具 ・ B-1種 ・ B-2種 皮膜等の種類 (※標準仕様書表 14.2.1による) 着色 (・ アンバー ・ ブロンズ ・ ブラック系 ・ ステンカラー) 屋内の建具 ・ C-1種 ・ C-2種 皮膜等の種類 (※標準仕様書表 14.2.1による) 着色 (・ アンバー ・ ブロンズ ・ ブラック系 ・ ステンカラー) 結露水の処理方法 ※図示 水切り板, ぜん板 ※図示												
	5 網戸等	(16.2.3) <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材種</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 防虫網</td> <td>※合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステン製 (SUS316) 製</td> <td>※0.25mm 以上 ・</td> <td>※16~18 メッシュ ・</td> </tr> <tr> <td>・ 防鳥網</td> <td>ステン製 (SUS304) 線材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法 15mm</td> </tr> </tbody> </table>	種類	材種	線径	網目	・ 防虫網	※合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステン製 (SUS316) 製	※0.25mm 以上 ・	※16~18 メッシュ ・	・ 防鳥網	ステン製 (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法 15mm
	種類	材種	線径	網目										
・ 防虫網	※合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステン製 (SUS316) 製	※0.25mm 以上 ・	※16~18 メッシュ ・											
・ 防鳥網	ステン製 (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法 15mm											
6 樹脂製建具	(16.3.2~5) 性能等級 外部に面する建具 ・ A種 (建具符号: ※建具表による) ・ B種 (建具符号: ※建具表による) ・ C種 (建具符号: ※建具表による) 防音ドアセット, 防音サッシ ・ 適用する 遮音性の等級 (・ T-1 ・ T-2) (建具符号: ・ 建具表による) ・ 適用しない 断熱ドアセット, 断熱サッシ ・ 適用する 断熱性の等級 (・ H-4 ・ H-5) (建具符号: ・ 建具表による) ・ 適用しない													

章	項目	特記事項							
16 建具工事	6 樹脂製建具	耐震ドアセット <ul style="list-style-type: none"> ・適用する 面内変形追随性の等級 () (建具符号：・建具表による) ・適用しない 枠の見込み寸法 ・建具表による 表面色 ※標準色 ・特注色 水切り板, ぜん板 ※図示 ガラス ※複層ガラス							
	⑦ 鋼製建具	(16. 2. 2) (16. 4. 2~4) (表 16. 4. 2) 性能等級 簡易気密型 ◎適用する (建具符号：※建具表による) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 <ul style="list-style-type: none"> ・S-4 (建具符号：※建具表による) ・S-5 (建具符号：※建具表による) ・S-6 (建具符号：※建具表による) 防音ドアセット, 防音サッシ <ul style="list-style-type: none"> ・適用する 遮音性の等級 () (建具符号：・建具表による) ・適用しない 断熱ドアセット, 断熱サッシ <ul style="list-style-type: none"> ・適用する 断熱性の等級 () (建具符号：・建具表による) ・適用しない 耐震ドアセット <ul style="list-style-type: none"> ・適用する 面内変形追随性の等級 () (建具符号：・建具表による) ・適用しない 鋼板 <table border="1" data-bbox="529 1041 1481 1220" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">材料</th> <th style="width: 20%;">めっき付着量</th> <th style="width: 30%;">厚さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板)</td> <td>※Z12 又は F12</td> <td rowspan="2">・標準仕様書表 16. 4. 2 による</td> </tr> <tr> <td>・JIS G 3317 (溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板)</td> <td>※Y08</td> </tr> </tbody> </table>	材料	めっき付着量	厚さ	・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板)	※Z12 又は F12	・標準仕様書表 16. 4. 2 による	・JIS G 3317 (溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板)
材料	めっき付着量	厚さ							
・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板)	※Z12 又は F12	・標準仕様書表 16. 4. 2 による							
・JIS G 3317 (溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板)	※Y08								
8	鋼製軽量建具	(16. 2. 2) (16. 5. 2~4) 性能等級 簡易気密型 <ul style="list-style-type: none"> ・適用する (建具符号：※建具表による) ・適用しない 防音ドアセット, 防音サッシ <ul style="list-style-type: none"> ・適用する 遮音性の等級 () (建具符号：・建具表による) ・適用しない 断熱ドアセット, 断熱サッシ <ul style="list-style-type: none"> ・適用する 断熱性の等級 () (建具符号：・建具表による) ・適用しない 耐震ドアセット <ul style="list-style-type: none"> ・適用する 面内変形追随性の等級 () (建具符号：・建具表による) ・適用しない 鋼板 ※亜鉛めっき鋼板 ・ビニル皮膜鋼板 ・カラー鋼板 鋼板の厚さ ・標準仕様書表 16. 5. 1 による							

章	項目	特記事項												
16 建具工事	9 ステンレス建具	<p style="text-align: right;">(16. 2. 2) (16. 4. 2) (16. 6. 2~4)</p> <p>性能等級</p> <p>簡易気密型 ・適用する (建具符号: ※建具表による) ・適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4 (建具符号: ※建具表による) ・S-5 (建具符号: ※建具表による) ・S-6 (建具符号: ※建具表による)</p> <p>防音ドアセット, 防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 () (建具符号: ・建具表による) ・適用しない</p> <p>断熱ドアセット, 断熱サッシ ・適用する 断熱性の等級 () (建具符号: ・建具表による) ・適用しない</p> <p>耐震ドアセット ・適用する 面内変形追従性の等級 () (建具符号: ・建具表による) ・適用しない</p> <p>鋼板 (屋外) ※SUS430JIL, SUS443J1, SUS304 鋼板 (屋内) ※SUS430, SUS430JIL, SUS443J1, SUS304 表面仕上げ ※HL 仕上げ ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ</p>												
	10 木製建具	<p style="text-align: right;">(16. 7. 2~4)</p> <p>建具材の加工, 組立時の含水率 ※B 種 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種 ・フラッシュ戸 表面材の合板の種類</p> <table border="1" data-bbox="529 1108 1471 1597"> <thead> <tr> <th>合板の種類</th> <th>規格等</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・普通合板</td> <td>表面の樹種 生地, 透明塗料塗 (※ラフ程度) 不透明塗料塗り (※しな程度) 板面の品質 () 接着の程度 (・1 類 ・2 類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・天然木 化粧合板</td> <td>樹種名 () 接着の程度 (・1 類 ・2 類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・特殊加工 化粧合板</td> <td>化粧加工の方法 (・オーバーレイ・プリント・塗装) 表面性能 ()タイプ 接着の程度 (・1 類 ・2 類)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>表面板の厚さ ※表 16. 7. 6 による ・かまち戸 かまち樹種 () 鏡板樹種 () 見込み寸法 ※36mm ・建具表による ・ふすま 張りの種別 (・I 型 ・II 型) 上張り ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度 押入等の裏側は雲花紙程度 縁仕上 ・塗り縁 ・生地縁 (素地) ・生地縁 (ウレタンクリアー塗装) 見込み寸法 ※19. 5mm ・建具表による ・戸ぶすま 見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による 枠, くつずりの材料 ・建具表による</p>	合板の種類	規格等	備考	・普通合板	表面の樹種 生地, 透明塗料塗 (※ラフ程度) 不透明塗料塗り (※しな程度) 板面の品質 () 接着の程度 (・1 類 ・2 類)		・天然木 化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (・1 類 ・2 類)		・特殊加工 化粧合板	化粧加工の方法 (・オーバーレイ・プリント・塗装) 表面性能 ()タイプ 接着の程度 (・1 類 ・2 類)	
合板の種類	規格等	備考												
・普通合板	表面の樹種 生地, 透明塗料塗 (※ラフ程度) 不透明塗料塗り (※しな程度) 板面の品質 () 接着の程度 (・1 類 ・2 類)													
・天然木 化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (・1 類 ・2 類)													
・特殊加工 化粧合板	化粧加工の方法 (・オーバーレイ・プリント・塗装) 表面性能 ()タイプ 接着の程度 (・1 類 ・2 類)													

章	項目	特記事項																				
16 建具工事	⑪ 建具用金物	(16. 8. 2, 3) 金物の種類・見え掛かり部の材質等 ※標準仕様書表 16. 8. 1 及び適用は建具表による 樹脂製建具に使用する丁番 ※標準仕様書表 16. 8. 3 による 握り玉, レバーハンドル, 押板類, クレセントの取付位置 ◎建具表による ・錠前類 【シリンダ箱状及びシリンダ本締り錠】 (品質) デッドボルトの出寸法は 17mm 以上とする。鍵付きのものはマスターキー, グランドマスターキー, コンストラクションキーなどのキーシステムが構築できるものとする。 ・錠前類 【レバーハンドル】 ◎クローザ類																				
	⑫ 鍵	(16. 8. 4) マスターキー ※製作する ・製作しない ◎既存マスターキーに組み込む その他の鍵 ※各室 3 本 1 組 ・ 鍵箱 ※有り ◎無し																				
	13 自動ドア開閉機構	(16. 9. 2, 3) <table border="1"> <thead> <tr> <th>自動ドア</th> <th>性能</th> <th>防錆</th> <th>センサーの方式</th> <th>凍結防止</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ SSLD-1 ・ SSLD-2 ・ DSLD-1 ・ DSLD-2</td> <td>※標準仕様書表 16. 9. 1 による ・</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・マットスイッチ ・光線(反射)スイッチ ・熱線スイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ ・電波スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能トイレスイッチ</td> <td>・行う (適用箇所は建具表による) ・行わない</td> </tr> <tr> <td>・ SWD-1 ・ SWD-2</td> <td>※標準仕様書表 16. 9. 2 による ・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 図示</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	自動ドア	性能	防錆	センサーの方式	凍結防止	・ SSLD-1 ・ SSLD-2 ・ DSLD-1 ・ DSLD-2	※標準仕様書表 16. 9. 1 による ・	・適用する ・適用しない	・マットスイッチ ・光線(反射)スイッチ ・熱線スイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ ・電波スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能トイレスイッチ	・行う (適用箇所は建具表による) ・行わない	・ SWD-1 ・ SWD-2	※標準仕様書表 16. 9. 2 による ・				・ 図示	・			
	自動ドア	性能	防錆	センサーの方式	凍結防止																	
	・ SSLD-1 ・ SSLD-2 ・ DSLD-1 ・ DSLD-2	※標準仕様書表 16. 9. 1 による ・	・適用する ・適用しない	・マットスイッチ ・光線(反射)スイッチ ・熱線スイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ ・電波スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能トイレスイッチ	・行う (適用箇所は建具表による) ・行わない																	
・ SWD-1 ・ SWD-2	※標準仕様書表 16. 9. 2 による ・																					
・ 図示	・																					
14 自閉式上吊り引戸装置	(16. 10. 3) 性能 ※標準仕様書表 16. 10. 1 による ・																					
15 重量シャッター	(16. 11. 2, 3) <table border="1"> <thead> <tr> <th>シャッターの種類</th> <th>耐風圧強度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 一般重量シャッター</td> <td>耐風圧強度 () N/m²</td> </tr> <tr> <td>・ 外壁用防火シャッター</td> <td>耐風圧強度 () N/m²</td> </tr> <tr> <td>・ 屋内用防火シャッター</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 屋内用防煙シャッター</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 開閉機能による種類 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式 一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・ JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板) ・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっきの付着量 ※Z12 又は F12 ・	シャッターの種類	耐風圧強度	・ 一般重量シャッター	耐風圧強度 () N/m ²	・ 外壁用防火シャッター	耐風圧強度 () N/m ²	・ 屋内用防火シャッター		・ 屋内用防煙シャッター												
シャッターの種類	耐風圧強度																					
・ 一般重量シャッター	耐風圧強度 () N/m ²																					
・ 外壁用防火シャッター	耐風圧強度 () N/m ²																					
・ 屋内用防火シャッター																						
・ 屋内用防煙シャッター																						
⑬ 軽量シャッター	(16. 12. 2~4) 開閉形式 ※手動式 ・上部電動式(手動併用) スラットの材質 ※JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっき付着量 (※Z06 又は F06 ・) ・ JIS G 3318 (塗装溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板) めっき付着量 (※AZ90 ・) スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形																					

章	項目	特記事項																																																																					
16 建具工事	17 オーバーヘッドドア	(16.13.2~3) <table border="1"> <thead> <tr> <th>セクション材料による区分</th> <th>耐風圧 区分 (Pa)</th> <th>開閉方式による区分</th> <th>収納形式による区分</th> <th>ガイドレールの材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ</td> <td>・125 ・100 ・75 ・50</td> <td>※バランス式 ・チェーン式 ・電動式</td> <td>・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バネ付形</td> <td>※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンス鋼板</td> </tr> </tbody> </table>	セクション材料による区分	耐風圧 区分 (Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質	※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125 ・100 ・75 ・50	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バネ付形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンス鋼板																																																											
	セクション材料による区分	耐風圧 区分 (Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質																																																																		
	※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125 ・100 ・75 ・50	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バネ付形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンス鋼板																																																																		
	⑱ ガラス	(9.7) (16.14.2~4) (表16.14.1) <ul style="list-style-type: none"> ・合わせガラス <table border="1"> <thead> <tr> <th>品種</th> <th>構成種類</th> <th>性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・フロート合わせガラス</td> <td>・フロート板合わせガラス ・熱線吸収, フロート板合わせガラス</td> <td>・I類</td> </tr> <tr> <td>・網入磨き合わせガラス</td> <td>・網入磨き, フロート板合わせガラス ・網入磨き, 熱線吸収板合わせガラス</td> <td>・II-1類・II-2類 ・III類</td> </tr> </tbody> </table> ・強化ガラス <table border="1"> <thead> <tr> <th>品種</th> <th>構成種類</th> <th>性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・フロートガラス</td> <td>・フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス</td> <td>・I類 ・III類</td> </tr> <tr> <td>・型板ガラス</td> <td>・型板強化ガラス</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ・熱線吸収板ガラス <table border="1"> <thead> <tr> <th>品種</th> <th>性能</th> <th>色調</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・熱線吸収フロート板ガラス</td> <td rowspan="2">・1種 ・2種</td> <td rowspan="2">・ブルー ・グレー ・ブロンズ</td> </tr> <tr> <td>・熱線吸収網入磨き板ガラス</td> </tr> </tbody> </table> ・複層ガラス <table border="1"> <thead> <tr> <th>品種</th> <th>断熱性</th> <th>日射遮へい性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">・断熱複層ガラス</td> <td>・1種</td> <td>U1</td> </tr> <tr> <td>・2種</td> <td>U2</td> </tr> <tr> <td>・3種</td> <td>U-3-1 ・U-3-2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・日射熱遮へい複層ガラス</td> <td>・4種</td> <td>E4</td> </tr> <tr> <td>・5種</td> <td>E5</td> </tr> </tbody> </table> ・熱線反射ガラス <table border="1"> <thead> <tr> <th>品種</th> <th>日射遮へい性</th> <th>耐久性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・熱線反射ガラス 色調(・ブルー ・グレー)</td> <td>・1種</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td>・2種</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>・高性能熱線反射ガラス 色調(・ブロンズ ・シルバー)</td> <td>・3種</td> <td>B種</td> </tr> </tbody> </table> <p>反射皮膜面 ・内面 ・外面 映像調整 ・行わない ・行う ・倍強度ガラス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料板ガラスによる種類の名称</th> <th>色調</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・フロート倍強度ガラス</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・熱線吸収倍強度ガラス</td> <td>・ブルー ・グレー ・ブロンズ</td> </tr> </tbody> </table> <p>ガラスの留め材及び溝の大きさ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建具の種類</th> <th>ガラスの留め材</th> <th>ガラスの溝の大きさ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>・シーリング材 ・ガasket ・グレイジングチャンネル形 ・</td> <td>※標準仕様書表16.14.1による ・図示 ・</td> </tr> <tr> <td>鋼製</td> <td>○シーリング材 ・</td> <td>※標準仕様書表16.14.1による ・図示 ・</td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>・シーリング材 ・</td> <td>※標準仕様書表16.14.1による ・図示 ・</td> </tr> </tbody> </table>	品種	構成種類	性能	・フロート合わせガラス	・フロート板合わせガラス ・熱線吸収, フロート板合わせガラス	・I類	・網入磨き合わせガラス	・網入磨き, フロート板合わせガラス ・網入磨き, 熱線吸収板合わせガラス	・II-1類・II-2類 ・III類	品種	構成種類	性能	・フロートガラス	・フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス	・I類 ・III類	・型板ガラス	・型板強化ガラス		品種	性能	色調	・熱線吸収フロート板ガラス	・1種 ・2種	・ブルー ・グレー ・ブロンズ	・熱線吸収網入磨き板ガラス	品種	断熱性	日射遮へい性	・断熱複層ガラス	・1種	U1	・2種	U2	・3種	U-3-1 ・U-3-2	・日射熱遮へい複層ガラス	・4種	E4	・5種	E5	品種	日射遮へい性	耐久性	・熱線反射ガラス 色調(・ブルー ・グレー)	・1種	A種	・2種	・A種 ・B種	・高性能熱線反射ガラス 色調(・ブロンズ ・シルバー)	・3種	B種	材料板ガラスによる種類の名称	色調	・フロート倍強度ガラス	-	・熱線吸収倍強度ガラス	・ブルー ・グレー ・ブロンズ	建具の種類	ガラスの留め材	ガラスの溝の大きさ(mm)	アルミニウム製	・シーリング材 ・ガasket ・グレイジングチャンネル形 ・	※標準仕様書表16.14.1による ・図示 ・	鋼製	○シーリング材 ・	※標準仕様書表16.14.1による ・図示 ・	ステンレス製	・シーリング材 ・	※標準仕様書表16.14.1による ・図示 ・
	品種	構成種類	性能																																																																				
	・フロート合わせガラス	・フロート板合わせガラス ・熱線吸収, フロート板合わせガラス	・I類																																																																				
	・網入磨き合わせガラス	・網入磨き, フロート板合わせガラス ・網入磨き, 熱線吸収板合わせガラス	・II-1類・II-2類 ・III類																																																																				
	品種	構成種類	性能																																																																				
	・フロートガラス	・フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス	・I類 ・III類																																																																				
	・型板ガラス	・型板強化ガラス																																																																					
品種	性能	色調																																																																					
・熱線吸収フロート板ガラス	・1種 ・2種	・ブルー ・グレー ・ブロンズ																																																																					
・熱線吸収網入磨き板ガラス																																																																							
品種	断熱性	日射遮へい性																																																																					
・断熱複層ガラス	・1種	U1																																																																					
	・2種	U2																																																																					
	・3種	U-3-1 ・U-3-2																																																																					
・日射熱遮へい複層ガラス	・4種	E4																																																																					
	・5種	E5																																																																					
品種	日射遮へい性	耐久性																																																																					
・熱線反射ガラス 色調(・ブルー ・グレー)	・1種	A種																																																																					
	・2種	・A種 ・B種																																																																					
・高性能熱線反射ガラス 色調(・ブロンズ ・シルバー)	・3種	B種																																																																					
材料板ガラスによる種類の名称	色調																																																																						
・フロート倍強度ガラス	-																																																																						
・熱線吸収倍強度ガラス	・ブルー ・グレー ・ブロンズ																																																																						
建具の種類	ガラスの留め材	ガラスの溝の大きさ(mm)																																																																					
アルミニウム製	・シーリング材 ・ガasket ・グレイジングチャンネル形 ・	※標準仕様書表16.14.1による ・図示 ・																																																																					
鋼製	○シーリング材 ・	※標準仕様書表16.14.1による ・図示 ・																																																																					
ステンレス製	・シーリング材 ・	※標準仕様書表16.14.1による ・図示 ・																																																																					

章	項目	特記事項								
16 建具工事	19 ガラスブロック	(16.14.5)								
		表面形状	呼び寸法	厚さ	色調		目地幅 (mm)		伸縮調整目地 (mm)	防火性能
		・正方形	・125×125	80	刈ア	乳白	※8~15 ・15~25 ・	外側	※6m 以下ごとに 10~25 ・図示 ・	※無し ・有り
			・160×160		・95 ・125	・		・		
			・200×200	・95 ・125	・	・	内側	※6 以上 ・		
			・320×320	95	・	・	・			
		・長方形	・250×125	80	・	・				
			・320×160		95	・				
		曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の 10 倍以上とする。 壁用金属枠及び補強材 ・設ける (形状 ※図示 ・) ・設けない 力骨 材質 ※ステンレス鋼 (SUS304) ・ 寸法 ※径 5.5mm ・ 形状 ※はしご形状複筋及び単筋 ・ 化粧目地モルタルの色 () 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸法 ・図示 ・ 形状 ・図示 ・ 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法) ・適用しない 目地部の力骨の補強方法 ※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示 ・								

章	項目	特記事項																																																																						
17 カーテンウォール工事	1 取付方法, 性能等	<p style="text-align: right;">(17.1.3) (17.2.2) (17.3.2)</p> <p>取付方法 ・ 層間方式 ・ 柱・梁方式 ・ 方立方式 ・ スパンドレル方式 ・ 性能</p> <table border="1" data-bbox="529 280 1473 488"> <thead> <tr> <th colspan="2">耐震性能</th> <th rowspan="2">水密性</th> <th rowspan="2">気密性</th> <th rowspan="2">遮音性</th> <th rowspan="2">断熱性</th> <th rowspan="2">耐火性能</th> <th rowspan="2">耐温度差性能 (°C)</th> </tr> <tr> <th>水平方向 (kH)</th> <th>垂直方向 (kV)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 1.0</td> <td>・ 0.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 30分 ・ 1時間</td> <td>・ 80 ・ 70 ・ 60</td> </tr> </tbody> </table> <p>耐風圧性能 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法) ・適用しない</p> <p>主要部材の耐風圧性能 (ガラスを除く)</p> <table border="1" data-bbox="529 698 1473 878"> <thead> <tr> <th>支点間距離 (h)</th> <th>耐風圧性能</th> <th>状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4m 以下</td> <td>・ たわみ量が $\pm (1/150) \times h$ かつ絶対量 20mm 以下であること ・</td> <td rowspan="2">部材の脱落, ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと。</td> </tr> <tr> <td>4m を超える</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>層間変位追従性</p> <table border="1" data-bbox="529 913 1473 1093"> <thead> <tr> <th>建築物の構造種別</th> <th>層間変位量 (h=支点間距離)</th> <th>状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄骨造</td> <td>・ $\pm (1/200) \times h$ 以上 ・</td> <td rowspan="2">部材の脱落, ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと。 シーリングは補修程度の損傷であること。</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造</td> <td>・ $\pm (1/300) \times h$ 以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>シーリング材 下表以外は標準仕様書 9.7.1 による</p> <table border="1" data-bbox="529 1160 1473 1377"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">被着体の組合わせ</th> <th colspan="2">シーリング材の種別</th> </tr> <tr> <th>記号</th> <th>主成分による区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">金属</td> <td>ガラス</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>石, タイル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガラス</td> <td>ガラス</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">カーテンウォール板間目地</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>構造用ガスケット ・適用する (施工箇所 ・ 図示 ・) 材質 ・ クロロプレン系 ・ EPDM 系 ・ シリコーン系 形状 ・ H 形 ・ Y 形 ・ C 形 寸法 (mm) ガラス板厚 (), 支持枠の厚さ (), ウェブの寸法 () ・適用しない</p> <p>断熱材 種類 () 厚さ (mm) () 施工箇所 ・ 図示 ・</p> <p>耐火材料</p> <table border="1" data-bbox="529 1758 1473 1971"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>種別</th> <th>規格帯</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ファスナー部</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 取付けブラケット</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ パネル目地部</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 層間ふさぎ</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	耐震性能		水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性能	耐温度差性能 (°C)	水平方向 (kH)	垂直方向 (kV)	・ 1.0	・ 0.5					・ 30分 ・ 1時間	・ 80 ・ 70 ・ 60	支点間距離 (h)	耐風圧性能	状態	4m 以下	・ たわみ量が $\pm (1/150) \times h$ かつ絶対量 20mm 以下であること ・	部材の脱落, ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと。	4m を超える	・	建築物の構造種別	層間変位量 (h=支点間距離)	状態	鉄骨造	・ $\pm (1/200) \times h$ 以上 ・	部材の脱落, ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと。 シーリングは補修程度の損傷であること。	鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	・ $\pm (1/300) \times h$ 以上	被着体の組合わせ		シーリング材の種別		記号	主成分による区分	金属	ガラス			石, タイル			ガラス	ガラス			カーテンウォール板間目地				施工部位	種別	規格帯	・ ファスナー部			・ 取付けブラケット			・ パネル目地部			・ 層間ふさぎ		
	耐震性能		水密性	気密性							遮音性	断熱性	耐火性能	耐温度差性能 (°C)																																																										
	水平方向 (kH)	垂直方向 (kV)																																																																						
	・ 1.0	・ 0.5					・ 30分 ・ 1時間	・ 80 ・ 70 ・ 60																																																																
	支点間距離 (h)	耐風圧性能	状態																																																																					
	4m 以下	・ たわみ量が $\pm (1/150) \times h$ かつ絶対量 20mm 以下であること ・	部材の脱落, ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと。																																																																					
	4m を超える	・																																																																						
	建築物の構造種別	層間変位量 (h=支点間距離)	状態																																																																					
	鉄骨造	・ $\pm (1/200) \times h$ 以上 ・	部材の脱落, ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと。 シーリングは補修程度の損傷であること。																																																																					
	鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	・ $\pm (1/300) \times h$ 以上																																																																						
被着体の組合わせ		シーリング材の種別																																																																						
		記号	主成分による区分																																																																					
金属	ガラス																																																																							
	石, タイル																																																																							
ガラス	ガラス																																																																							
カーテンウォール板間目地																																																																								
施工部位	種別	規格帯																																																																						
・ ファスナー部																																																																								
・ 取付けブラケット																																																																								
・ パネル目地部																																																																								
・ 層間ふさぎ																																																																								

章	項目	特記事項														
17 カーテンウォール工事	2 メタルカーテンウォール	<p>カーテンウォール材料</p> <table border="1" data-bbox="526 212 1476 459"> <thead> <tr> <th data-bbox="526 212 678 246">種類</th> <th data-bbox="678 212 1005 246">規格等</th> <th data-bbox="1005 212 1332 246"></th> <th data-bbox="1332 212 1476 246">映像調整</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="526 246 678 414">※アルミニウム製</td> <td data-bbox="678 246 1005 414">※標準仕様書 16.2.3による</td> <td data-bbox="1005 246 1332 414"> ・A-1種 ・A-2種 ・ 皮膜等の種類(※標準仕様書表 14.2.1による ・) 着色(・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・スチカラー) </td> <td data-bbox="1332 246 1476 414"> ・行う ・行わない </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="526 459 1005 526"> 製品及び取付け位置の寸法許容差 ※標準仕様書表 17.2.1~3による ガラス溝の寸法, 形状 ※製造所の仕様による </td> <td colspan="2" data-bbox="1005 459 1476 526"></td> </tr> </tbody> </table>			種類	規格等		映像調整	※アルミニウム製	※標準仕様書 16.2.3による	・A-1種 ・A-2種 ・ 皮膜等の種類(※標準仕様書表 14.2.1による ・) 着色(・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・スチカラー)	・行う ・行わない	製品及び取付け位置の寸法許容差 ※標準仕様書表 17.2.1~3による ガラス溝の寸法, 形状 ※製造所の仕様による			
	種類	規格等		映像調整												
※アルミニウム製	※標準仕様書 16.2.3による	・A-1種 ・A-2種 ・ 皮膜等の種類(※標準仕様書表 14.2.1による ・) 着色(・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・スチカラー)	・行う ・行わない													
製品及び取付け位置の寸法許容差 ※標準仕様書表 17.2.1~3による ガラス溝の寸法, 形状 ※製造所の仕様による																
3 PCカーテンウォール	<p>(17.3.2~5)</p> <p>カーテンウォールの材料</p> <p>コンクリート ※標準仕様書 17.3.2(a)(i)~(iv)による</p> <p>鉄筋 ※SD295A (・D13 ・D10)</p> <p>補強鉄線の径(mm) ※3.2 ・4.0 ・5.0 ・6.0</p> <p>配筋 ※図示</p> <p>先付けの材料 ・サッシ枠 ・ゴンドラ用ガイドレール</p> <p>表面仕上げ材 ・磁器質タイル ・石材 (・花こう岩 ・大理石 ・)</p> <p>ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差(mm)</p> <p>・h=1~+2, W1 及び W2=±1</p> <p>製品及び取付位置の寸法許容差 ※標準仕様書表 17.3.1~2による</p>															

章	項目	特記事項																																																																	
18 塗装工事	① 材料	(18.1.3) 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ◎規制対象 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所：)																																																																	
	② 素地ごしらえ	(18.2.2~7) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">下地面等</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">木部</td> <td>不透明塗料塗りの場合</td> <td>※A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>透明塗りの場合</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td></td> <td>※C種 ・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>珪藻土面及び石膏面</td> <td></td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面、ALCパネル面及び押出成形セメント板面</td> <td></td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">せっこうボード面及びその他 ボード面</td> <td>目地：継目処理工法</td> <td>※A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>目地：継目処理工法以外</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> </tbody> </table>	下地面等		種別	木部	不透明塗料塗りの場合	※A種 ・ B種	透明塗りの場合	※B種 ・ A種	鉄鋼面		※C種 ・ A種 ・ B種	亜鉛めっき鋼面		・ A種 ・ B種 ・ C種	珪藻土面及び石膏面		※B種 ・ A種	コンクリート面、ALCパネル面及び押出成形セメント板面		※B種 ・ A種	せっこうボード面及びその他 ボード面	目地：継目処理工法	※A種 ・ B種	目地：継目処理工法以外	※B種 ・ A種																																								
	下地面等		種別																																																																
	木部	不透明塗料塗りの場合	※A種 ・ B種																																																																
		透明塗りの場合	※B種 ・ A種																																																																
鉄鋼面		※C種 ・ A種 ・ B種																																																																	
亜鉛めっき鋼面		・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																	
珪藻土面及び石膏面		※B種 ・ A種																																																																	
コンクリート面、ALCパネル面及び押出成形セメント板面		※B種 ・ A種																																																																	
せっこうボード面及びその他 ボード面	目地：継目処理工法	※A種 ・ B種																																																																	
	目地：継目処理工法以外	※B種 ・ A種																																																																	
③ 錆止め塗料塗り	(18.3.2, 3) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">下地面等</th> <th>工程の種別</th> <th>塗料の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">鉄鋼面</td> <td>見え掛り部分</td> <td>※A種 ・ B種</td> <td rowspan="2">/</td> </tr> <tr> <td>見え隠れ部分</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">亜鉛めっき鋼面</td> <td>鋼製建具</td> <td>※A種 ・ B種 ・ C種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>鋼製建具以外</td> <td>※C種 ・ A種 ・ B種</td> <td>・ C種</td> </tr> </tbody> </table>	下地面等		工程の種別	塗料の種類	鉄鋼面	見え掛り部分	※A種 ・ B種	/	見え隠れ部分	※B種 ・ A種	亜鉛めっき鋼面	鋼製建具	※A種 ・ B種 ・ C種	・ A種 ・ B種	鋼製建具以外	※C種 ・ A種 ・ B種	・ C種																																																	
下地面等		工程の種別	塗料の種類																																																																
鉄鋼面	見え掛り部分	※A種 ・ B種	/																																																																
	見え隠れ部分	※B種 ・ A種																																																																	
亜鉛めっき鋼面	鋼製建具	※A種 ・ B種 ・ C種	・ A種 ・ B種																																																																
	鋼製建具以外	※C種 ・ A種 ・ B種	・ C種																																																																
④ 塗装	(18.4.1~18.14.2) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">塗装</th> <th>種別</th> <th>塗料の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">◎合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)</td> <td>木部屋外</td> <td>※A種 ・ B種</td> <td>※1種 ・ 2種</td> </tr> <tr> <td>木部屋内</td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>※1種 ・ 2種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>※1種 ・ 2種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>-</td> <td>※1種 ・ 2種</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・クリアッカー塗り(CL)</td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD)</td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・耐候性塗料塗り(DP)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>-</td> <td>上塗り等級()級</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>-</td> <td>上塗り等級()級</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及び押出成形セメント板面</td> <td>※A種 ・ B種 ・ C種</td> <td>上塗り等級()級</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)</td> <td>コンクリート面等</td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td colspan="2">◎合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)</td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り(EP-T)</td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)</td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・ラッカーエマル塗り(LE)</td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・オイルステイン塗り(OS)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・木材保護塗料塗り(WP)</td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	塗装		種別	塗料の種類	◎合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※A種 ・ B種	※1種 ・ 2種	木部屋内	※B種 ・ A種	※1種 ・ 2種	鉄鋼面	※B種 ・ A種	※1種 ・ 2種	亜鉛めっき鋼面	-	※1種 ・ 2種	・クリアッカー塗り(CL)		※B種 ・ A種	-	・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD)		※B種 ・ A種	-	・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	-	上塗り等級()級	亜鉛めっき鋼面	-	上塗り等級()級	コンクリート面及び押出成形セメント板面	※A種 ・ B種 ・ C種	上塗り等級()級	・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	コンクリート面等	※B種 ・ A種	-	屋内の鉄鋼面	※B種 ・ A種	-	◎合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)		※B種 ・ A種	-	・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り(EP-T)		※B種 ・ A種	-	・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種 ・ A種	-	・ラッカーエマル塗り(LE)		※B種 ・ A種	-	・オイルステイン塗り(OS)		-	-	・木材保護塗料塗り(WP)		※B種 ・ A種	-
塗装		種別	塗料の種類																																																																
◎合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※A種 ・ B種	※1種 ・ 2種																																																																
	木部屋内	※B種 ・ A種	※1種 ・ 2種																																																																
	鉄鋼面	※B種 ・ A種	※1種 ・ 2種																																																																
	亜鉛めっき鋼面	-	※1種 ・ 2種																																																																
・クリアッカー塗り(CL)		※B種 ・ A種	-																																																																
・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD)		※B種 ・ A種	-																																																																
・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	-	上塗り等級()級																																																																
	亜鉛めっき鋼面	-	上塗り等級()級																																																																
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	※A種 ・ B種 ・ C種	上塗り等級()級																																																																
・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	コンクリート面等	※B種 ・ A種	-																																																																
	屋内の鉄鋼面	※B種 ・ A種	-																																																																
◎合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)		※B種 ・ A種	-																																																																
・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り(EP-T)		※B種 ・ A種	-																																																																
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種 ・ A種	-																																																																
・ラッカーエマル塗り(LE)		※B種 ・ A種	-																																																																
・オイルステイン塗り(OS)		-	-																																																																
・木材保護塗料塗り(WP)		※B種 ・ A種	-																																																																
⑤ 塗装業者	※ 日本塗装工業会の会員 ◎ 監督員の承諾する塗装業者																																																																		

章	項目	特記事項																								
19 内装工事	6 カーペット敷き	・織じゅうたん (19.3.3) (表19.3.1)																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>種類</th> <th>織り方</th> <th>色柄等</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A種</td> <td>・カットパイル</td> <td>・ウルトンカーペット</td> <td>・無地</td> <td>・適用する (性能: ※人体帯電圧 3kv 以下)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>・ループパイル</td> <td>・ダブルフェースカーペット</td> <td>・柄物 (標準品)</td> <td>・適用しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>・カット, ループ 併用</td> <td>・アキスミスターカーペット</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別	種類	織り方	色柄等	帯電性	備考	・A種	・カットパイル	・ウルトンカーペット	・無地	・適用する (性能: ※人体帯電圧 3kv 以下)		・B種	・ループパイル	・ダブルフェースカーペット	・柄物 (標準品)	・適用しない		・C種	・カット, ループ 併用	・アキスミスターカーペット			
		種別	種類	織り方	色柄等	帯電性	備考																			
		・A種	・カットパイル	・ウルトンカーペット	・無地	・適用する (性能: ※人体帯電圧 3kv 以下)																				
		・B種	・ループパイル	・ダブルフェースカーペット	・柄物 (標準品)	・適用しない																				
		・C種	・カット, ループ 併用	・アキスミスターカーペット																						
		下敷き材 ※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・タフテッドカーペット (19.3.3, 4)																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>パイル形状</th> <th>パイル長さ(mm)</th> <th>工法</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・カットパイル</td> <td>※5~7</td> <td rowspan="4">※全面接着工法 ・グリッパー工法</td> <td rowspan="4">・適用する (性能: ※人体帯電圧 3kv 以下) ・適用しない</td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>・ループパイル</td> <td>※4~6</td> </tr> <tr> <td>・レベルループパイル</td> <td>.4</td> </tr> <tr> <td>・カット, ループ 併用</td> <td>.</td> </tr> </tbody> </table>	パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	帯電性	備考	・カットパイル	※5~7	※全面接着工法 ・グリッパー工法	・適用する (性能: ※人体帯電圧 3kv 以下) ・適用しない		・ループパイル	※4~6	・レベルループパイル	.4	・カット, ループ 併用	.								
		パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	帯電性	備考																				
		・カットパイル	※5~7	※全面接着工法 ・グリッパー工法	・適用する (性能: ※人体帯電圧 3kv 以下) ・適用しない																					
・ループパイル	※4~6																									
・レベルループパイル	.4																									
・カット, ループ 併用	.																									
下敷き材(グリッパー工法の場合) ※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・ニードルパンチカーペット 厚さ(mm) () 帯電性 ・適用する(性能: ※人体帯電圧 3kv 以下) ・適用しない 備考 ()																										
・タイルカーペット (19.3.3, 4)																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>パイル形状</th> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>寸法</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・カットパイル</td> <td>※第一種 ・第二種</td> <td></td> <td>※500×500 .</td> <td>※6.5 .</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ループパイル</td> <td>・第一種 ・第二種</td> <td></td> <td>※500×500 .</td> <td>※6.5 .</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カット, ループ 併用</td> <td>・第一種 ・第二種</td> <td></td> <td>※500×500 .</td> <td>※6.5 .</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	パイル形状	種類	施工箇所	寸法	総厚さ(mm)	備考	・カットパイル	※第一種 ・第二種		※500×500 .	※6.5 .		・ループパイル	・第一種 ・第二種		※500×500 .	※6.5 .		・カット, ループ 併用	・第一種 ・第二種		※500×500 .	※6.5 .			
パイル形状	種類	施工箇所	寸法	総厚さ(mm)	備考																					
・カットパイル	※第一種 ・第二種		※500×500 .	※6.5 .																						
・ループパイル	・第一種 ・第二種		※500×500 .	※6.5 .																						
・カット, ループ 併用	・第一種 ・第二種		※500×500 .	※6.5 .																						
タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し 階段部分 ※模様流し ・市松敷き 見切り, 押え金物 ・適用する(材質, 形状等 ※図示) ・適用しない																										
⑦ 合成樹脂塗床	(19.4.2, 3) (表19.4.1~7)																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>工法</th> <th>仕上げの種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床</td> <td></td> <td></td> <td>※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂塗床材</td> <td></td> <td>・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂珪藻土工法</td> <td>・平滑仕上げ ・防滑仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・薄膜型塗床材</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・アクリル樹脂塗床</td> <td></td> <td></td> <td>工程 塗布量(kg/m²) . 表面仕上げ ・平滑 ・防滑 溶剤 ・水性色 ・溶剤系 ・無溶剤系 仕上げ色 ・標準色</td> </tr> </tbody> </table>	種別	施工箇所	工法	仕上げの種類	◎厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ	・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂塗床材		・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂珪藻土工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ	・薄膜型塗床材				・アクリル樹脂塗床			工程 塗布量(kg/m ²) . 表面仕上げ ・平滑 ・防滑 溶剤 ・水性色 ・溶剤系 ・無溶剤系 仕上げ色 ・標準色					
	種別	施工箇所	工法	仕上げの種類																						
	◎厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ																						
	・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂塗床材		・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂珪藻土工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ																						
・薄膜型塗床材																										
・アクリル樹脂塗床			工程 塗布量(kg/m ²) . 表面仕上げ ・平滑 ・防滑 溶剤 ・水性色 ・溶剤系 ・無溶剤系 仕上げ色 ・標準色																							
塗料のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外																										

章	項目	特記事項						
19 内装工事	8 フローリング張り	(19.5.2~7) (表 19.5.1~6)						
		単層フローリング						
		種類	工法	樹種	厚さ (mm)	大きさ	仕上塗装	間伐材等の適用
		・フローリングボード	・釘留め工法 (根太張り)	※なら	15	板幅 75 板長さ 500 以上	・塗装品 ・無塗装品	・
			・釘留め工法 (直張り)	※なら	・12 以上	板幅 75 板長さ 500 以上		
			・接着工法	※なら	・12 以上	板幅 75 板長さ 500 以上		
		・フローリングブロック	・接着工法	※なら	15	303×303	・塗装品 ・無塗装品	・
			・モルタル埋込工法	※なら	※15	※303×303		
		・モザイクタイル	接着工法	・	・	・	・塗装品 ・無塗装品	・
		天然木化粧複合フローリング						
種類	工法	樹種	厚さ/大きさ (mm)	種別	防湿処理	仕上塗装	間伐材等の適用	
・複合1種フローリング ・複合2種フローリング ・複合3種フローリング	・釘留め工法 (根太張り)	※なら	/	・A種 ・B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・	
	・釘留め工法 (直張り)							
	・接着工法	※なら	板厚 ・8 以上 板幅 ・75 以上 板長さ 900 以上	・				
フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 接着工法の場合の緩衝材 ※合成樹脂発泡シート 現場塗装仕上げ ・行う (施工箇所) ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上, ワックス塗り ・生地そのままワックス塗り ・行わない								
9 畳敷き	(19.6.2) (表 19.6.1)							
	種別	・A種	・B種	・C種	・D種 (畳床: ・KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N)			
下地の種類		・標準仕様書表 12.6.1 による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロン) ・						
畳表及び畳床はホルムアルデヒド, アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか, 発生が極めて少ない材料を使用したものとする。								

章	項目	特記事項																																																																																				
19 内装工事	⑩ せっこうボード その他ボード張り	(19.7.2, 3) (表 19.7.1)																																																																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>JIS 記号</th> <th>厚さ(mm), 規格等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・硬質木毛セメント板</td> <td>HW</td> <td>・15 ・20 ・25 ・</td> </tr> <tr> <td>・中質木毛セメント板</td> <td>MW</td> <td>・15 ・20 ・25 ・</td> </tr> <tr> <td>・普通木毛セメント板</td> <td>NW</td> <td>・15 ・20 ・25 ・</td> </tr> <tr> <td>・硬質木片セメント板</td> <td>HF</td> <td>・12 ・15 ・18 ・21 ・</td> </tr> <tr> <td>・普通木片セメント板</td> <td>NF</td> <td>・30 ・</td> </tr> <tr> <td>◎けい酸カルシウム板</td> <td>0.8FK 1.0FK</td> <td>タイプ 2 (無石綿) ○6 ○8</td> </tr> <tr> <td>・ロックウール化粧吸音板</td> <td>DR</td> <td>・フラットタイプ (・9 (不燃) ・12 ・) ・凹凸タイプ (・12 (不燃) ・15 ・19 ・)</td> </tr> <tr> <td>・ロックウール吸音ボード 1号</td> <td>RW-B</td> <td>・25 ・</td> </tr> <tr> <td>・グラスウール吸音ボード 32K</td> <td>GW-B</td> <td>・25 (ガラスクロス包) ・</td> </tr> <tr> <td>◎せっこうボード</td> <td>GB-R</td> <td>※12.5 (不燃) ・15 (準不燃)</td> </tr> <tr> <td>・不燃積層せっこうボード</td> <td>GB-NC</td> <td>9.5 (不燃) 化粧無 (下地張り用) 化粧有 (トラハチ模様)</td> </tr> <tr> <td>・シジソクせっこうボード</td> <td>GB-S</td> <td>12.5 (不燃)</td> </tr> <tr> <td>・強化せっこうボード</td> <td>GB-F</td> <td>・12.5 (不燃) ・15 (不燃)</td> </tr> <tr> <td>・せっこうラスボード</td> <td>GB-L</td> <td>9.5</td> </tr> <tr> <td>・化粧せっこうボード (木目)</td> <td>GB-D GB-D</td> <td>12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様 (※柱目 ・板目) 専用下地材有り</td> </tr> <tr> <td>・化粧せっこうボード (トラハチ模様)</td> <td></td> <td>9.5 (不燃)</td> </tr> <tr> <td>・普通合板</td> <td></td> <td>表面の材種 生地, 透明塗料塗り (※ツツ程度 ・) 不透明塗料塗り (※しな程度 ・) 板面の品質 () 厚さ (mm) () 接着の程度 () ・防虫処理 ・難燃処理 ・防炎処理</td> </tr> <tr> <td>・天然木化粧合板</td> <td></td> <td>樹種名 () 接着の程度 (・1 類 ・2 類) 厚さ (mm) () ・防虫処理 ・難燃処理 ・防炎処理</td> </tr> <tr> <td>・特殊加工化粧合板</td> <td></td> <td>化粧加工の方法 (・オーバーレイ・プリント・塗装) 表面性能 ()タイプ 接着の程度 (・1 類 ・2 類) 厚さ (mm) () ・防虫処理 ・難燃処理 ・防炎処理</td> </tr> <tr> <td>・メラミン樹脂化粧板</td> <td></td> <td>・JIS K 6903 による (※1.2 ・)</td> </tr> <tr> <td>・ポリエステル樹脂化粧板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ミディアムファイバーボード</td> <td>MDF</td> <td>・3 ・7 ・9 ・12 ・</td> </tr> <tr> <td>・単板張りパーティクルボード</td> <td></td> <td>・無研磨板 VN ・研磨板 VS ・10 ・12 ・15 ・18 ・</td> </tr> <tr> <td>・化粧パーティクルボード</td> <td></td> <td>・単板オーバーレイ DV ・プラスチックオーバーレイ DO ・塗装 DC ・10 (難燃) ・12 (難燃) ・</td> </tr> <tr> <td>・ハードボード (素地)</td> <td>HB</td> <td>・未研磨板 (・スタンダード ・テンパード) RN ・研磨板 (・スタンダード ・テンパード) RS</td> </tr> <tr> <td>・ハードボード (化粧)</td> <td>HB</td> <td>・内装用 DI ・外装用 DE ・2.5 ・3.5 ・5 ・7</td> </tr> <tr> <td>・インシュレーションボード</td> <td>IB</td> <td>A 級 (・天井仕上 ・内装仕上 ・) ・9 ・12 ・15 ・18</td> </tr> </tbody> </table>	種類	JIS 記号	厚さ(mm), 規格等	・硬質木毛セメント板	HW	・15 ・20 ・25 ・	・中質木毛セメント板	MW	・15 ・20 ・25 ・	・普通木毛セメント板	NW	・15 ・20 ・25 ・	・硬質木片セメント板	HF	・12 ・15 ・18 ・21 ・	・普通木片セメント板	NF	・30 ・	◎けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK	タイプ 2 (無石綿) ○6 ○8	・ロックウール化粧吸音板	DR	・フラットタイプ (・9 (不燃) ・12 ・) ・凹凸タイプ (・12 (不燃) ・15 ・19 ・)	・ロックウール吸音ボード 1号	RW-B	・25 ・	・グラスウール吸音ボード 32K	GW-B	・25 (ガラスクロス包) ・	◎せっこうボード	GB-R	※12.5 (不燃) ・15 (準不燃)	・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5 (不燃) 化粧無 (下地張り用) 化粧有 (トラハチ模様)	・シジソクせっこうボード	GB-S	12.5 (不燃)	・強化せっこうボード	GB-F	・12.5 (不燃) ・15 (不燃)	・せっこうラスボード	GB-L	9.5	・化粧せっこうボード (木目)	GB-D GB-D	12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様 (※柱目 ・板目) 専用下地材有り	・化粧せっこうボード (トラハチ模様)		9.5 (不燃)	・普通合板		表面の材種 生地, 透明塗料塗り (※ツツ程度 ・) 不透明塗料塗り (※しな程度 ・) 板面の品質 () 厚さ (mm) () 接着の程度 () ・防虫処理 ・難燃処理 ・防炎処理	・天然木化粧合板		樹種名 () 接着の程度 (・1 類 ・2 類) 厚さ (mm) () ・防虫処理 ・難燃処理 ・防炎処理	・特殊加工化粧合板		化粧加工の方法 (・オーバーレイ・プリント・塗装) 表面性能 ()タイプ 接着の程度 (・1 類 ・2 類) 厚さ (mm) () ・防虫処理 ・難燃処理 ・防炎処理	・メラミン樹脂化粧板		・JIS K 6903 による (※1.2 ・)	・ポリエステル樹脂化粧板			・ミディアムファイバーボード	MDF	・3 ・7 ・9 ・12 ・	・単板張りパーティクルボード		・無研磨板 VN ・研磨板 VS ・10 ・12 ・15 ・18 ・	・化粧パーティクルボード		・単板オーバーレイ DV ・プラスチックオーバーレイ DO ・塗装 DC ・10 (難燃) ・12 (難燃) ・	・ハードボード (素地)	HB	・未研磨板 (・スタンダード ・テンパード) RN ・研磨板 (・スタンダード ・テンパード) RS	・ハードボード (化粧)	HB	・内装用 DI ・外装用 DE ・2.5 ・3.5 ・5 ・7	・インシュレーションボード	IB	A 級 (・天井仕上 ・内装仕上 ・) ・9 ・12 ・15 ・18
		種類	JIS 記号	厚さ(mm), 規格等																																																																																		
		・硬質木毛セメント板	HW	・15 ・20 ・25 ・																																																																																		
		・中質木毛セメント板	MW	・15 ・20 ・25 ・																																																																																		
		・普通木毛セメント板	NW	・15 ・20 ・25 ・																																																																																		
		・硬質木片セメント板	HF	・12 ・15 ・18 ・21 ・																																																																																		
		・普通木片セメント板	NF	・30 ・																																																																																		
		◎けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK	タイプ 2 (無石綿) ○6 ○8																																																																																		
		・ロックウール化粧吸音板	DR	・フラットタイプ (・9 (不燃) ・12 ・) ・凹凸タイプ (・12 (不燃) ・15 ・19 ・)																																																																																		
		・ロックウール吸音ボード 1号	RW-B	・25 ・																																																																																		
		・グラスウール吸音ボード 32K	GW-B	・25 (ガラスクロス包) ・																																																																																		
		◎せっこうボード	GB-R	※12.5 (不燃) ・15 (準不燃)																																																																																		
		・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5 (不燃) 化粧無 (下地張り用) 化粧有 (トラハチ模様)																																																																																		
		・シジソクせっこうボード	GB-S	12.5 (不燃)																																																																																		
		・強化せっこうボード	GB-F	・12.5 (不燃) ・15 (不燃)																																																																																		
		・せっこうラスボード	GB-L	9.5																																																																																		
		・化粧せっこうボード (木目)	GB-D GB-D	12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様 (※柱目 ・板目) 専用下地材有り																																																																																		
		・化粧せっこうボード (トラハチ模様)		9.5 (不燃)																																																																																		
		・普通合板		表面の材種 生地, 透明塗料塗り (※ツツ程度 ・) 不透明塗料塗り (※しな程度 ・) 板面の品質 () 厚さ (mm) () 接着の程度 () ・防虫処理 ・難燃処理 ・防炎処理																																																																																		
		・天然木化粧合板		樹種名 () 接着の程度 (・1 類 ・2 類) 厚さ (mm) () ・防虫処理 ・難燃処理 ・防炎処理																																																																																		
		・特殊加工化粧合板		化粧加工の方法 (・オーバーレイ・プリント・塗装) 表面性能 ()タイプ 接着の程度 (・1 類 ・2 類) 厚さ (mm) () ・防虫処理 ・難燃処理 ・防炎処理																																																																																		
		・メラミン樹脂化粧板		・JIS K 6903 による (※1.2 ・)																																																																																		
		・ポリエステル樹脂化粧板																																																																																				
		・ミディアムファイバーボード	MDF	・3 ・7 ・9 ・12 ・																																																																																		
		・単板張りパーティクルボード		・無研磨板 VN ・研磨板 VS ・10 ・12 ・15 ・18 ・																																																																																		
		・化粧パーティクルボード		・単板オーバーレイ DV ・プラスチックオーバーレイ DO ・塗装 DC ・10 (難燃) ・12 (難燃) ・																																																																																		
		・ハードボード (素地)	HB	・未研磨板 (・スタンダード ・テンパード) RN ・研磨板 (・スタンダード ・テンパード) RS																																																																																		
・ハードボード (化粧)	HB	・内装用 DI ・外装用 DE ・2.5 ・3.5 ・5 ・7																																																																																				
・インシュレーションボード	IB	A 級 (・天井仕上 ・内装仕上 ・) ・9 ・12 ・15 ・18																																																																																				
せっこうボード等の下地は図示による。																																																																																						

章	項目	特記事項																																													
19 内装工事	10 せっこうボード その他ボード張り	遮音シール材 ・適用する（・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド） ・適用しない 合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ 合板類の張付け ※B種 ・A種 せっこうボードの目地工法 ・仕上げ表による ・																																													
	11 壁紙張り	ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・ (19.8.2) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="5">壁紙の種類</th> <th rowspan="2">防火性能</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>紙</th> <th>繊維</th> <th>プラスチック</th> <th>無機質</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※不燃 ・準不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※不燃 ・準不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※不燃 ・準不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※不燃 ・準不燃</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> モルタル・プラスター面の素地ごしらえ ※B種 ・A種 コンクリート・ALC面の素地ごしらえ ※B種 ・A種 せっこうボード面の素地ごしらえ ※B種 ・A種	施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備考	紙	繊維	プラスチック	無機質	その他		・	・	・	・	・	※不燃 ・準不燃			・	・	・	・	・	※不燃 ・準不燃			・	・	・	・	・	※不燃 ・準不燃			・	・	・	・	・	※不燃 ・準不燃	
	施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備考																																							
紙		繊維	プラスチック	無機質	その他																																										
	・	・	・	・	・	※不燃 ・準不燃																																									
	・	・	・	・	・	※不燃 ・準不燃																																									
	・	・	・	・	・	※不燃 ・準不燃																																									
	・	・	・	・	・	※不燃 ・準不燃																																									
⑫ 断熱材	(19.9.2~3) ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ◎規制対象 ・断熱材打込み工法	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th></th> <th>厚さ (mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ピ-ズ® 法® リスフレフォーム保温材</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">※押出法® リスフレフォーム保温材 (スキなし)</td> <td>・保温板(2種b)</td> <td>・25</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・保温板(3種b)</td> <td>・25</td> <td>・接地点部分</td> </tr> <tr> <td>・A種硬質ウレタンフォーム保温材</td> <td></td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・フェノールフォーム保温材 (3種2号を除く)</td> <td></td> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ・断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ※A種1 ・B種1 厚さ(mm) ・25 ・30 ・ 施工箇所 ・図示 ・	種類		厚さ (mm)	施工箇所	・ピ-ズ® 法® リスフレフォーム保温材				※押出法® リスフレフォーム保温材 (スキなし)	・保温板(2種b)	・25	・	・保温板(3種b)	・25	・接地点部分	・A種硬質ウレタンフォーム保温材		・		・フェノールフォーム保温材 (3種2号を除く)		・																							
種類		厚さ (mm)	施工箇所																																												
・ピ-ズ® 法® リスフレフォーム保温材																																															
※押出法® リスフレフォーム保温材 (スキなし)	・保温板(2種b)	・25	・																																												
	・保温板(3種b)	・25	・接地点部分																																												
・A種硬質ウレタンフォーム保温材		・																																													
・フェノールフォーム保温材 (3種2号を除く)		・																																													

章	項目	特記事項																																
20 ユニット及びその他の工事	1 フリーアクセスフロア	<p>(20.2.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>構法</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> <th>耐震性能</th> <th>耐荷重性能</th> <th>表面仕上げ材</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・パ° 襖構法 ・溝構法</td> <td>・500×500 ・</td> <td></td> <td>・1.0G ・0.6G</td> <td>・3000N ・5000N</td> <td>・帯電防止床タイル ・タイルカーペット</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・パ° 襖構法 ・溝構法</td> <td>・500×500 ・</td> <td></td> <td>・1.0G ・0.6G</td> <td>・3000N ・5000N</td> <td>・帯電防止床タイル ・タイルカーペット</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・パ° 襖構法 ・溝構法</td> <td>・500×500 ・</td> <td></td> <td>・1.0G ・0.6G</td> <td>・3000N ・5000N</td> <td>・帯電防止床タイル ・タイルカーペット</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>寸法精度 ※標準仕様書 20.2.2 (b) (5) (i)～(iii)による 厚さ ±0.5mm 平坦度 パネル周辺部 1.0mm 以下 図心と拡張点を結ぶ線上部 2.0mm 以下</p> <p>表面仕上材の品質、性能は、標準仕様書 19 章による。 構成材の材質 ・アルミニウム製 ・鋼製 (仕上げ:) スロープ及びボーター ※製造所の仕様による ・図示</p> <p>配線用取り出しパネル フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ・20～30 パーセント 配線取り出し開口 ・パネル1枚につき、40mm×80mm 程度の開口1ヶ所以上 ・図示</p> <p>空調用吹き出し (吸い込み) パネル ・なし ・あり (形式、施工箇所: 図示)</p>	施工箇所	構法	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	耐荷重性能	表面仕上げ材	備考		・パ° 襖構法 ・溝構法	・500×500 ・		・1.0G ・0.6G	・3000N ・5000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット			・パ° 襖構法 ・溝構法	・500×500 ・		・1.0G ・0.6G	・3000N ・5000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット			・パ° 襖構法 ・溝構法	・500×500 ・		・1.0G ・0.6G	・3000N ・5000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	施工箇所	構法	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	耐荷重性能	表面仕上げ材	備考																										
		・パ° 襖構法 ・溝構法	・500×500 ・		・1.0G ・0.6G	・3000N ・5000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット																											
		・パ° 襖構法 ・溝構法	・500×500 ・		・1.0G ・0.6G	・3000N ・5000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット																											
	・パ° 襖構法 ・溝構法	・500×500 ・		・1.0G ・0.6G	・3000N ・5000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット																												
2 可動間仕切	<p>(20.2.3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">構造形式</th> <th colspan="2">構成基材の種類</th> <th rowspan="2">総厚さ (mm)</th> <th colspan="3">表面仕上材</th> <th rowspan="2">遮音性 (db/500Hz)</th> <th rowspan="2">防火性能</th> </tr> <tr> <th>スタッド</th> <th>パ° 襖</th> <th>表面材種</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面仕上げ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・スタッド式 (内蔵) ・スタッド式 (露出) ・パ° 襖式 ・スタッドパ° 襖式</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・鋼板 ・</td> <td>・0.6 ・0.8</td> <td>※メラミン樹脂 焼付又は アクリル樹脂 焼付 ・</td> <td>・0 ・12 ・20 ・28 ・36</td> <td>・不燃</td> </tr> </tbody> </table> <p>パネル内に取付ける建具 ・あり (※図示) ・なし 表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書 19 章による</p>	構造形式	構成基材の種類		総厚さ (mm)	表面仕上材			遮音性 (db/500Hz)	防火性能	スタッド	パ° 襖	表面材種	厚さ (mm)	表面仕上げ	・スタッド式 (内蔵) ・スタッド式 (露出) ・パ° 襖式 ・スタッドパ° 襖式				・鋼板 ・	・0.6 ・0.8	※メラミン樹脂 焼付又は アクリル樹脂 焼付 ・	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃										
構造形式	構成基材の種類		総厚さ (mm)	表面仕上材			遮音性 (db/500Hz)	防火性能																										
	スタッド	パ° 襖		表面材種	厚さ (mm)	表面仕上げ																												
・スタッド式 (内蔵) ・スタッド式 (露出) ・パ° 襖式 ・スタッドパ° 襖式				・鋼板 ・	・0.6 ・0.8	※メラミン樹脂 焼付又は アクリル樹脂 焼付 ・	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃																										
3 移動間仕切	<p>(20.2.4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">構造形式</th> <th rowspan="2">操作方法</th> <th rowspan="2">圧接装置の操作方法</th> <th rowspan="2">総厚さ (mm)</th> <th colspan="2">表面仕上材</th> <th rowspan="2">遮音性 (db/500Hz)</th> </tr> <tr> <th>材質</th> <th>パ° 襖表面仕上げ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・平行方向移動式 ・二方向移動式</td> <td>・手動式 ・電動式 ・部分電動式</td> <td>・プッシュ式 ・ハンドル式 ・</td> <td></td> <td>・鋼板 ・</td> <td>・焼付塗装 ・壁紙張り ・</td> <td>・36 未満 ・36 以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能 標準仕様書 19 章による 遮音性能は、JIS A 6512 に準拠し、中心周波数 500Hz の音についての透過損失とするハンガーレールの取付け下地の補強 ※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。 ・図示</p>	構造形式	操作方法	圧接装置の操作方法	総厚さ (mm)	表面仕上材		遮音性 (db/500Hz)	材質	パ° 襖表面仕上げ	・平行方向移動式 ・二方向移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式 ・		・鋼板 ・	・焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36 未満 ・36 以上																	
構造形式	操作方法					圧接装置の操作方法	総厚さ (mm)		表面仕上材		遮音性 (db/500Hz)																							
		材質	パ° 襖表面仕上げ																															
・平行方向移動式 ・二方向移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式 ・		・鋼板 ・	・焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36 未満 ・36 以上																												
4 トイレブース	<p>(20.2.5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">表面材の種類</th> <th>脚部</th> <th colspan="2">ドアエッジ</th> </tr> <tr> <th>形状</th> <th>形状</th> <th>材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>※幅木タイプ ・</td> <td>・標準 ・R</td> <td>・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材</td> </tr> </tbody> </table>	表面材の種類	脚部	ドアエッジ		形状	形状	材質	・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ ・	・標準 ・R	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材																						
表面材の種類	脚部		ドアエッジ																															
	形状	形状	材質																															
・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ ・	・標準 ・R	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材																															

章	項目	特記事項				
20 ユニット及びその他の工事	5 視覚障害者用床タイル	(11.2.2) (19.2.2)				
		施工箇所	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	
		屋内	・塩化ビニル製	・300×300	・7.0	
			・磁器質タイル ・せっ器質タイル	・300×300	・	
			・レゾンコンクリート製 ・コンクリート製	・300×300	・	
		屋外	・磁器質タイル ・せっ器質タイル	・300×300	・	
			・レゾンコンクリート製 ・コンクリート製	・300×300	・	
		ブロックパターンはJIS T 9251による				
	6 階段滑り止め	(20.2.6)				
		材種	幅(mm)	取付け工事	端部フラットエンド	
	・ステンレス製(SUS304)ビニル付入り	・約35	※接着工法 ・埋込み工法	・あり	・ビニル製 ・ステンレス製	
				・なし		
7 階段手すり	(20.2.8)					
	材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考	
	・集成材	・クリアッカー	・35 ・45			
	・ステンレスパイプ	・HL				
	・鋼製パイプ	・EP-G ・SOP				
	・ビニル製ハンドル	・				
8 黒板及びホワイトボード	(20.2.8)					
	種類	寸法(mm)	色彩	形式		
	・黒板	※焼付け	※緑 ・黒	※平面 ・曲面	・スクリーン付引分 ・	
	・ホワイトボード	※ほうろう	白	※平面 ・曲面	・スクリーン付引分 ・	
9 鏡	(20.2.9)					
	取付箇所 ()					
	寸法(mm)	・図示	・			
	厚さ(mm)	※5	・			
10 表示	(20.2.10)					
	区分	材質	寸法(mm)	厚さ(mm)	取付高さ(mm)	備考
	・衝突防止表示 (・両面 ・片面)	・ステンレス製 ・図示	・30φ ・	・市販品 ・	・図示 ・	
	・室名札	・アクリル製 ・	・図示 ・	・5 ・	・図示 ・	
	・ピクトグラム	・アクリル製 ・	・図示 ・	・5 ・	・図示 ・	
	・とびら番号	・アクリル製 ・	・図示 ・	・5 ・	・図示 ・	
	・庁内案内板	・アクリル製 ・	・図示 ・	・5 ・	・図示 ・	
	・各階案内板	・アクリル製 ・	・図示 ・	・5 ・	・図示 ・	
	・					
	案内用図記号はJIS Z 8210による 誘導標識、非常用出入口の表示は市販品とする。 色、書体、印刷等の種別、取付形式等は図示による。					

章	項目	特記事項																																	
20 ユニット及びその他の工事	11 煙突ライニング	(20.2.11) <ul style="list-style-type: none"> ・煙突用成型ライニング 適用安全使用温度 ・400℃ ・650℃ ・キャスト耐火材 煙突用成型ライニング材の製造所の指定する製品とする																																	
	12 ブラインド	(20.2.12) <table border="1"> <thead> <tr> <th>形式</th> <th>操作方法</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラット幅 (mm)</th> <th>ボックス・レールの材種</th> <th>寸法・取付箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・横型</td> <td>・手動</td> <td>※ギア式 ・コード式 ・操作棒式</td> <td>※アルミニウム合金製</td> <td>※25</td> <td>※鋼製</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・電動</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・縦型</td> <td>・手動</td> <td>※2本操作コード ・1本操作コード</td> <td>・アルミスラット ・クロススラット</td> <td>・80 ・100</td> <td>アルミニウム合金製</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・電動</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> アルミスラット 焼付け塗装仕上げ クロススラット 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工	形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	ボックス・レールの材種	寸法・取付箇所	・横型	・手動	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	※鋼製	・図示	・電動	—					・縦型	・手動	※2本操作コード ・1本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	アルミニウム合金製	・図示	・電動	—				
	形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	ボックス・レールの材種	寸法・取付箇所																												
	・横型	・手動	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	※鋼製	・図示																												
		・電動	—																																
・縦型	・手動	※2本操作コード ・1本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	アルミニウム合金製	・図示																													
	・電動	—																																	
13 ロールスクリーン	(20.2.13) <table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>操作方式</th> <th>遮光性</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">・ポリエステル ・</td> <td>・電動式</td> <td>・1級</td> <td>・図示</td> <td>・図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・スプリング式</td> <td>・2級</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・チェーン式</td> <td>・3級</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料は製造所の仕様による。	材種	操作方式	遮光性	寸法 (mm)	取付箇所	備考	・ポリエステル ・	・電動式	・1級	・図示	・図示		・スプリング式	・2級	・	・		・チェーン式	・3級															
材種	操作方式	遮光性	寸法 (mm)	取付箇所	備考																														
・ポリエステル ・	・電動式	・1級	・図示	・図示																															
	・スプリング式	・2級	・	・																															
	・チェーン式	・3級																																	
14 カーテン	(20.2.14) <table border="1"> <thead> <tr> <th>形式</th> <th></th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>きれ地の種別、品質、特殊加工</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・シングル ・ダブル</td> <td rowspan="2">・片引き ・引分け</td> <td rowspan="2">・手引き ・ひも引き ・電動</td> <td rowspan="2">・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">・図示</td> <td rowspan="2">・</td> </tr> <tr> </tr> <tr> <td rowspan="2">・シングル ・ダブル</td> <td rowspan="2">・片引き ・引分け</td> <td rowspan="2">・手引き ・ひも引き ・電動</td> <td rowspan="2">・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">・図示</td> <td rowspan="2">・</td> </tr> <tr> </tr> </tbody> </table> 暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上	形式		開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別、品質、特殊加工	取付箇所	備考	・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ		・図示	・	・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ		・図示	・													
形式		開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別、品質、特殊加工	取付箇所	備考																													
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ		・図示	・																													
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ		・図示	・																													
15 カーテンレール	(20.2.14) 材種 ※アルミニウム製 ・ステンレス製 形式 ・シングル ・ダブル ・片引き ・引分け 強さによる区分 ※10-90 仕上げ ※アルマイト 形状 ※角形																																		
16 ブラインドボックス及びカーテンボックス	溝幅×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ※120×150 ・150×80 ・図示 材質 ・集成材 (仕上げ：)) ・アルミニウム製 押出し型材 (市販品) 表面処理・C-1 ・C-2 (・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー)) 皮膜等の種類 ※標準仕様書表 14.2.1 による ・鋼製 (仕上げ：))																																		

章	項目	特記事項					
20 ユニット及びその他の工事	⑰ 天井点検口	材種		寸法	形式	外枠	内枠
		※アルミニウム製 ・		◎450×450 ・600×600 ・	・一般形 ・屋内外用 ・屋内用 ・気密形	◎額縁タイプ ・目地タイプ	◎額縁タイプ ・目地タイプ
	18 床点検口	材種		寸法	形式	備考	
		・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製		・450×450 ・600×600 ・	・一般形 ・気密形 ・結露防止形	・屋内外用 ・屋内用	・鍵付き
	19 耐震スリット	方向	タイプ	耐火性能	防水性能	備考	
		・垂直方向 ・水平方向	※完全（全貫通型）	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し		
		目地					
		目地	内壁		外壁		
		目地材	・シーリング材（見え掛かりのみ） ・		・シーリング材（見え掛かりのみ） ・シーリング材（内外とも）		
		目地寸法 （幅 mm×深さ mm）	・20×10		・20×10		
	目地材の材質は標準仕様書表 9.7.2 による						
20 止水板	形状 ・差込式 ・据置式 ・壁張り式 施工箇所 ・図示 ・						
21 エキスパンション ジョイント金物	材種		クリアランス	耐火性能	備考		
	・アルミニウム製 ・ステンレス製		・50 ・100 ・150	・有り（ ） ・無し			
	外部は防水型とする						
22 くつつきマット	材種		受け枠		備考		
	・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製		・ステンレス鋼(SUS304) ・硬質アルミニウム合金				
23 流し台ユニット	材種		寸法(mm)		備考		
			W	D	H		
	・流し台	・1200 ・1500 ・1800	・550 ・600 ・650	・800 ・850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製		
	・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製		
	・つり戸棚	・1200 ・900	・450	・500 ・700	市販品		
	・水切り棚	・1200 ・900 ・600	—	—	市販品 ステンレス製 ・1段式		
	品質・性能 JIS A 4420 による 形状 ※図示 ・						

章	項目	特記事項																				
ユニット及びその他の工事	24 旗竿	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>形式</th> <th>高さ(mm)</th> <th>操作方法</th> <th>固定方法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アルミニウム合金製 ・</td> <td>・テーパー式 ・同一断面式</td> <td></td> <td>・ハンドル式 ・ロープ式</td> <td>・埋込式 ・ベース式 ・バンド式</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						材種	形式	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考	・アルミニウム合金製 ・	・テーパー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式				
	材種	形式	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考																
	・アルミニウム合金製 ・	・テーパー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式																	
	25 旗竿受金物	材種 ・ステンレス製(SUS304)																				
	26 車止め支柱	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">形式</th> <th>材種</th> <th>柱径, 肉厚(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・上下式鎖内蔵式</td> <td>・標準品 ・スプリング式</td> <td>・ステンレス製 ・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						形式		材種	柱径, 肉厚(mm)	高さ(mm)	・上下式鎖内蔵式	・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製 ・	・	・	・				
	形式		材種	柱径, 肉厚(mm)	高さ(mm)																	
	・上下式鎖内蔵式	・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製 ・	・	・																	
	・																					
	27 フェンス	フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス 高さ ・図示 ・																				
	28 プレキャスト コンクリート	(20.3.3~4) コンクリートの設計基準強度 ※水セメント比 55%以下, 単位セメント量の最小値 300kg/m ³ を満足する調合強度 ・図示 配筋 ※配筋を定めた計算書を監督員に提出する。 ・図示 取付方法 ※図示																				
29 間知石及び コンクリート間知 ブロック積み	(20.4.2~3) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">材種</th> <th>種類</th> <th>質量区分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・間知石</td> <td>・花こう岩 ・凝灰岩</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・コンクリート 間知ブロック</td> <td>—</td> <td></td> <td>・A ・B</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 積み方 ※谷積み ・布積み 目塗り ・図示 ・伸縮目地 材種 ・図示 ・ 厚さ ・図示 ・						材種		種類	質量区分	備考	・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	—	—		・コンクリート 間知ブロック	—		・A ・B		
材種		種類	質量区分	備考																		
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	—	—																			
・コンクリート 間知ブロック	—		・A ・B																			
30 鋼製書架及び物品棚	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> <th colspan="3">JISによる種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・鋼製書架</td> <td rowspan="2">JIS S 1039 の規格による</td> <td>・1級</td> <td>・2級</td> <td>・3級</td> </tr> <tr> <td>・鋼製物品棚</td> <td>・4級</td> <td>・5級</td> <td>・6級</td> </tr> </tbody> </table>						種類	規格等	JISによる種類			・鋼製書架	JIS S 1039 の規格による	・1級	・2級	・3級	・鋼製物品棚	・4級	・5級	・6級		
種類	規格等	JISによる種類																				
・鋼製書架	JIS S 1039 の規格による	・1級	・2級	・3級																		
・鋼製物品棚		・4級	・5級	・6級																		
31 屋内掲示板	枠の材質 ※アルミニウム製 表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り ・																					
32 洗面カウンター	材種 ・メラミン樹脂化粧板張り (心材: 集成材) ・人工大理石 奥行き(mm) ・約 450 ・約 600																					

章	項目	特記事項																				
20 ユニット及びその他の工事	33 防煙垂れ壁	<ul style="list-style-type: none"> ・ 固定式 <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※網入り磨板ガラス ・ 線入り磨板ガラス</td> <td>※6.8 ・</td> <td>※500 ・</td> <td>アルミ製枠付き</td> </tr> </tbody> </table> ・ 可動式 <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 垂直降下式 (巻取り型)</td> <td>※不燃布 (不燃認定品)</td> <td>※500 ・ 800 ・</td> <td>ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・ 可動式(天井収納型)</td> </tr> <tr> <td>・ 回転降下型</td> <td>鋼板製又はアルミ製</td> <td>※500 ・ 800 ・</td> <td>表面仕上げ ※天井材張り ・</td> </tr> </tbody> </table> <p>降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込型)</p>	材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考	※網入り磨板ガラス ・ 線入り磨板ガラス	※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き	材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考	・ 垂直降下式 (巻取り型)	※不燃布 (不燃認定品)	※500 ・ 800 ・	ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・ 可動式(天井収納型)	・ 回転降下型	鋼板製又はアルミ製	※500 ・ 800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・
	材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考																		
	※網入り磨板ガラス ・ 線入り磨板ガラス	※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き																		
	材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考																		
・ 垂直降下式 (巻取り型)	※不燃布 (不燃認定品)	※500 ・ 800 ・	ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・ 可動式(天井収納型)																			
・ 回転降下型	鋼板製又はアルミ製	※500 ・ 800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・																			
34 屋外掲示板	照明器具 ※有り ・無し 施錠 ※有り ・無し 製造所																					
35 収納家具	材質, 形状, 寸法 ※図示 ・ 合板類, MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・																					

章	項目	特記事項																																																		
21 排水工事	1 排水管	<p>排水管用材料 (21.2.1) (表 21.2.1) (21.3.3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>管の種類</th> <th>形状</th> <th>呼び径</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・遠心力鉄筋コンクリート管</td> <td>※外圧管(1種)</td> <td>・B型管</td> <td>※図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>・VP</td> <td></td> <td>※図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・WU</td> <td></td> <td>※図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・RS-WU</td> <td></td> <td>※図示</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p> 基床の厚さ及び種類 ・図示 砂地業に用いる材料 ※標準仕様書 21.2.3(a)(1) ・図示 砂利事業に用いる材料 ※標準仕様書 21.2.3(a)(2) ・図示 硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※接着剤 コンクリート基礎等に用いる材料 ※標準仕様書 6.14 設計基準強度 18N/mm²とする。ただし、コンクリートが簡易な場合の調合(容積比)セメント1:砂2:砂利4程度とする。 ・図示 </p>	材種	管の種類	形状	呼び径	備考	・遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管(1種)	・B型管	※図示		・硬質ポリ塩化ビニル管	・VP		※図示		・WU		※図示		・RS-WU		※図示																												
	材種	管の種類	形状	呼び径	備考																																															
	・遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管(1種)	・B型管	※図示																																																
	・硬質ポリ塩化ビニル管	・VP		※図示																																																
・WU			※図示																																																	
・RS-WU			※図示																																																	
2 側塊、排水柵等	<p>(21.2.2)</p> <p>側塊、排水柵等 形状及び寸法 ・図示 砂地業に用いる材料 ※標準仕様書 21.2.3(a)(1) ・図示 砂利事業に用いる材料 ※標準仕様書 21.2.3(a)(2) ・図示 コンクリート基礎等に用いる材料 ※標準仕様書 6.14 設計基準強度 18N/mm²とする。ただし、コンクリートが簡易な場合の調合(容積比)セメント1:砂2:砂利4程度とする。 ・図示</p>																																																			
3 鋳鉄製ふた	<p>(21.2.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>適用荷重</th> <th>鍵</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・水封形 ・簡易気密形(パッキン式) ・密閉形(テーパー・パッキン式) ・中ふた付密閉形(テーパー・パッキン式) ・RS-WU </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・T-2用 ・T-6用 ・T-20用 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・有り ・無し </td> <td> 崎以外の品質等は(公社)空気調和衛生工学会 SHASE-S209による </td> </tr> </tbody> </table>	種類	適用荷重	鍵	備考	<ul style="list-style-type: none"> ・水封形 ・簡易気密形(パッキン式) ・密閉形(テーパー・パッキン式) ・中ふた付密閉形(テーパー・パッキン式) ・RS-WU 	<ul style="list-style-type: none"> ・T-2用 ・T-6用 ・T-20用 	<ul style="list-style-type: none"> ・有り ・無し 	崎以外の品質等は(公社)空気調和衛生工学会 SHASE-S209による																																											
種類	適用荷重	鍵	備考																																																	
<ul style="list-style-type: none"> ・水封形 ・簡易気密形(パッキン式) ・密閉形(テーパー・パッキン式) ・中ふた付密閉形(テーパー・パッキン式) ・RS-WU 	<ul style="list-style-type: none"> ・T-2用 ・T-6用 ・T-20用 	<ul style="list-style-type: none"> ・有り ・無し 	崎以外の品質等は(公社)空気調和衛生工学会 SHASE-S209による																																																	
4 グレーチング	<p>(21.2.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>用途</th> <th>適用荷重</th> <th>メーパピッチ</th> <th>亜鉛めっき(付着量)</th> <th>上面形状</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">・鋼製ホルふた</td> <td rowspan="4">・受枠付き、ボルト固定</td> <td>・溝ふた(横断用)</td> <td>・歩行用</td> <td>・細目</td> <td>・()</td> <td>・凹凸型</td> </tr> <tr> <td>・溝ふた(側溝用)</td> <td>・T-2用</td> <td>・普通目</td> <td>・()</td> <td>・平型</td> </tr> <tr> <td>・柵ふた用</td> <td>・T-6用</td> <td>・細目</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・U字溝用</td> <td>・T-14用</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">・ステン製</td> <td rowspan="4">・受枠付き、ボルト固定</td> <td>・溝ふた(横断用)</td> <td>・歩行用</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>・凹凸型</td> </tr> <tr> <td>・溝ふた(側溝用)</td> <td>・T-2用</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>・平型</td> </tr> <tr> <td>・柵ふた用</td> <td>・T-6用</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・U字溝用</td> <td>・T-14用</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	材質	形式	用途	適用荷重	メーパピッチ	亜鉛めっき(付着量)	上面形状	・鋼製ホルふた	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた(横断用)	・歩行用	・細目	・()	・凹凸型	・溝ふた(側溝用)	・T-2用	・普通目	・()	・平型	・柵ふた用	・T-6用	・細目			・U字溝用	・T-14用				・ステン製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた(横断用)	・歩行用	—	—	・凹凸型	・溝ふた(側溝用)	・T-2用	—	—	・平型	・柵ふた用	・T-6用				・U字溝用	・T-14用			
材質	形式	用途	適用荷重	メーパピッチ	亜鉛めっき(付着量)	上面形状																																														
・鋼製ホルふた	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた(横断用)	・歩行用	・細目	・()	・凹凸型																																														
		・溝ふた(側溝用)	・T-2用	・普通目	・()	・平型																																														
		・柵ふた用	・T-6用	・細目																																																
		・U字溝用	・T-14用																																																	
・ステン製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた(横断用)	・歩行用	—	—	・凹凸型																																														
		・溝ふた(側溝用)	・T-2用	—	—	・平型																																														
		・柵ふた用	・T-6用																																																	
		・U字溝用	・T-14用																																																	

章	項 目	特 記 事 項										
21 排水工事	5 街きよ, 縁石, 側溝	<p style="text-align: right;">(21.4.1) (表 21.4.1)</p> <p>街きよ, 縁石, 側溝</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">種類</th> <th>形状, 寸法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 縁石</td> <td>・ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・ U形側溝</td> <td>・ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・ U形側溝ふた</td> <td>・ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 図示 ・</td> </tr> </tbody> </table> <p>地業の材料 ※標準仕様書 4.6.2(a)による ・ 図示 砂利事業の厚さ ※100(mm) ・ 図示 コンクリート基礎等に用いる材料 ※標準仕様書 6.14 設計基準強度 18N/mm²とする。ただし, コンクリートが簡易な場合の調合 (容積比) セメント 1 : 砂 2 : 砂利 4 程度とする。 ・ 図示</p>	種類	形状, 寸法	・ 縁石	・ 図示 ・	・ U形側溝	・ 図示 ・	・ U形側溝ふた	・ 図示 ・		・ 図示 ・
	種類	形状, 寸法										
・ 縁石	・ 図示 ・											
・ U形側溝	・ 図示 ・											
・ U形側溝ふた	・ 図示 ・											
	・ 図示 ・											
6 埋戻し土	<p style="text-align: right;">(21.2.3)</p> <p>※B種 ・</p>											

章	項目	特記事項															
22 舗装工事	1 路床	<p style="text-align: right;">(22.2.2, 3, 5) (表 22.2.2)</p> <p>路床の材料</p> <table border="1" data-bbox="529 241 1481 595"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・盛土</td> <td>・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土</td> <td>・図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・遮断層</td> <td>・川砂, 海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過率10%以下)</td> <td>・図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>・再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込砂利 ・川砂, 海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過率10%以下)</td> <td>・図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>・川砂, 海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過率6%以下) ・</td> <td>・図示 ・</td> </tr> </tbody> </table> <p>路床安定処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・添加材料による安定処理 <ul style="list-style-type: none"> 種類 <ul style="list-style-type: none"> ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰 () ・消石灰 () 添加量 <ul style="list-style-type: none"> kg (目標 CBR ・5以上 ・) ・ジオテキスタイル <ul style="list-style-type: none"> 単位面積質量 <ul style="list-style-type: none"> ・60g/m²以上 ・ 厚さ(mm) <ul style="list-style-type: none"> ・0.5~1.0 ・ 引張強さ <ul style="list-style-type: none"> ・98N/5cm(10kgf/5cm)以上 ・ 透水係数 <ul style="list-style-type: none"> ・1.5×10⁻¹cm/sec以上 ・ <p>試験</p> <ul style="list-style-type: none"> 砂の粒度試験 <ul style="list-style-type: none"> ・行う ・行わない 路床土の支持力比(CBR)試験 <ul style="list-style-type: none"> ・行う ・行わない 路床締固め度の試験 <ul style="list-style-type: none"> ・行う ・行わない 	種別	材料	厚さ (mm)	・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土	・図示 ・	・遮断層	・川砂, 海砂又は良質な山砂(75 μ mふるい通過率10%以下)	・図示 ・	・凍上抑制層	・再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込砂利 ・川砂, 海砂又は良質な山砂(75 μ mふるい通過率10%以下)	・図示 ・	・フィルター層	・川砂, 海砂又は良質な山砂(75 μ mふるい通過率6%以下) ・	・図示 ・
種別	材料	厚さ (mm)															
・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土	・図示 ・															
・遮断層	・川砂, 海砂又は良質な山砂(75 μ mふるい通過率10%以下)	・図示 ・															
・凍上抑制層	・再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込砂利 ・川砂, 海砂又は良質な山砂(75 μ mふるい通過率10%以下)	・図示 ・															
・フィルター層	・川砂, 海砂又は良質な山砂(75 μ mふるい通過率6%以下) ・	・図示 ・															
	2 路盤	<p style="text-align: right;">(22.2.2, 3, 5) (表 3.2.1)</p> <p>路盤の厚さ <ul style="list-style-type: none"> ・図示 ・ </p> <p>路盤材料 <ul style="list-style-type: none"> ・砕石 ・再生クラッシュラン ・クラッシュラン鉄鋼スラグ ・ ・図示 </p> <p>試験</p> <ul style="list-style-type: none"> 路盤締固め度の試験 <ul style="list-style-type: none"> ※行う ・行わない 															
	3 アスファルト舗装	<p style="text-align: right;">(22.4.2~6) (表 22.4.1)</p> <p>アスファルト舗装の構成及び厚さ <ul style="list-style-type: none"> ※図示 ・ </p> <p>材料</p> <ul style="list-style-type: none"> アスファルト <ul style="list-style-type: none"> ・再生アスファルト ・ストレートアスファルト 骨材 <ul style="list-style-type: none"> ・道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材 <p>加熱アスファルト混合物の種類</p> <table border="1" data-bbox="529 1671 1473 1883"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>地域</th> <th>種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">表層</td> <td>・一般地域</td> <td>・密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)</td> </tr> <tr> <td>・寒冷地域</td> <td>・密粒度アスファルト混合物(13F) ・細粒度アスファルト混合物(13F)</td> </tr> <tr> <td>基層</td> <td>一般及び寒冷地域</td> <td>粗粒度アスファルト混合物(20)</td> </tr> </tbody> </table> <p>シーラコートの施工 <ul style="list-style-type: none"> ・行う ・行わない </p> <p>試験</p> <ul style="list-style-type: none"> アスファルト混合物等の抽出試験 <ul style="list-style-type: none"> ・行う ・行わない 舗装の平坦性 <ul style="list-style-type: none"> ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ <p>加熱混合物製造施設：茨城県指定のアスファルトコンクリート合材混合所</p>	区分	地域	種類	表層	・一般地域	・密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)	・寒冷地域	・密粒度アスファルト混合物(13F) ・細粒度アスファルト混合物(13F)	基層	一般及び寒冷地域	粗粒度アスファルト混合物(20)				
区分	地域	種類															
表層	・一般地域	・密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)															
	・寒冷地域	・密粒度アスファルト混合物(13F) ・細粒度アスファルト混合物(13F)															
基層	一般及び寒冷地域	粗粒度アスファルト混合物(20)															

章	項目	特記事項														
22 舗装工事	4 コンクリート舗装	(22.4.2~6) (表22.4.1) コンクリート舗装の厚さ <table border="1"> <thead> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部位</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">コンクリート舗装</td> <td>車道部</td> <td>・ 図示 ・ 150 ・</td> </tr> <tr> <td>歩道部</td> <td>・ 図示 ・ 70 ・</td> </tr> <tr> <td>転圧コンクリート</td> <td>車道部</td> <td>・ 図示 ・ 150 ・</td> </tr> </tbody> </table> 縁部立下り寸法等 ・ 図示 材料 コンクリート ・ 標準仕様書表 22.5.2 による ・ 早強セメント ・ 使用する ・ 使用しない 注入目地材料 ・ ※低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ 転圧コンクリートの工法 ※図示 ・ 目地 種類, 間隔, 構造 ※標準仕様書表 22.5.4 及び図 22.5.1 による ・ 図示 試験 コンクリート版厚さの試験 ・ 行う ・ 行わない	舗装の種類	部位	厚さ(mm)	コンクリート舗装	車道部	・ 図示 ・ 150 ・	歩道部	・ 図示 ・ 70 ・	転圧コンクリート	車道部	・ 図示 ・ 150 ・			
	舗装の種類	部位	厚さ(mm)													
	コンクリート舗装	車道部	・ 図示 ・ 150 ・													
		歩道部	・ 図示 ・ 70 ・													
転圧コンクリート	車道部	・ 図示 ・ 150 ・														
5 カラー舗装	(22.6.2~4) (表22.6.1) <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>部位</th> <th>車道部の基層</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・ 加熱系</td> <td>・ アスファルト混合物</td> <td>・ 車道</td> <td>・ 無し</td> </tr> <tr> <td>・ 石油樹脂系混合物</td> <td>・ 歩道</td> <td>・ 有り</td> </tr> <tr> <td>・ 常温系</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 舗装厚さの許容差 ※標準仕様書 22.4.2(c) による ・ 材料 添加する材料 ・ 着色骨材 () ・ 自然石 () 配合 結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量 ・ 樹脂系混合物, ニート工法及び塗布工法の配合等 ・	種類	部位	車道部の基層	厚さ(mm)	・ 加熱系	・ アスファルト混合物	・ 車道	・ 無し	・ 石油樹脂系混合物	・ 歩道	・ 有り	・ 常温系			
種類	部位	車道部の基層	厚さ(mm)													
・ 加熱系	・ アスファルト混合物	・ 車道	・ 無し													
	・ 石油樹脂系混合物	・ 歩道	・ 有り													
・ 常温系																
6 透水性アスファルト舗装	(22.7.2, 3, 6) 適用範囲 <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ストレートアスファルト</td> <td>・ 図示 ・</td> </tr> </tbody> </table> 試験 透水性アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない 舗装の平坦性 ※著しい不陸がないもの ・	材料	厚さ(mm)	ストレートアスファルト	・ 図示 ・											
材料	厚さ(mm)															
ストレートアスファルト	・ 図示 ・															
7 排水性アスファルト舗装	(22.8.2, 3, 6) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>種類</th> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>表層</td> <td>・ 排水性舗装用アスファルト混合物</td> <td>・ ポリマー改質アスファルト II 型</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>基層</td> <td>・ 加熱アスファルト混合物等(密粒アスファルト混合物)</td> <td>・ 再生アスファルト ・ ストレートアスファルト</td> <td>・ 図示</td> </tr> </tbody> </table> 舗装の平坦性 ※著しい不陸がないもの ・ 試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない	区分	種類	材料	厚さ(mm)	表層	・ 排水性舗装用アスファルト混合物	・ ポリマー改質アスファルト II 型	・ 図示	基層	・ 加熱アスファルト混合物等(密粒アスファルト混合物)	・ 再生アスファルト ・ ストレートアスファルト	・ 図示			
区分	種類	材料	厚さ(mm)													
表層	・ 排水性舗装用アスファルト混合物	・ ポリマー改質アスファルト II 型	・ 図示													
基層	・ 加熱アスファルト混合物等(密粒アスファルト混合物)	・ 再生アスファルト ・ ストレートアスファルト	・ 図示													

章	項目	特記事項																						
22 舗装工事	8 ブロック系舗装	・コンクリート平板舗装 (22.9.2, 3)																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>目地材</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※普通平板 (N) ・透水平板 (P) ・</td> <td>※300 角 ・</td> <td>・ 60</td> <td>※砂 ・珪砂</td> <td>表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し</td> </tr> </tbody> </table>	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	備考	※普通平板 (N) ・透水平板 (P) ・	※300 角 ・	・ 60	※砂 ・珪砂	表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し												
		種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	備考																		
		※普通平板 (N) ・透水平板 (P) ・	※300 角 ・	・ 60	※砂 ・珪砂	表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し																		
		仕上り面の平坦性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内 ・																						
	・インターロッキングブロック舗装 (22.9.2, 3)																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>曲げ強度 (N/mm²)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">※普通ブロック (N) ・透水性ブロック (P) ・</td> <td>車道部 ※80 ・</td> <td>※5.0 ・</td> <td rowspan="2">色彩、面加工 ・標準品 ・</td> </tr> <tr> <td>歩道部 ※60 ・</td> <td>※3.0 ・</td> </tr> </tbody> </table>	種類	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/mm ²)	備考	※普通ブロック (N) ・透水性ブロック (P) ・	車道部 ※80 ・	※5.0 ・	色彩、面加工 ・標準品 ・	歩道部 ※60 ・	※3.0 ・													
	種類	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/mm ²)	備考																				
	※普通ブロック (N) ・透水性ブロック (P) ・	車道部 ※80 ・	※5.0 ・	色彩、面加工 ・標準品 ・																				
		歩道部 ※60 ・	※3.0 ・																					
仕上り面の平坦性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、ブロック間の段差は3mm以内 ・																								
9 砂利敷き	種別 (22.10.1)																							
	・ A 種 (施工範囲： ・ 図示 ・ 通路 ・)																							
	・ B 種 (施工範囲： ・ 図示 ・ 建物周囲 ・)																							
10 路面標示用塗料	JIS K 5665 (路面標示用塗料) による																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>施工</th> <th>適用</th> <th>色</th> <th>幅 (mm)</th> <th>塗布厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 1 種</td> <td>常温</td> <td rowspan="2">液状</td> <td rowspan="2">・ 白 ・</td> <td>・ 150</td> <td>・ 1.0</td> </tr> <tr> <td>・ 2 種</td> <td>加熱</td> <td>・ 100</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 3 種 1 号</td> <td>溶融</td> <td>粉体状</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)	・ 1 種	常温	液状	・ 白 ・	・ 150	・ 1.0	・ 2 種	加熱	・ 100	・	・ 3 種 1 号	溶融	粉体状				
	種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)																		
	・ 1 種	常温	液状	・ 白 ・	・ 150	・ 1.0																		
・ 2 種	加熱	・ 100			・																			
・ 3 種 1 号	溶融	粉体状																						

章	項目	特記事項															
23 植栽及び屋上緑化工事	1 植栽地の確認等	(23. 1. 3) 土壌の水素イオン濃度 (pH) 試験 ・行う ・行わない 水溶性塩類 (EC) の試験 ・行う ・行わない															
	2 植栽基盤の整備	<table border="1"> <thead> <tr> <th>植栽</th> <th>工法</th> <th>有効土層の厚さ (cm)</th> <th>整備範囲</th> <th>土壌改良材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 樹木</td> <td>※A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種</td> <td>樹高 12m 以上 (※100 ・ 120 ・ 150) 樹高 7m 以上～12m 未満 (※80 ・ 100) 樹高 3m 未満 (※50 ・ 60)</td> <td>・ 葉張り部分 ・ 植栽部分 ・ 図示 ・</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> </tr> <tr> <td>※芝, 地被類</td> <td>※B 種 ・</td> <td>※20 ・</td> <td>・ 植栽部分 ・ 図示 ・</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> </tr> </tbody> </table> 植栽基盤の排水整備 ・設ける(※図示 ・) ・設けない	植栽	工法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲	土壌改良材	・ 樹木	※A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種	樹高 12m 以上 (※100 ・ 120 ・ 150) 樹高 7m 以上～12m 未満 (※80 ・ 100) 樹高 3m 未満 (※50 ・ 60)	・ 葉張り部分 ・ 植栽部分 ・ 図示 ・	・ 適用する ・ 適用しない	※芝, 地被類	※B 種 ・	※20 ・	・ 植栽部分 ・ 図示 ・	・ 適用する ・ 適用しない
	植栽	工法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲	土壌改良材												
	・ 樹木	※A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種	樹高 12m 以上 (※100 ・ 120 ・ 150) 樹高 7m 以上～12m 未満 (※80 ・ 100) 樹高 3m 未満 (※50 ・ 60)	・ 葉張り部分 ・ 植栽部分 ・ 図示 ・	・ 適用する ・ 適用しない												
	※芝, 地被類	※B 種 ・	※20 ・	・ 植栽部分 ・ 図示 ・	・ 適用する ・ 適用しない												
	3 植込み用土	(23. 2. 3) ※現場発生土の良質土 ・客土															
	4 土壌改良材	(23. 2. 3) ・ バークたい肥 施工箇所 ※植栽範囲 ・ 図示 使用量 植栽基盤面積 1 m ² あたり (・ 50L ・) ・ 汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト) 施工箇所 ※植栽範囲 ・ 図示 使用量 植栽基盤面積 1 m ² あたり (・ 10L ・) 材料 「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第 1 の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする															
	5 樹木	(23. 3. 2) 樹種, 寸法, 株立数等 ・ 図示 ・															
	6 支柱材	(23. 3. 2, 3) 紙駐在 ※丸太 (間伐材) ・ 真竹 防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太材 形式 ・ 図示 ・															
	7 幹巻き用材料	(23. 3. 2) 材料 ※幹巻き用テープ ・ わら及びこも															
	8 芝張り	(23. 4. 2) 種類 ※コウライシバ ・ ノシバ 芝張りの工法 平地 ※目地張り ・ べた張り 法面 ・ 目地張り ※べた張り															
9 吹付けは種	(23. 4. 2) <table border="1"> <thead> <tr> <th>種子の種類</th> <th>発芽率</th> <th>種子の量 (g/m²)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※洋芝類 (採取後 2 年以内)</td> <td>※80%以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種子の種類	発芽率	種子の量 (g/m ²)	備考	※洋芝類 (採取後 2 年以内)	※80%以上			・							
種子の種類	発芽率	種子の量 (g/m ²)	備考														
※洋芝類 (採取後 2 年以内)	※80%以上																
・																	
10 地被類	(23. 4. 2) <table border="1"> <thead> <tr> <th>樹種</th> <th>コテナ径</th> <th>単位面積当たりのコテナ数</th> <th>芽立数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	樹種	コテナ径	単位面積当たりのコテナ数	芽立数	・				・							
樹種	コテナ径	単位面積当たりのコテナ数	芽立数														
・																	
・																	
11 新植, 移植樹木, 芝等の枯保証	(23. 3. 4, 6) (23. 4. 7) 新植樹木 (芝張り, 吹付けは種及び地被類を含む) の枯補償の期間 ※引渡しの日から 1 年 ・ 無し 移植樹木の枯損処理を行う期間 ※引渡しの日から 1 年 ・ 無し																

章	項 目	特 記 事 項
23 植栽及び屋上緑化工事	12 屋上緑化	<p>植栽基盤及び材料 (23.5.2, 3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋上緑化システム <ul style="list-style-type: none"> 土壌層の厚さ ・ 図示 ・ 排水層 ・ 軽量骨材 (層の厚さ:) ・ 板状成型品 植込み用土 ※改良土 ・ 人口軽量土 樹木の樹種並びに種類, 寸法, 株立数等 ※図示 ・ ・屋上緑化軽量システム <ul style="list-style-type: none"> 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示 ・ 見切り材, 舗装材, 水抜き管, マルチング材等 ※図示 <p>工法 (23.5.4)</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適用しない 支柱 ・ 設置する (形式 ・ 図示 ・) かん水装置 ・ 設置する (種類 ・)
その他	1 軽微な変更の対応 (あらかじめ検討)	<p>施工の関係上やむを得ず発生する可能性の高い変更事項への対応方法について、あらかじめの検討を行っている部分</p> <p>本検討は、計画通知の変更を要しない範囲及び対応方法を定めるものであり、品質管理上の施工誤差を許容するものではない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杭の芯ずれを考慮した検討 あらかじめ検討の範囲及び対応方法 ※図示 ・杭の長さの変更を見込んだ検討 あらかじめ検討の範囲及び対応方法 ※図示 ・梁貫通孔の大きさと位置の変更を見込んだ検討 あらかじめ検討の範囲及び対応方法 ※図示 ・

本 工 事 費 内 訳 書							
番号	名 称	品 質・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	H29 八郷中学校 階段手摺改修工事						
	[種目内訳]						
A	直接工事費		1.0	式			
B	共通費		1.0	式			
	工事価格	A+B					
	消費税相当額	8%					
	請負に付する額						

本 工 事 費 内 訳 書							
番号	名 称	品 質・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	[科目内訳]						
A	直接工事費						
1	仮設・準備工事		1.0	式			
2	金属工事		1.0	式			
	計						

本 工 事 費 内 訳 書							
番号	名 称	品 質・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	[細目内訳]						
1	準備工事						
	墨出し		106.4	m ²			
	養生		106.4	m ²			
	整理清掃・あと片付け		106.4	m ²			
	小計						

本 工 事 費 内 訳 書							
番号	名 称	品 質・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	金属工事						
	材料費		1.0	式			
	階段N・S平部手摺 既設H=1050上部に溶接	スチール平部H=350(錆止め) 手摺 FB-9*50	3.0	m			
		支柱 FB-9*44 @600 下棧 FB-9*44					
		手摺子: φ9@100					
	階段N・S斜部手摺 既設H=950上部に溶接	スチール斜部H=350(錆止め) 手摺 FB-9*50	28.8	m			
		支柱 FB-9*44 @600 下棧 FB-9*44					
		手摺子: φ9@100					
	SOP	既存同色	31.8	m			
	作図費		1.0	式			
	小 計						

本 工 事 費 内 訳 書							
番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
B	共通費						
	共通仮設費		1.0	式			
	現場経費		1.0	式			
	一般管理費		1.0	式			
	共通費 計						

H29 八郷中学校 階段手摺改修工事

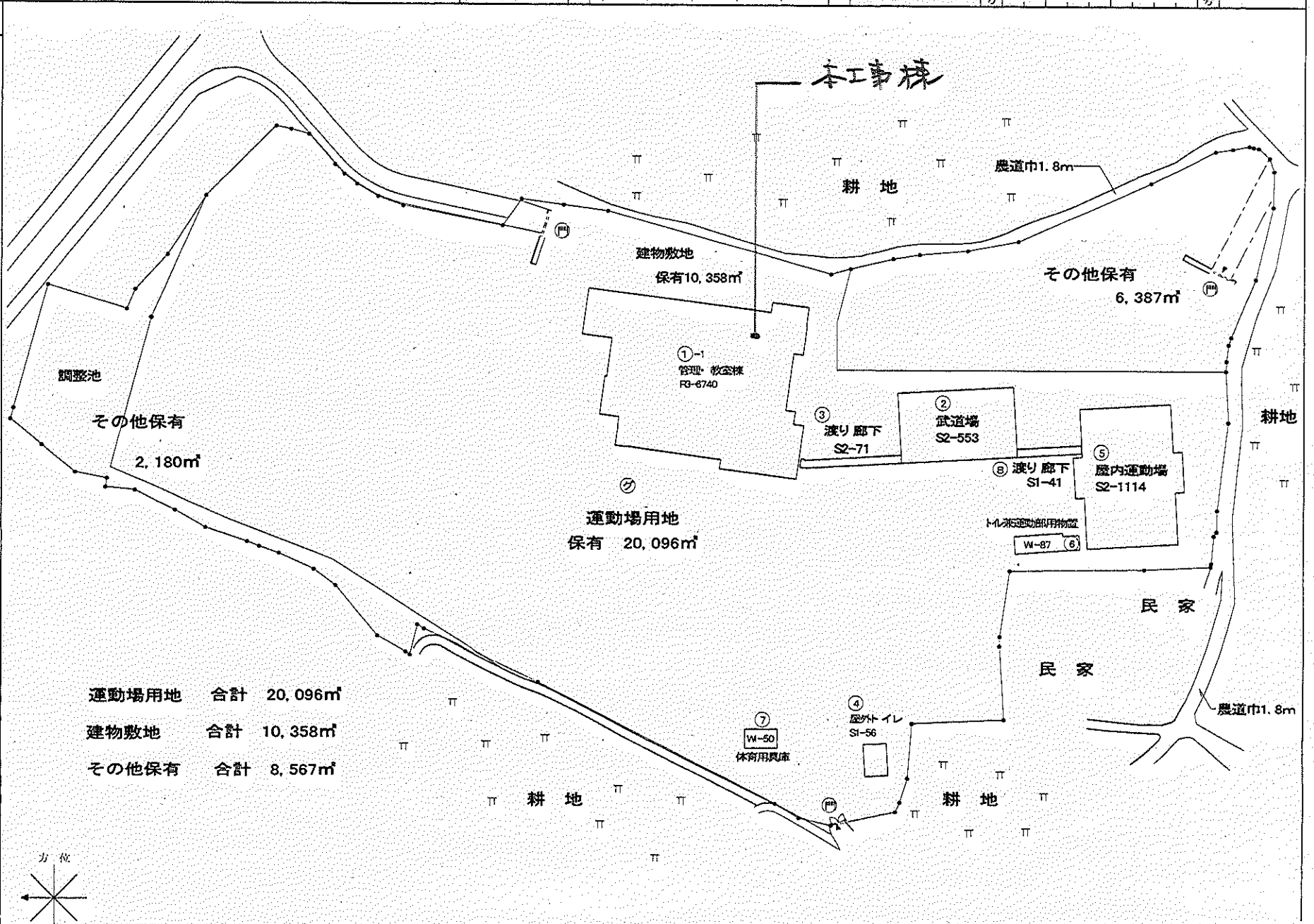
2017

4725-001

(平成28年度)

施設の配置図	縮尺	1/1500	学校名	八郷中学校	調査番号	08	205	4725	整理番号	0526
					(都道府県)	(市町村)	(学校)			

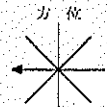
- 凡例**
- 建物
- 木 木とりこわし建物
 - ⊗ 危険建物
 - ⊖ 借川建物
 - ⊖ 一時使用建物
- 建物以外の工作物
- ⊙ 自転車置き場
 - ⊙ 倉庫
 - ⊙ 吹き抜けの渡廊下
 - ⊙ 温室
 - ⊙ コンテナ受場
 - ⊙ 正門・通用門
 - ⊙ 屋外運動場
 - ⊙ ボミ保管庫
 - ⊙ プール附属室



運動場用地 合計 20,096㎡

建物敷地 合計 10,358㎡

その他保有 合計 8,567㎡

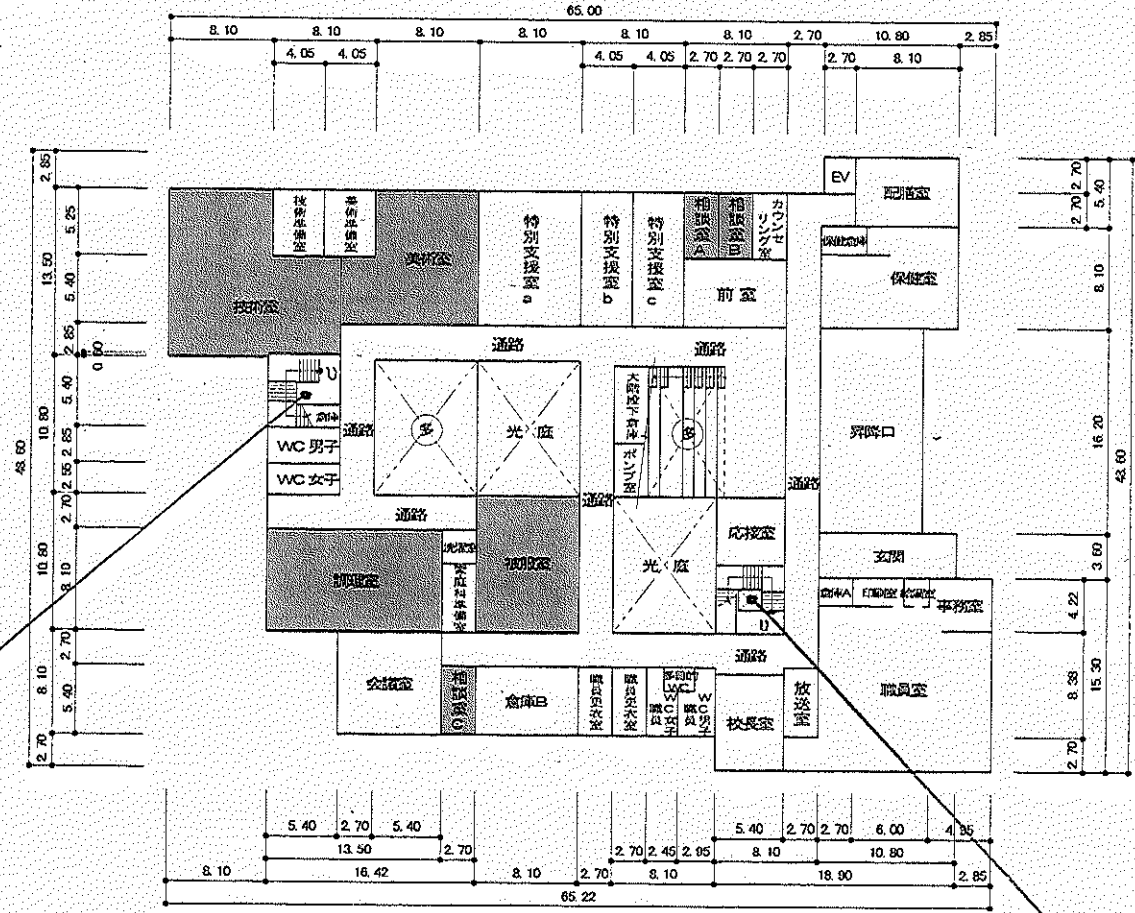


(平成27年度)

凡例 普 普通教室

1 F

① - 1

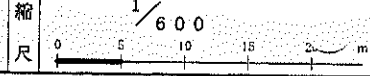


改修階段(N)

改修階段(S)

(平成27年度)

平面図
縮尺



学校名

八郷中学校

調査番号

08

205

4725

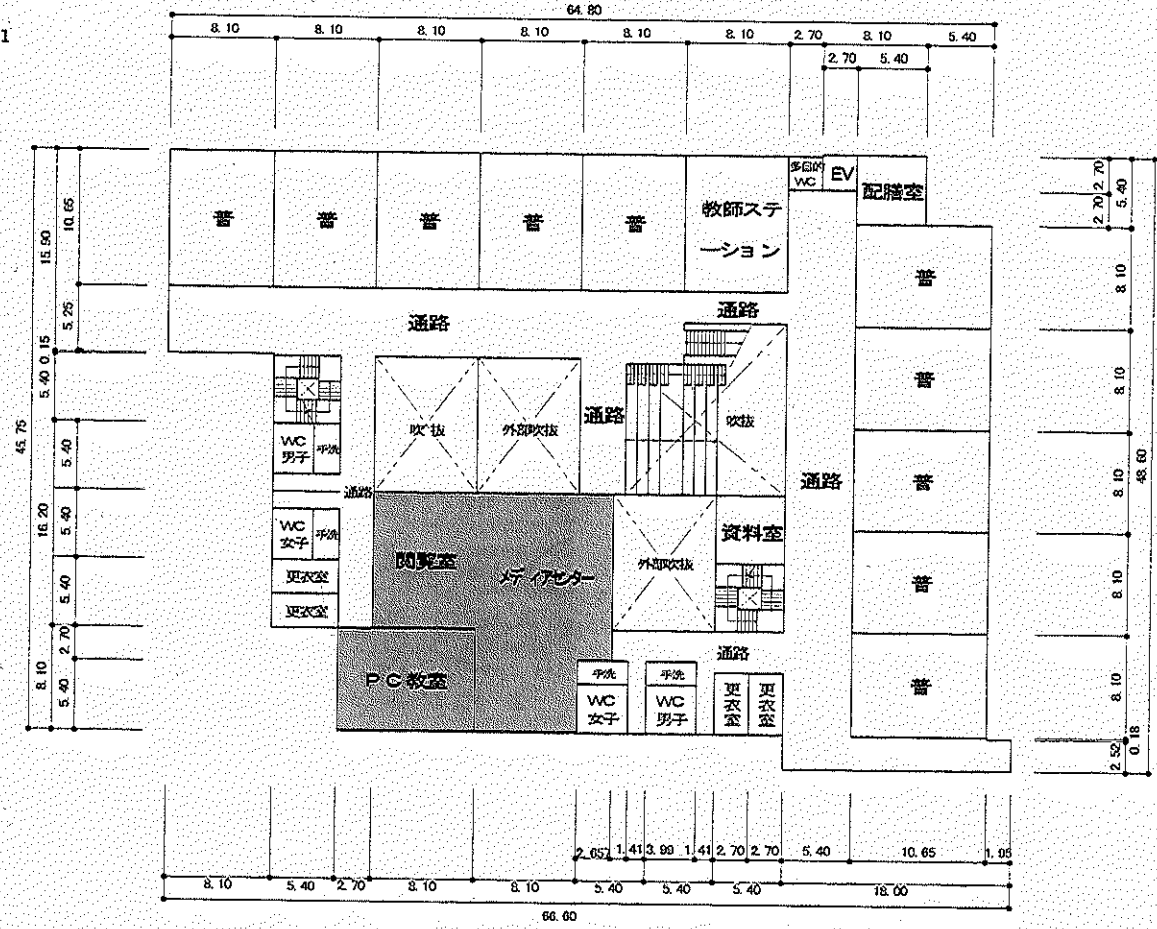
整理番号

0526

凡例 普 . . . 普通教室

2 F

①-1

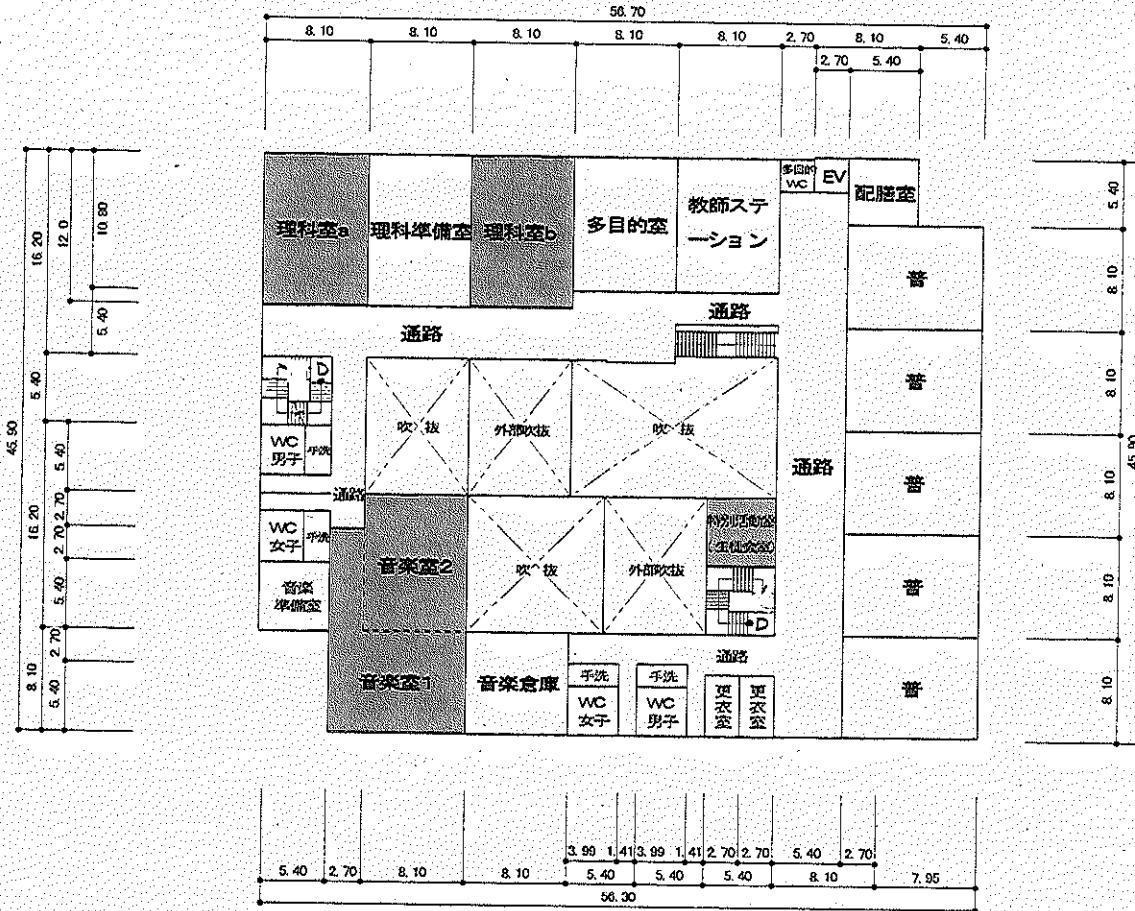


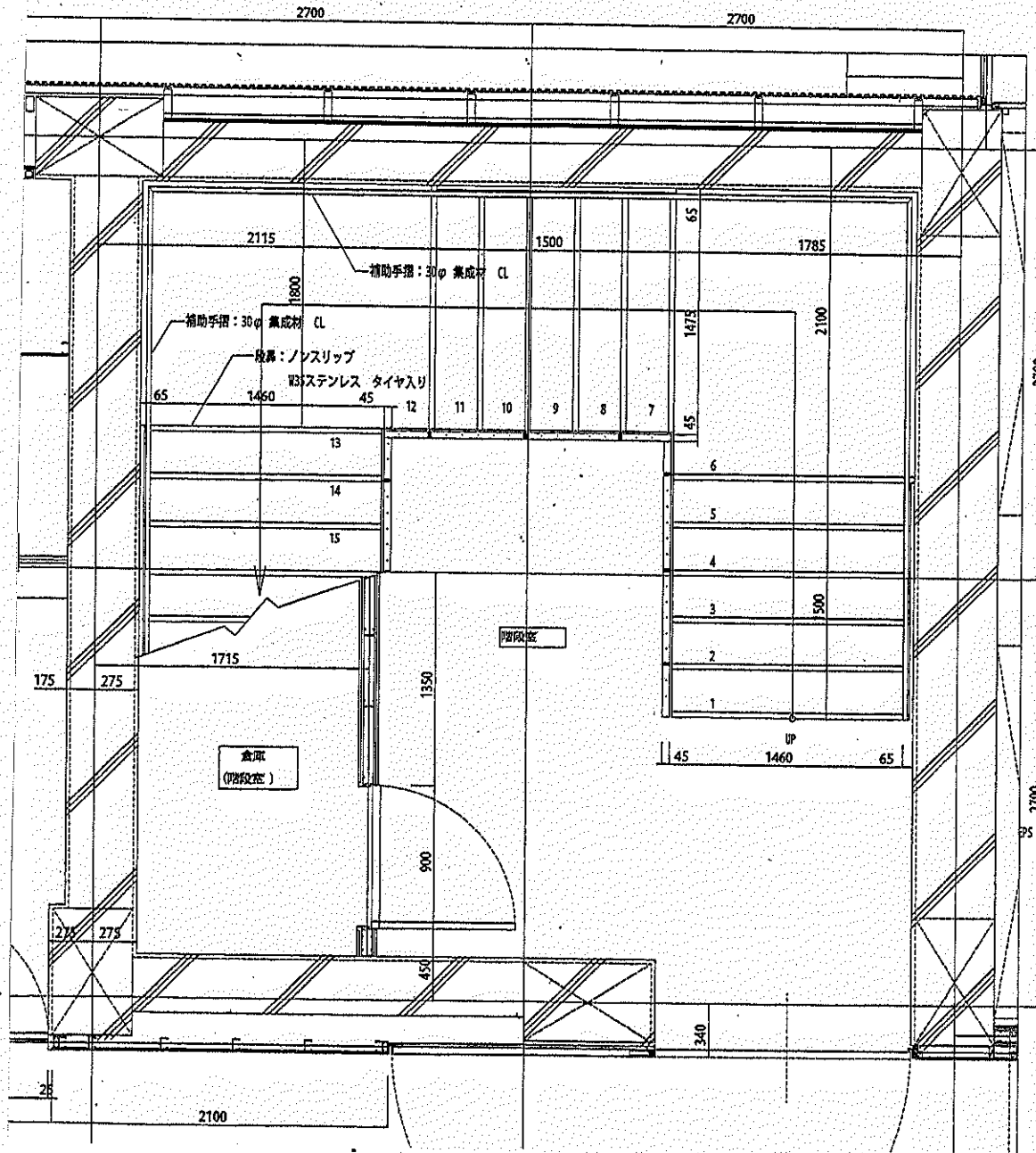
(平成27年度)

凡例 普 普通教室

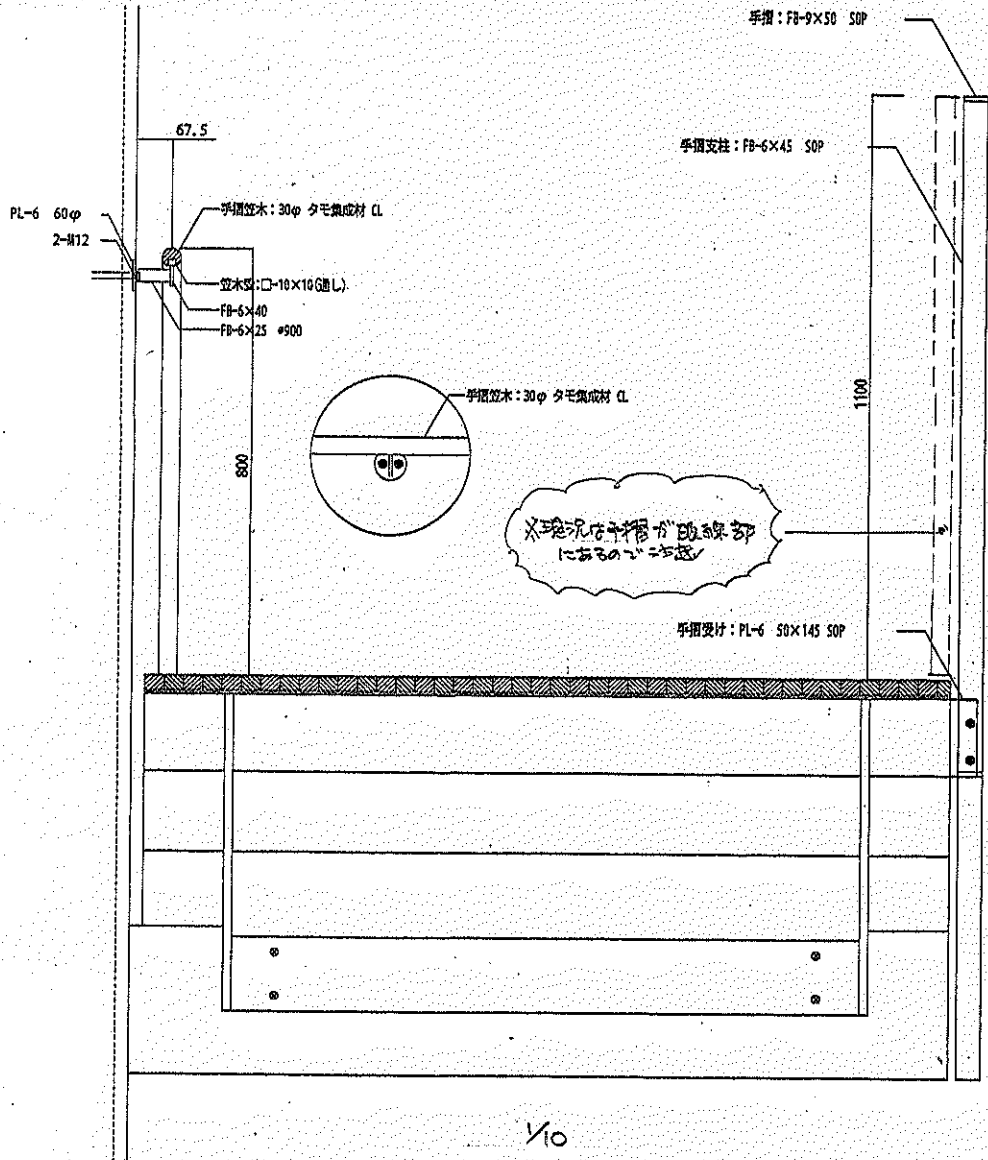
3 F

①-1

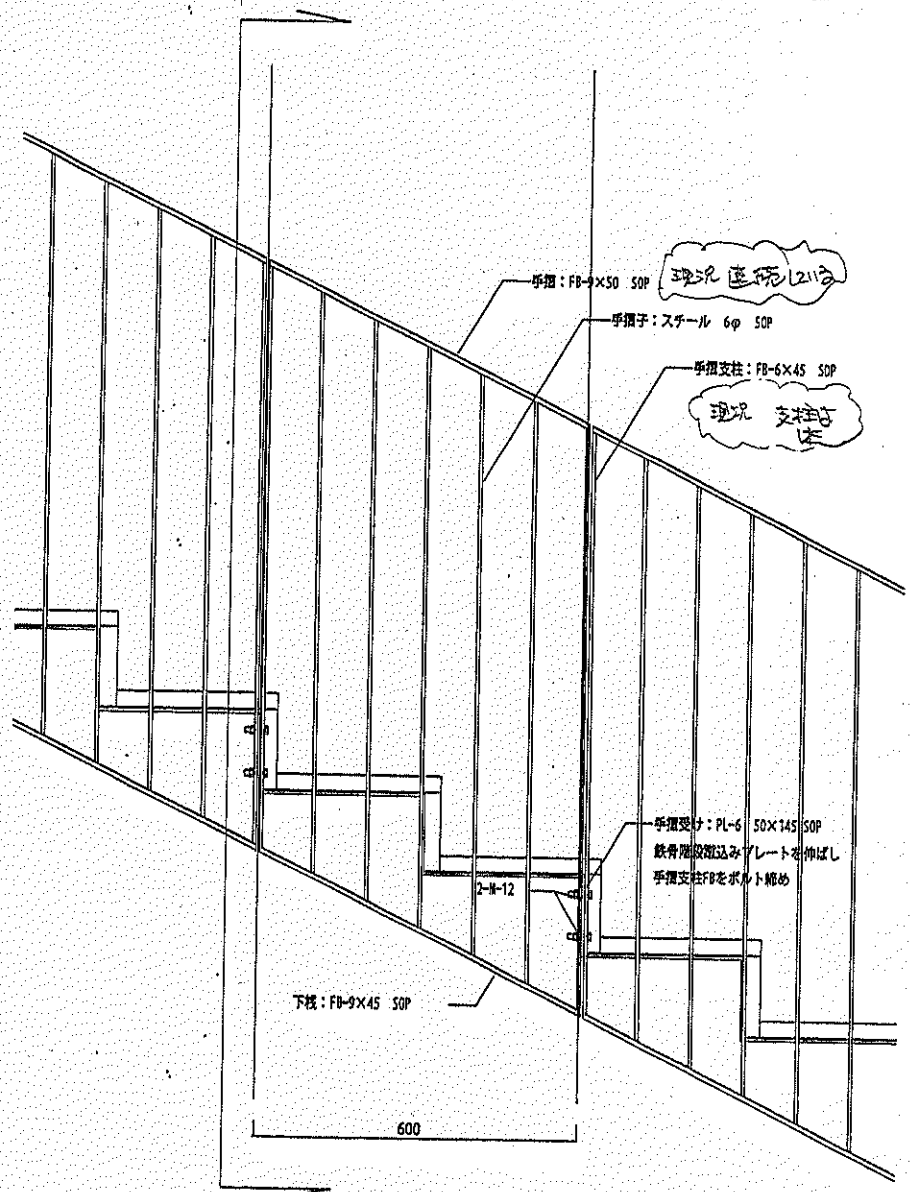




※ 図況は周囲と相対的であり、現場の状況の上で施工される事



1/10

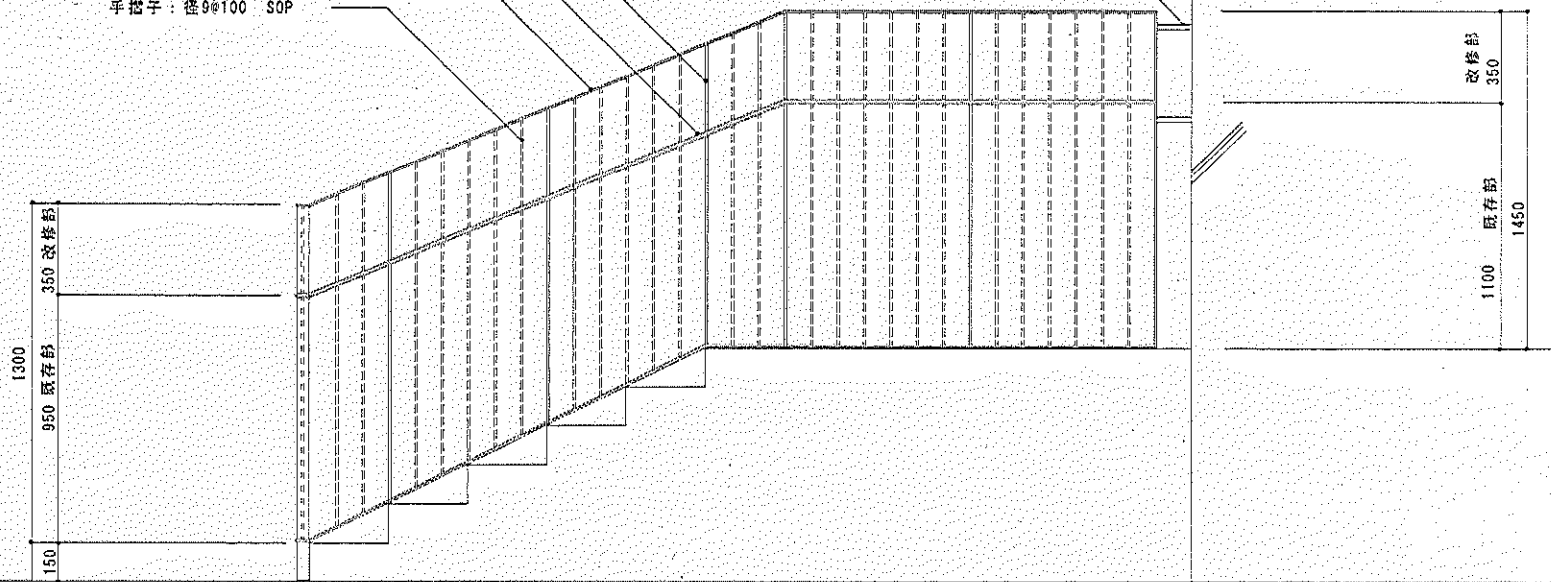


階段手摺立面

1/10

支柱: FB-9*44@600, 300, 700 SOP
 下枝: FB-9*44 SOP
 既設手摺 (FB-9*50 SOP) に溶接
 手摺: FB-9*50 SOP
 手摺子: 径9@100 SOP

壁に固定



3FL

3FL-900

2FL

3600
900
150*6

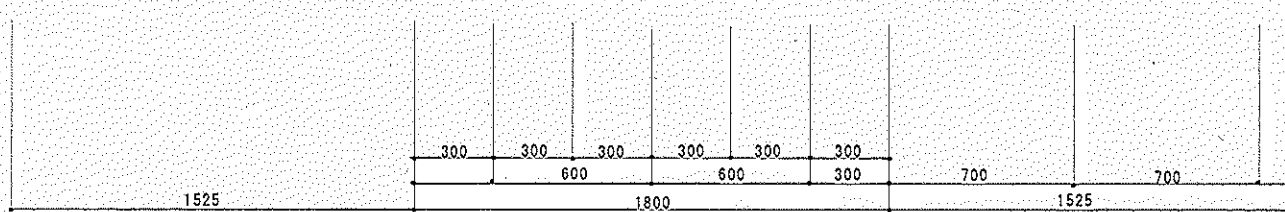
1300

350 改修部

950 既存部

150

改修部 350
既存部 1100
1450



A-9